

弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備） 改修工事

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－００	表紙・図面リスト	A－０５	現状 １階平面図	A－２２	コートライン配置図	E－０８	第一体育館屋根電熱設備図
A－特０１	改修特記仕様書（その１）	A－０６	改修 １階平面図	A－２３	既存床下立上り地壁 改修図	E－０９	電熱設備窓図
A－特０２	改修特記仕様書（その２）	A－０７	現状 ２階平面図	A－２４	天井伏図	E－１０	第二体育館２階動力設備図
A－特０３	改修特記仕様書（その３）	A－０８	屋根伏図	A－２５	既存収納台車詳細図（撤去図）	E－１１	電灯動力配電盤・動力盤 単線結線図 GHPメイン機2次側回路系統図
A－特０４	改修特記仕様書（その４）	A－０９	南側・東側 立面図	A－２６	銅製床組み図（１）（新設）	E－１２	受変電設備単線結線図
A－特０５	改修特記仕様書（その５）	A－１０	北側・西側 立面図	A－２７	銅製床組み図（２）（新設）		
A－特０６	改修特記仕様書（その６）	A－１１	矩計図－１	A－２８	外構図		
A－特０７	改修特記仕様書（その７）	A－１２	矩計図－２	A－２９	外構詳細図	M－０１	機械設備 特記仕様書１
A－特０８	改修特記仕様書（その８）	A－１３	矩計図－３			M－０２	機械設備 特記仕様書２
A－特０９	改修特記仕様書（その９）	A－１４	１・２階建具伏図（現況図）			M－０３	配置図・案内図
A－特１０	改修特記仕様書（その１０）	A－１５	建具表－１（現況図）	E－０１	特記仕様書（１）	M－０４	空調設備 機器表
A－特１１	改修特記仕様書（その１１）	A－１６	建具表－２（現況図）	E－０２	特記仕様書（２）	M－０５	空調設備 平面図
A－特１２	改修特記仕様書（その１２）	A－１７	建具表－３（現況図）	E－０３	案内図・配置図	M－０６	空調設備 詳細図
A－０１	案内図・配置図	A－１８	建具表－４（現況図）	E－０４	普通教室棟１階電灯・動力設備図	M－０７	自動制御設備 計装図
A－０２	外部仕上表・内部仕上表	A－１９	建具表－５（現況図）	E－０５	管理棟１階電灯・動力設備図	M－０８	自動制御設備 平面図
A－０３	内部仕上表	A－２０	建具表－６（現況図）	E－０６	第一体育館１階電灯・動力設備図		
A－０４	現状 地階平面図	A－２１	既存体育施設床下基礎配置図（現況図）	E－０７	第一体育館１階電熱設備図		

株式会社 川島隆太郎建築事務所

2

仮設工事

騒音・粉じん等の対策

足場等

防音パネル

防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

図示による

「手すり先行工法等に関するガイドライン」について
(厚生労働省 令和5年12月26日)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場

設置する
(設置範囲)

工事に必要な範囲

図示による

設置しない

防護シート

設置する
(設置範囲)

工事に必要な範囲

図示による

設置しない

内部足場

設置する
(※脚立、足場板等)

設置しない

材料、撤去材等の運搬方法

種類
(A種 B種 C種 D種 E種)

C種: 利用可能なエレベーター
(図示による)

D種: 利用可能な階段
(図示による)

既存部分の養生

養生方法等

既存部分
養生方法
(※ビニルシート、合板)

既存家具、既存設備等
養生方法
(※ビニルシート等)

既存ブラインド、カーテン等
養生方法
(ビニルシート等)

保管場所
(図示による)

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所

図示による

仮設間仕切りの種類と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材
A種	せっこうボード 種類 (厚さ mm ※9.5mm)	無し 片面	グラスウール 厚さ 50 mm
B種	合板 材質 (厚さ mm ※9mm)		
C種	防煙シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	無し	か所
		片面	図示による

3

防水改修工事

施工数量調査

調査範囲

図示による

調査方法

図示による

既存部分の破壊を行った場合の補修方法

図示による

調査報告書(提出部数 2部)

降雨等に対する養生方法
(とい共)

既存防水の処理

既存保護層の撤去

行う(範囲 図示による)

行わない

既存防水層の撤去

行う(範囲 図示による)

行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

行う
(M4AS M4ASI M4C M4DI L4X)

行わない

既存下地の処理

既存下地の補修箇所形状、長さ、数量等

図示による

POS工法及びPPOS工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)(g)①～③による

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※監督職員と協議する

図示による

アスファルト防水

新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
P2A	A-1			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上又は フラットヤンクロス 70g/㎡程度
	A-2			
	A-3			
P1B	B-1			
	B-2			
P2AI	AI-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA (スキャン付き)	※フラットヤンクロス 70g/㎡程度
	AI-2			
	AI-3			
P1BI	BI-1			
	BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.3.3～表3.3.6による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.3.3及び表3.3.4による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ※水下 80mm以上

床タイル張り ※水下 60mm以上

立上り部の保護方法

乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による)

窯業系パネルI類(厚さ (mm) 幅 (mm))

れんが押え(※JIS R 1250)

コンクリート押え

モルタル押え(屋内)

新設防水層(屋根露出工法)の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
M4C	C-1 C-2 C-3 C-4			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	適用する	
M3D POD	D-1 D-2					適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
PODI M3DI M4DI	DI-1 DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)			適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.3.7～表3.3.9による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.3.8及び表3.3.9による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量

※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

(個)

屋内防水

防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
P1E P2E	E-1 E-2	

保護層

設ける(※図示による)

設けない

E-1の工程3を行う部位

※貯水槽、浴室等常時水に接する部位

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

屋上排水溝

図示による

改質アスファルトシート防水

新設防水層(屋根露出防水)の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2			改質アスファルトシート類の製造所の仕様	改質アスファルトシート類の製造所の仕様	適用する	
M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1					適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3					適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
M3ASI M4ASI POASI	ASI-T1 ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(f)(種類) (厚さ)(mm)			適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による

JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料による区分 ※R種

厚さ ()mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※改質アスファルトシート類の製造所の指定

設置数量

※改質アスファルトシート類の製造所の指定

(個)

絶縁断熱工法の防湿用シート

設置する

設置しない

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正

青森県

(工事名) 弘前高校第一体育館
避難所機能強化(空調設備整備)改修工事

改修特記仕様書(その2)

A-特02

※

※

[illegible]

5 建具 改修 工事	・改修工法	[5. 1. 3] [5. 1. 6] <table><tr><td>既存建具の種類</td><td>かぶせ工法</td><td>撤去工法</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>○</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td></td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td></td><td>・内部</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>○ステンレス製建具</td><td>○</td><td>・</td><td>○建具表による</td></tr><tr><td>○木製建具</td><td></td><td>○</td><td>○建具表による</td></tr></table> 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示による 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。 ・再使用（ ・ブライندوقス ） ・指定する [5. 1. 4] 適用箇所（ ・建具表による ） ・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所（ ・建具表による ） ・連動させない ・見本の製作等 [5. 1. 5] 建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない 建具見本作りの目的等：（ ） 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない ・防犯建物部品 ・適用する（ ・建具表による ） [5. 1. 7] ・適用しない ・アルミニウム製建具 性能値等 [5. 2. 2～5] [表 5. 2. 2] 耐風圧性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 気密性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 水密性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 ・建具表による ・ ） ・B種（建具符号 ・建具表による ・ ） ・C種（建具符号 ・建具表による ・ ） 枠の見込み寸法 ○建具表による ・ ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号： ・建具表による ・ ） 断熱ドア・断熱サッシ ☒ 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別（改修標準仕様書 表5. 2. 2） ・BB-1種 ・BB-2種（着色： ・標準色 ・特注色） 屋内の建具 種別（開封標準仕様書 表5. 2. 2） ○BC-1種 ・BC-2種 ・BC-2種（着色： ・標準色 ・特注色） 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による ・	既存建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具	・	○	・建具表による	・樹脂製建具		・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による		・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	○ステンレス製建具	○	・	○建具表による	○木製建具		○	○建具表による	・網戸等	[5. 2. 3、5. 3. 3] <table><tr><td>種類</td><td>材質</td><td>線径</td><td>網目</td></tr><tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製</td><td>※0. 25mm以上 ・</td><td>※16～18メッシュ ・</td></tr><tr><td>・防鳥網</td><td>ステンレス（SUS304）線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table> 性能値等 [5. 2. 2] [5. 3. 2～5] 耐風圧性の等級（ ・ ） 気密性の等級（ ・ ） 水密性の等級（ ・ ） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号 ・建具表による ・ ） ・B種（建具符号 ・建具表による ・ ） ・C種（建具符号 ・建具表による ・ ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・T-1 ・T-2 ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 断熱ドア・断熱サッシ ☒ 断熱性の等級（ ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 材料 ガラス ※複層ガラス（組合せは建具表による） ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による ・ ・鋼製建具 性能値等 [5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表5. 4. 2] 簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号 ・建具表による ・ ） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 断熱ドア・断熱サッシ ☒ 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ（mm） ※改修標準仕様書 表5. 4. 2による ・ mm 使用箇所（ ・ ） 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※0. 25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・	・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm	・鋼製軽量建具	[5. 2. 2] [5. 5. 2～4] 性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号 ・建具表による ・ ） ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 断熱ドア・断熱サッシ ☒ 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号 ・建具表による ・ ） 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 鋼板 ・垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ（mm） ※改修標準仕様書 表5/5. 1による ・ mm 使用箇所（ ・ ） ・防音性能を求める戸（建具表による） 防音充填材（ガラスウール又はロックウール） 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ ○ステンレス製建具 材料 [5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5] ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ・ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	・木製建具	[5. 7. 2～4] 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5. 7. 2 (2) (イ) (a) による 表面材の合板の種類 <table><tr><td>合板の種類</td><td>規格等</td><td>備考</td></tr><tr><td>・普通合板 ☒</td><td>表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）</td><td></td></tr><tr><td>・天然木化粧合板 ☒</td><td>樹種名（ ・ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）</td><td></td></tr><tr><td>・特殊加工化粧合板 ☒</td><td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）</td><td></td></tr><tr><td>・MDF ☒</td><td>表裏面の状態による区分（ ・ ） 曲げ強さによる区分（ ・ ） 耐水性による区分（ ・ ） 難燃性による区分（ ・ ）</td><td></td></tr></table> 表面板の厚さ ※改修標準仕様書 表5. 7. 6による ・ 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種（ ・ ） 鏡板樹種（ ・ ） 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ・ふすま 張りの種別（ ・I型 ・II型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリアー塗装） 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・ ・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 ☒	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）		・天然木化粧合板 ☒	樹種名（ ・ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）		・特殊加工化粧合板 ☒	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）		・MDF ☒	表裏面の状態による区分（ ・ ） 曲げ強さによる区分（ ・ ） 耐水性による区分（ ・ ） 難燃性による区分（ ・ ）	
	既存建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																															
	○アルミニウム製建具	・	○	・建具表による																																																															
	・樹脂製建具		・	・建具表による																																																															
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																																																																
	・内部	・	・建具表による																																																																
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																																																																
○ステンレス製建具	○	・	○建具表による																																																																
○木製建具		○	○建具表による																																																																
種類	材質	線径	網目																																																																
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り 合成樹脂製 ・ステンレス（SUS316）製	※0. 25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・																																																																
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																
合板の種類	規格等	備考																																																																	
・普通合板 ☒	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）																																																																		
・天然木化粧合板 ☒	樹種名（ ・ ） 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）																																																																		
・特殊加工化粧合板 ☒	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（ ・1類 ・2類 ）																																																																		
・MDF ☒	表裏面の状態による区分（ ・ ） 曲げ強さによる区分（ ・ ） 耐水性による区分（ ・ ） 難燃性による区分（ ・ ）																																																																		
NOTE		(工事名) 弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事		A-特06																																																															
改修特記仕様書（その6）				※ ※																																																															
青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741) 6497 FAX 017(742) 1877		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正 青森県																																																																	

・ 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書 表5. 8. 1により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 2による ・ 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 3による ・ 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5. 8. 4による ・ 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書 表5. 8. 5による ・ 建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による ・ シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) ・ クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)	・ 鍵	マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない ・ 既存のマスターキーに合わせる 鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) 鍵箱 ・ なし ・ あり	・ 自動ドア 開閉装置	戸の開閉方式 ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書 表5. 9. 1 (防錆・適用する・適用しない) ・ 以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書 表5. 9. 2 (防錆・適用する・適用しない) ・ 以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・ 引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書 表5. 9. 3 (防錆・適用する・適用しない) ・ 以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類 (改修標準仕様書 表5. 9. 4) ・ 建具表による タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房用操作スイッチの種類 ・ 大形押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない	・ 自閉式上吊り 引戸装置	性能値等 ※改修標準仕様書 表5. 10. 1 ・ 以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉繰返し () 耐衝撃性 ()	・ 重量シャッター	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの 危害防止装置 (設置箇所・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板の カバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・	・ ガラス	[3. 7] [5. 14. 2～4] ・ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による ・ 型板ガラスの厚さによる種類 ・ 建具表による ・ 網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の 表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせ ガラスの合計厚さ及び特性による種類 ・ 建具表による 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による 種類 ・ I 類 ・ II-1 類 ・ II-2 類 ・ III 類 ・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びに よる種類及び特性による種類 ・ 建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I 類 ・ III 類 ・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・ 建具表による 性能による種類 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラス の厚さ ・ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 封入気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン ・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・ 建具表による 日射熱遮蔽性による区分 ・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2 種の場合) ・ A 類 ・ B 類 ・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による	・ ガラスブロック 積み	[5. 14. 5] 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整 目地位置 (mm) 防火性能 ・ 160×160 ・ 95 ・ 200×200 ・ 95 壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー) シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による 工法 1 章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1. 15 ・ 1. 3) 倍の風圧力に対応した工法	・ ガラス用 フィルム	種類 記号 内貼り用外貼り用 その他性能等 ・ 日射調整フィルム ・ SC-1 ・ SC-2 ・ 低放射フィルム ・ LE ・ 衝撃破壊対応 ガラス飛散防止フィルム ・ GI-1 ・ GI-2 ・ 相関変位破壊対応 ガラス飛散防止フィルム ・ GD-1 ・ GD-1 ・ ガラス貫通防止フィルム ・ SF 品質は、JIS A 5759Iによる。	(工事名) 弘前高校第一体育館 避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事 改修特記仕様書 (その 7)	A-特07 ※ ※

6

内装改修工事

改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による 除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※図示による

既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

木下地等の表面仕上げ

見え掛り面の表面仕上げの程度
※ブレンダー加工仕上げ
適用部材（部位）（ ）
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）（ ）
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）（ ）

木材の施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6. 5. 2 (1) (㏽) による
・

製材

・ JAS 1083-5 に基づく下地用製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
壁 赤松 ※2級 ※A種 ・B種 ・
・ ※2級 ※A種 ・B種 ・
・ JAS 1083-2 に基づく造作用製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
見え掛り面 ※上小節 ※A種 ・B種 ・
見え掛り面以外 ※小節以上 ※A種 ・B種 ・
・ JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材
施工箇所 樹種名 等級 (材面の品質) 寸法 (mm) 含水率 保存処理
・ ※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
・ ※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
・ JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理の適用 含水率
（ ） ・適用する ※A種
造作材の場合（※A種 ・B種） ・適用しない ・B種
（ ） ・適用する ※A種
造作材の場合（※A種 ・B種） ・適用しない ・B種
・

造作用集成材

・ JAS 1152 に基づく造作用集成材
施工箇所 品名 樹種名 見付け材面 (面数) 寸法 (mm) 見付け材面の品質
ステージアリーナ 上框 なら 図示 ※1等 ・2等
各室 巾木 なら 図示 ※1等 ・2等
・ JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集成材
施工箇所 品名 材種名 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 (面数) 寸法 (mm) 見付け材面の品質
化粧薄板：芯材 ※1等 ・2等
化粧薄板：芯材 ※1等 ・2等
・ JAS 1152 以外の造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率
※15%以下
・ ※15%以下
・
・ JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材
施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率
化粧薄板：芯材 ※15%以下
・ 化粧薄板：芯材 ※15%以下
・
・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理
・ 無（ ・1等 ・2等 ・3等） ・適用する（ ）
・有（ ・適用しない
・（天然木化粧加工 ・塗装加工）
・ 無（ ・1等 ・2等 ・3等） ・適用する（ ）
・有（ ・適用しない
・（天然木化粧加工 ・塗装加工）
・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理
・ 無（ ） ・ ※14%以下 ・適用する（ ）
・有（ ） ・ ・適用しない
・（天然木化粧加工 ・塗装加工）
・ 無（ ） ・ ※14%以下 ・適用する（ ）
・有（ ） ・ ・適用しない
・（天然木化粧加工 ・塗装加工）
・

造作用単板積層材

合板等

・ JAS 3079 に基づく直交集成板
施工箇所 品名 樹種名 強度等級 (曲げ性能) 種別 接着性能 (使用環境) 寸法 (mm)
・ 異等級構成直交集成板
・ 同一等級構成直交集成板
・ A種構成
・ B種構成
・ A
・ B
・ C
・ JAS 0233 に基づく普通合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 板面の品質 単板の樹種名 防虫処理
※5. 5
・ ※1類
・ 2類 広葉樹 ※2等以上
・ 針葉樹 ※C-D以上
・
・ ※5. 5
・ ※1類
・ 2類 広葉樹 ※2等以上
・ 針葉樹 ※C-D以上
・
・適用する（ ）
・適用しない
・適用する（ ）
・適用しない
・ JAS 0233 に基づく構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 等級 板面の品質 曲げ強度 (強度等級) 防虫処理 単板の樹種名
※12
・ ※1類
・ 特類 ※2級以上
・
・ ※12
・ ※1類
・ 特類 ※2級以上
・
・適用する（ ）
・適用しない
・適用する（ ）
・適用しない
・ JAS 0233 に基づく化粧ばり構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理
・ 特類
・ 1類
・適用する（ ）
・適用しない
・ 特類
・ 1類
・適用する（ ）
・適用しない
・ 屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。
・ JAS 0233 に基づく天然木化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 化粧板に使用する単板の樹種名 防虫処理
・ 1類
・ 2類
・適用する（ ）
・適用しない
・ 1類
・ 2類
・適用する（ ）
・適用しない

接合具等

・ JAS 0233 に基づく特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理
・ 1類
・ 2類
・ F
・ FW
・ W
・ SW
・ オーバーレイ
・ プリント
・ 塗装
・
・ オーバーレイ
・ プリント
・ 塗装
・
・適用する（ ）
・適用しない
・適用する（ ）
・適用しない
・ JIS A 5908 に基づくパーティクルボード
施工箇所 種類 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 厚さ (mm)
※13タイプ
・ Mタイプ
・ P
・ ※15
・
※13タイプ
・ Mタイプ
・ P
・ ※15
・
・ JAS 0360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法 (mm) 曲げ性能（等級）
（ ・ 常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験）
・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級
・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級
・ JIS A 5905 に基づくMDF
施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm)
・
・
・
・
・
・
造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・ 釘頭埋め木
・ つぶし頭釘打ち
・ 釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※改修標準仕様書 表6. 5. 3に示す程度の市販品
・
座金
※改修標準仕様書 表6. 5. 4に示す程度の市販品
・
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書 表6. 5. 5に示す程度の市販品
・
接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
・

・ 接合具等

・ 接着剤

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741) 6497 FAX 017(742) 1877 管理建築士 1級建築士登録113986号 川島 芳正 青森県

（工事名） 弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

改修特記仕様書（その8）

A-特08
※
※

6

内装改修工事

・防腐・防蟻
防虫処理等

・工場における薬剤の加圧注入等 [6. 5. 5]
・改修標準仕様書 6. 5. 5(1) (a)①による加圧注入

適用部材			
保存処理性能区分			
	・K2	・K3	・K4
	・K2	・K3	・K4

・改修標準仕様書 6. 5. 5(1) (a)②による加圧式保存処理
保存処理の性能 ()
インサイジング ・適用する ・適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※改修標準仕様書6. 5. 5(1) (b)①による
・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による
・
適用部材 (部位) ・図示による
処理方法 ※改修標準仕様書 6. 5. 5(1) (b)②に
による
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部材 (部位) ・図示による
・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等による
K3防腐・防蟻処理
適用部材 (部位) ・図示による
・不燃処理木材等
不燃材料
適用部材 (部位) ・図示による
準不燃材料
適用部材 (部位) ・図示による
難燃材料
適用部材 (部位) ・図示による

○内部間仕切軸組
及び床組み

・窓、出入口
その他

・床板張り

○壁及び天井下地

・軽量鉄骨
天井下地

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 [6. 5. 6]
(製材を用いる場合)
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び
転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材 ・
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 [6. 5. 7]
(製材を用いる場合)
※吊元杵、水掛りの下枠及び敷居はひのき、
その他は松又は杉
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 [6. 5. 8]
(製材を用いる場合)
※ひのき ・
○壁胴縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる [6. 5. 9]
木材の樹種名 (製材を用いる場合)
※杉又は松 ・
野縁等の種類 [6. 6. 2～4]
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びびンサートの間隔
・図示による ・
周辺部の端からの間隔
・図示による ・
野縁の間隔
・図示による ・
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・ ()箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ
天井面構成部材等の単位面積当たりの重量が
20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・ () N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
(補強方法 ※図示による ・)

○軽量鉄骨壁下地

・ビニル床シート

・ビニル床タイル

○特殊機能床材

・天井のふところが3. 0mを超える場合
(補強方法 ※図示による ・)
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
(補強箇所 ※図示による ・)
(補強方法 ※図示による ・)
・屋外の天井における耐震性を考慮した補強
(補強箇所 ※図示による ・)
(補強方法 ※図示による ・)
スタッド、ランナの種類 [6. 7. 3.、4] [表6. 7. 1]
※改修標準仕様書 表6. 7. 1によるスタッドの高さによる
区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5. 0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6. 7. 4. (5)による
・
[6. 8. 2.、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ビニル床シート) ・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2. 0 ・	

接合部の処理
熱溶接工法 ・
[6. 8. 2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(コンポジションビニル床タイル) ・	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2. 0 ・2. 5 ・3. 0	
・TT(単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2. 0 ・	
・FT(複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2. 0 ・2. 5 ・3. 0	
・FOA(置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4. 0 ・	
・FOB(薄型置敷きビニル床タイル) ・	・無地 ・柄物	・ ・	・ ・	

・帯電防止床シート [6. 8. 2]
種類 ()
性能 ()
厚さ(mm) ()
・帯電防止床タイル
種類 ()
性能 ()
寸法(mm) (×)
厚さ(mm) ()
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及び
その配列はJIS T 9251による。
種類 ()
形状 ()
○耐動荷重性床シート
種類 (スポーツ用)
厚さ(mm) (2. 0)
・防滑性床シート
種類 ()
厚さ(mm) ()

○接着剤

・ビニル幅木

・ゴム床タイル

・下地の工法

・カーペット敷き

・タフテッドカーペット

・カットパイル

・ルーフパイル

・カット、ルーフ併用

[6. 8. 2]
・防滑性床タイル
種類 ()
寸法(mm) (×)
厚さ(mm) ()
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤の
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合
の接着剤の種類
・図示による ・
[6. 8. 2]
材質の種類 [6. 8. 2]
・軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1. 5以上 ・
種類 [6. 8. 2]
・単層品 ・積層品
色柄 ()
厚さ (mm)
寸法(mm) (×)
改修標準仕様書6. 8. 3(1) (ア)～(ウ) 以外の下地の工法
・図示による ・
[6. 8. 3]
改修標準仕様書6. 8. 3(1) (ア)～(ウ) 以外の下地の工法
・図示による ・
[6. 9. 2.、3] [表6. 9. 1]

織り方	パイル形状	備考 (参考価格)
・ウィルトカーペット ・フェイスツクフェイスカーペット ・アキズミスターカーペット	・カットパイル ・ルーフパイル ・カット/ルーフパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)
・カットパイル	・5～7 ・	・全面接着工法	・適用する	
・ルーフパイル	・4～6 ・	・ゲリッパ工法	・適用しない	
・カット、ルーフ併用				

下敷き材(グリッター工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

○フローリング張り

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考 (参考価格)
※ルーフパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6. 5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6. 5 ・	
・カット、ルーフ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6. 5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き ・模様流し ・
階段部分
※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等
※図示による ・
[6. 10. 2.、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し 仕上げ
・厚膜型塗床材 珪藻土樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
[6. 11. 2～6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6. 11. 2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・単層フローリング (フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)
・接着工法
樹種
※なら ・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ (mm)
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
○複合フローリング
工法
・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)
○接着工法
樹種
※なら ・
種別
・A種 ○B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない

NOTE

青森県第2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(7

7

塗装改修工事

材料

下地調整

素地ごしらえ

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：）

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・

既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（箇所）
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	
鉄鋼面	※RB種	
亜鉛めっき鋼面	※RB種	
亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具等）	※RB種・RA種	
モルタル面及び せつこうプラスター面	※RB種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）、 ALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種・RC種	・行う ・行わない
せつこうボード面及び その他ボード面	※RB種	

下地面等

種別

木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種・A種・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種・A種・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外）	・A種・B種
	（鋼製建具等）	※B種
モルタル面及びせつこうプラスター面		※B種・A種
コンクリート面（DP以外）及び ALCパネル面		※B種・A種
押出成形セメント板面及び コンクリート面（DPのみ）		・A種・B種
コンクリート面（DPのみ）		※A種・B種
せつこうボード面及びその他ボード面		※B種・A種

素地ごしらえ

7.3.2～7]

下地面等	種別	
木部	不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合	※A種・B種 ※B種・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種・A種・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種・A種・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外） （鋼製建具等）	・A種・B種 ※B種
モルタル面及びせつこうプラスター面		※B種・A種
コンクリート面（DP以外）及び ALCパネル面		※B種・A種
押出成形セメント板面及び コンクリート面（DPのみ）		・A種・B種
コンクリート面（DPのみ）		※A種・B種
せつこうボード面及びその他ボード面		※B種・A種

7.3.2～7]

7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
	鉄鋼面	※B種	※B種・A種
塗装の種類 ※1種 ・2種	亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具）	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面 （鋼製建具以外）	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り（GL）		※B種 ・A種（着色 顔料の種類）	※B種 ・A種（着色 顔料の種類）
・アクリル樹脂系非水分散形 塗料塗り（NAD）		※B種・A種	※B種・A種
・耐候性塗料 塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級 （）級	・	
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 （）級	・	
	コンクリート面 押出成形セメント 板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
○つや有 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛 めっき面	※B種 ※B種 ※B種 ※A種	※B種・A種 ※A種 ※B種・A種 ※A種・B種
・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り（EP）		※B種	※B種・A種
・合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り（EP-T）		※B種	・A種・B種
○ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種	※B種・A種
・ピグメントステイン塗り			
・木材保護塗料塗り（WP）		※B種・A種	※B種・A種

7.5.2～7.13.2]

9

環境配慮改修工事

石綿含有建材の
除去工事

石綿粉じん 濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用

測定
名称

測定時期

測定場所

測定箇所数
(各施工箇所ごと)

・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点
・測定2		調査対象室外部 の付近	・計	点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点
・測定4		セキュリティ ゾーン入口	・計	点
・測定5		集じん・排気装置 の排出口（処理 作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の 位置 ・計	点
・測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計	点
・測定7	処理作業後 （シート 養生中）	処理作業室内	・計	点
・測定8	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	・計	点
・測定9	1週間以降	調査対象室外部 の付近	・計	点

測定方法

自動測定器による測定

測定名称

測定方法

・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動 測定器（リアルタイムファイバーモニター） 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用い た測定
・測定5	

石綿含有建材の
除去工事

石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破碎等による除去

除去対象範囲

図示による

隔離養生（負圧不要）方法

図示による

足場

図示による

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

埋立処分（安定型最終処分場）

中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。）

除去対象範囲

図示による

除去した石綿含有成形板の処分

石綿含有せつこうボード

※埋立処分(管理型最終処分場)

○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板

埋立処分（安定型最終処分場）

中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・

（工事名）

弘前高校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

改修特記仕様書（その11）

青森県

A-特11

※

※

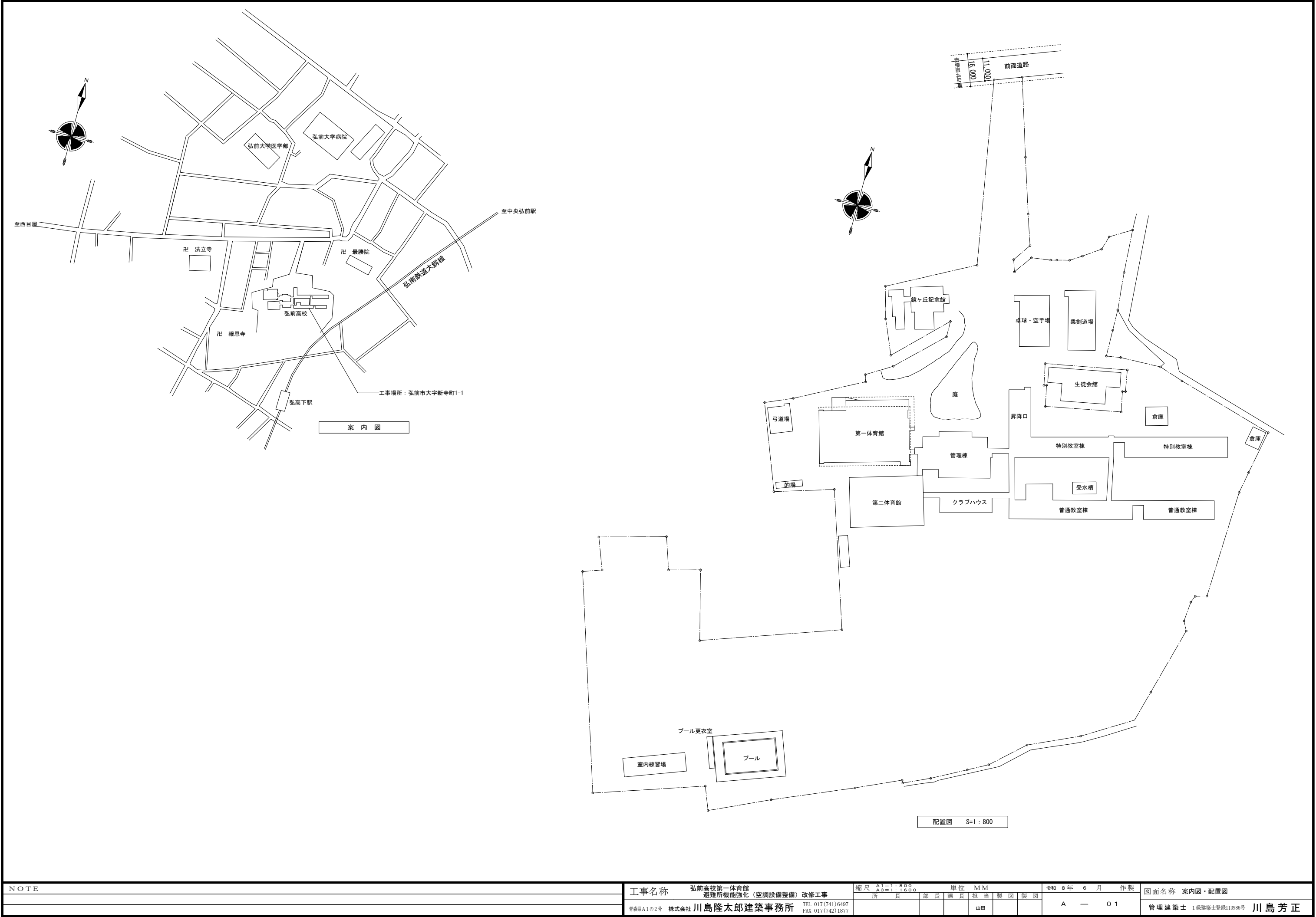
青森県第2号

株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741) 6497
FAX 017(742) 1877

管理建築士 1級建築士登録113986号

川島 芳正



NOTE	工事名称 弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事		縮尺		A1=1:800 A3=1:1600		単位		MM		令和 8 年 6 月 作製		図面名称 案内図・配置図		
			所 長		部 長		課 長		担 当		製 図			製 図	
									山田						
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877								A — 01		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正			

外 部 仕 上 表					特 記 事 項				
軒天井	体育館	アリーナ：カラスステンレス t=0.4(溶接工法) 耐火木毛板 t=28 横包み、鼻隠し、破風：カラスステンレス t=0.4包み 耐候性塗料塗り(OP) B種(塗料2級：アクリルシリコン樹脂塗料)	開口部 建 具		アルミ製サッシ	断熱材	外 壁：なし 土間下：なし 根回り：なし 天井裏：なし 放送室壁、天井：グラスウール t=100 便所壁、天井：なし	耐火性能 防火性能	外壁：中空押出成形セメント板 t=15 外壁：中空押出成形セメント板 t=22 外壁：カラーアルミ t=1.2+防水石膏ボード t=12.5 外壁：セメント系サイディング t=30+吹付ロックウール t=30 屋根：耐火木毛板 t=25～50+金属板葺き 屋根：合成スラブコンクリート t=130 柱：吹付ロックウール t=25 梁：吹付ロックウール t=25 床：合成スラブコンクリート t=130
	メンテ通路 ギャラリー 更衣室2、3	合成スラブコンクリートの上 超遠硬化ウレタン吹付 100μステンレス製ルーフトレイン、脱気装置、笠木：アルミ製(既製品)	ポーチ1床		モルタル下地150角磁器質タイル				
	車路、 ポーチ1	合成スラブコンクリートの上 超遠硬化ウレタン吹付 75μステンレス製ルーフトレイン 笠木：カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2 錆止め塗料(変性エポキシ樹脂プライマー(B種))、フッ素塗料塗り	ポーチ2床		コンクリート金ゴテ仕上 A種				
	渡り廊下	カラスステンレス t=0.4(溶接工法) 耐火木毛板 t=25 横包み、鼻隠し、破風：カラスステンレス t=0.4包み	ポーチ3床		コンクリート金ゴテ仕上 A種				
軒天井		ケイ酸カルシウム板 t=11 EP(B種)塗り				内装下地材	壁 軽鉄下地 (図示) 天井 軽鉄下地 (図示)	大臣認定 防火材料	塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板 t=0.4 中空押出成形セメント板 t=26 無石棉ケイ酸カルシウム板 石膏ボード t=12.5 石膏ボード t=15 化粧石膏ボード t=9.5
外 壁	体育館	中空押出成形セメント板 t=15 複層塗料吹付 一部 中空押出成形セメント形 t=22(デザインタイプ) 複層塗料吹付 の上 防水形複層塗材Eトップコート(ウレタン系)仕上				額 縁	木製 ポリウレタン塗装、合成樹脂調合ペイント塗り		
	体育館 車路、 ポーチ1～3 パラベット	カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2 錆止め塗料(変性エポキシ樹脂プライマー(B種))、フッ素塗料塗り				点検口	床下点検口600×600 アルミ製 天井点検口600×600、450×450 アルミ製		
	渡り廊下	中空押出成形セメント板φ15 複層塗料吹付				金 物	内部控室天井裏：鋼製タラップ		
	根廻り 立上り壁	コンクリート打放しB種仕上 複層塗材吹付				カーテンBOX	アルミ製 (C型レール+ライナー付)	塗料記号	S O P 合成樹脂調合ペイント(環境対応型) (架橋反応型) E P - G つや有り合成樹脂エマルションペイント塗 (環境対応型) (架橋反応型) E P 合成樹脂エマルションペイント塗 (低V O C) (架橋反応型) A E P アクリルエマルションペイント (低V O C) (架橋反応型) U C ウレタン樹脂ワニス塗 (環境対応型) ポリウレタン塗装 (環境対応型)
						室名札	アクリル製室名札 75×265 室名入平付型 アクリル製室名札 160×160 ビクトサイン平付型		
								塗料記号	※寸法線は仕上寸法を示し、文字により引き出している寸法は、挽き立て寸法とする。 ※アスベストを含有した建築材料は使用しないこと。

※ 凡 例 は撤去部分を示す

既存 仕上表										改修 仕上表										
階	室名	床		巾木		壁	天井			備考	室名	床		巾木		壁	天井			備考
		上段下地、下段仕上	床高	仕上	H	上段下地、下段仕上	上段下地、下段仕上	廻縁	天井高			上段下地、下段仕上	床高	仕上	H	上段下地、下段仕上	上段下地、下段仕上	廻縁	天井高	
地 下	駐車場		-3200				L G S	7㎜製		駐車スペースライン 車止め コーナーガード ガソリントラップ 鋼製グレーチング	駐車場						既存のまま		既存のまま	既存のまま
		コンクリート金ゴテ仕上				コンクリート打放し	鋼製デッキ表し 一部ケイ酸カルシウム板 t=6.0AE			既存のまま					既存のまま	既存のまま				
	ボンベ庫		-3200								ボンベ庫									
		コンクリート金ゴテ仕上				コンクリート打放し	鋼製デッキ表し					既存のまま				既存のまま	既存のまま			
		車路		-3200				L G S	7㎜製		車路							既存のまま	既存のまま	
	コンクリート刷毛引きリング模様					コンクリート打放し 複層壁材仕上	ケイ酸カルシウム板 t=6.0AE 一部鋼製デッキ表し			既存のまま					既存のまま	既存のまま				
	玄関	均しモルタル下地	+50	タイル立上	150	L G S	L G S	塩ビ製	3.045	玄関	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		磁器質150角タイル貼				有孔シナ合板t=5.5(目透)OP	石膏ボードt=9.5EP				既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま			
	ホール	コンクリート金ゴテ仕上の上鋼製床組(H=480)	+380	木製(なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.700	天井点検口(1か所)	ホール	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		ワン合板 t=5.5の上 長尺塩ビシートt=2.8		OP		有孔シナ合板t=5.5(目透)OP	石膏ボードt=9.5EP			既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま				
	アリーナ	コンクリート金ゴテ仕上の上鋼製床組(H=480)	+380	木製(なら)	120	L G S			10.220 10.720	床交換口(14か所)、 床下点検口(2か所)、 変見鏡 開閉レール(20か所) コートライン	アリーナ	鋼製床組	±0	木製(なら)	120	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	新設床上換気口(24か所)、 新設床下点検口(4か所)、 新設コートライン
		構造用合板(T1)t=15捨張の上 フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		PP		大型壁装材 t=12 一部シナ合板t=5.5(目透)OP	化粧木毛セメント板表わし			ワン合板(T1)t=15+15捨張の上 体育館用長尺弾性塩ビシート t=2		既存のまま 一部補修	既存のまま	既存のまま	既存のまま					
	ステージ	コンクリート金ゴテ仕上の木つか床組(H=1380)	+1380	木製(なら)	120	L G S			6.100	椅子収納台車(9台分) ぶどう棚、 吊ボタン(昇降装置共)、 吊ボタン(手動)、舞台幕	ステージ	鋼製床組	+1000	木製(なら)	120	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		構造用合板(T1)t=15捨張の上 フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		PP		シナ合板t=5.5(目透)OP	ぶどう棚、屋根下地材表わし			鋼製床組針葉樹構造用合板t=12下地 複合フローリングt=12張り		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま					
	控室1	コンクリート金ゴテ仕上の木つか床組(H=1380)	+1380	木製(なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.400	床下点検口(1か所)		鋼製床組	+1000	木製(なら)	120	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	新設床下点検口(1か所)、
		構造用合板(T1)t=15捨張の上 フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		PP		シナ合板t=5.5(目透)OP	石膏ボードt=9.5EP			鋼製床組針葉樹構造用合板t=12下地 複合フローリングt=12張り		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま					
	控室2	コンクリート金ゴテ仕上の木つか床組(H=1380)	+1380	木製(なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.400	床下点検口(1か所)		鋼製床組	+1000	木製(なら)	120	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	新設床下点検口(1か所)、
		構造用合板(T1)t=15捨張の上 フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		PP		シナ合板t=5.5(目透)OP	石膏ボードt=9.5EP			鋼製床組針葉樹構造用合板t=12下地 複合フローリングt=12張り		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま					

NOTE

工事名称

弘前高校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事

縮尺

—

単位

MM

令和 8 年

6 月

作製

図面名称 外部仕上表・内部仕上表

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

山田

A — 0 2

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

既存 仕上表										改修 仕上表										
階	室名	床		巾木		壁	天井			備考	室名	床		巾木		壁	天井			備考
		上段下地、下段仕上	床高	仕上	H	上段下地、下段仕上	上段下地、下段仕上	廻縁	天井高			上段下地、下段仕上	床高	仕上	H	上段下地、下段仕上	上段下地、下段仕上	廻縁	天井高	
1	放送室	コンクリート金ゴテ仕上の木つか床組 (H=1380)	+1380	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.100		放送室	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		構造用合板 (T1) t=15捨張の上フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま							
	体育準備室	コンクリート金ゴテ仕上の鋼製床組 (H=480)	+380	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.700	アルミカーテンボックス ステンレスカーテンレール 流し台、吊戸棚 行事用黒板 床下点検口 (1か所) 床換気口 (2か所)	体育準備室	鋼製床組	+1000	木製 (なら)	120	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	行事用黒板 室内移設
		フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま 一部取外し、再取付	既存のまま												
	更衣室1	コンクリート金ゴテ仕上の鋼製床組 (H=480)	+380	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.700	木製棚 床換気口 (4か所)	更衣室1	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま				既存のまま								
	器具庫	コンクリート金ゴテ仕上の鋼製床組 (H=480)	+380	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.320	木製棚 ボールバー整理台 床換気口 (4か所)	器具庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		フローリングボード t=18 ポリウレタン塗装		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま				既存のまま								
	便所前室	ウレタン塗膜防水 コンクリート金ゴテ下地 均しモルタル下地	+50	木製 (なら)	100	L G S	L G S	塩ビ製	2.500		便所前室	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		長尺塩ビシート t=2.0 (ノンスリップ)		一部防水石膏ボード t=12.5下地 シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま							
男子便所	ウレタン塗膜防水 コンクリート金ゴテ下地 均しモルタル下地	+50	ステンレス	-150	L G S	L G S	塩ビ製	2.500	洗面バックボード 掃除用具入れ	男子便所	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
	磁器質100角タイル貼		防水石膏ボード t=12.5下地 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま								
女子便所	ウレタン塗膜防水 コンクリート金ゴテ下地 均しモルタル下地	+50	ステンレス	-150	L G S	L G S	塩ビ製	2.500	洗面バックボード 掃除用具入れ	女子便所	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
	磁器質100角タイル貼		防水石膏ボード t=12.5下地 化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま								
廊下	コンクリート金ゴテ下地 均しモルタル下地	+380	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.720		廊下	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
	長尺塩ビシート t=2.0 (ノンスリップ)		大型壁装材 t=12		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま								
2	更衣室2	コンクリート金ゴテ下地 セルフレベリング t=15	+300	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.700	アルミカーテンボックス ステンレスカーテンレール 木製棚	更衣室2	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		長尺塩ビシート t=2.8		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま							
	更衣室3	コンクリート金ゴテ下地 セルフレベリング t=15	+300	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.700	アルミカーテンボックス ステンレスカーテンレール 木製棚	更衣室3	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		長尺塩ビシート t=2.8		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま							
	ギャラリー	コンクリート金ゴテ下地 セルフレベリング t=15一部木組	±0 +400 +800 +1150	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	2.250 3.700	アルミカーテンボックス ステンレスカーテンレール 緩降機	ギャラリー	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		長尺塩ビシート t=2.8 構造用合板 (T1) t=15捨張の上フローリングボード t=18		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま							
	メンテ通路	コンクリート金ゴテ下地 セルフレベリング t=15	±0	木製 (なら)	120	L G S	L G S	塩ビ製	3.700	アルミカーテンボックス ステンレスカーテンレール 手摺 踏込	メンテ通路	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま
		樹脂系塗床材		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま				既存のまま	既存のまま							
共通	階段A	コンクリート金ゴテ下地		鉄板 ササラ桁 OP	30	L G S	L G S	塩ビ製		階段A	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		長尺塩ビシート t=2.8		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま								
	階段B	コンクリート金ゴテ下地		鉄板 ササラ桁 OP	30	L G S	L G S	塩ビ製		階段B	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		長尺塩ビシート t=2.8		化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0		石膏ボード t=9.5EP	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま								
	階段C	コンクリート金ゴテ下地		鉄板 ササラ桁 OP	30	L G S	L G S	塩ビ製		階段C	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		長尺塩ビシート t=2.8		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま								
	階段D	コンクリート金ゴテ下地		鉄板 ササラ桁 OP	30	L G S	L G S	塩ビ製		階段D	既存のまま	既存のまま	既存のまま		既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
		長尺塩ビシート t=2.8		シナ合板 t=5.5 (目透) OP		化粧石膏ボード t=9.5	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま								

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

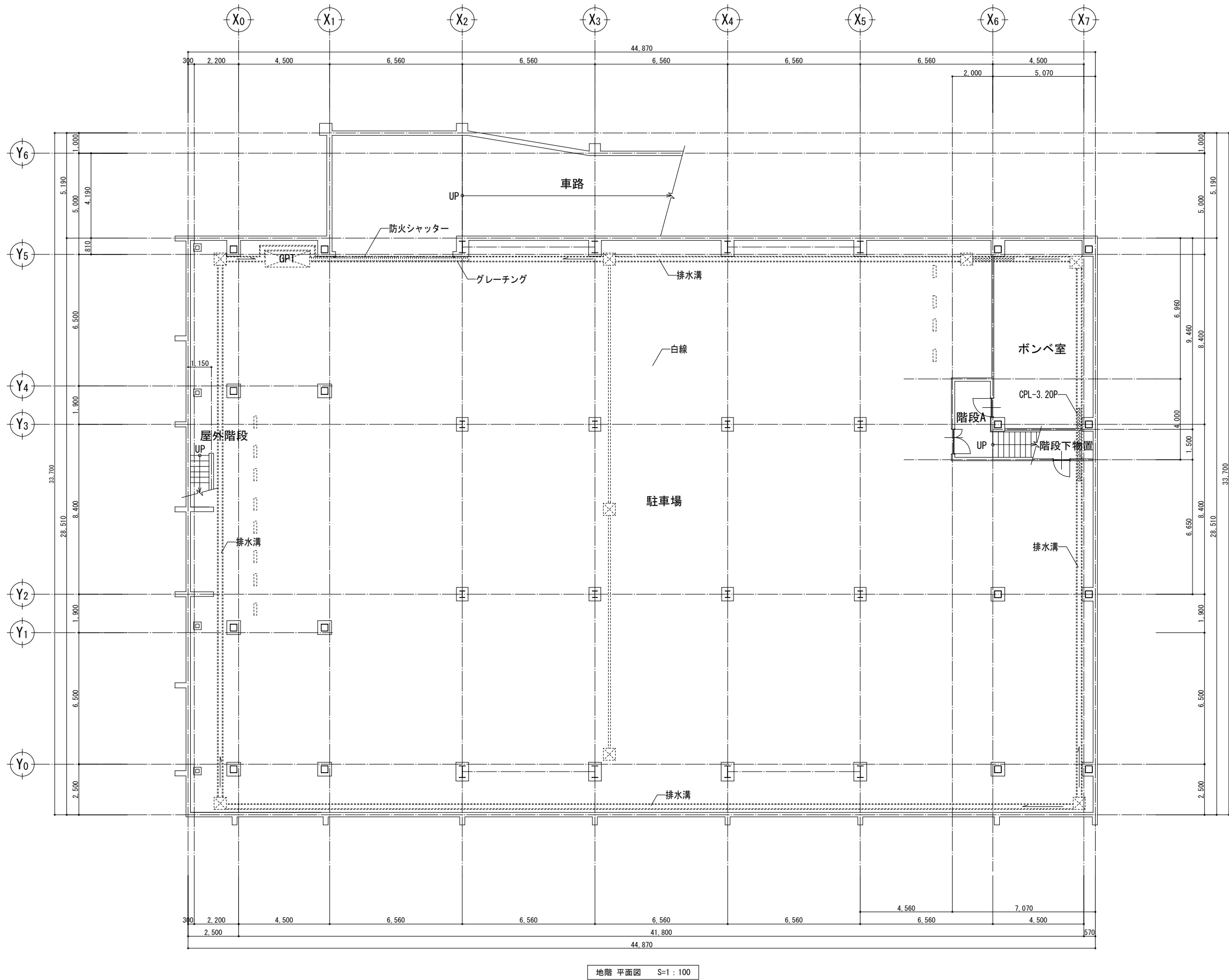
縮尺 ー 単位 MM
所 長 部長 課長 担当 製図 製図

令和 8 年 6 月 作製
A ー 03

図面名称 内部仕上表

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



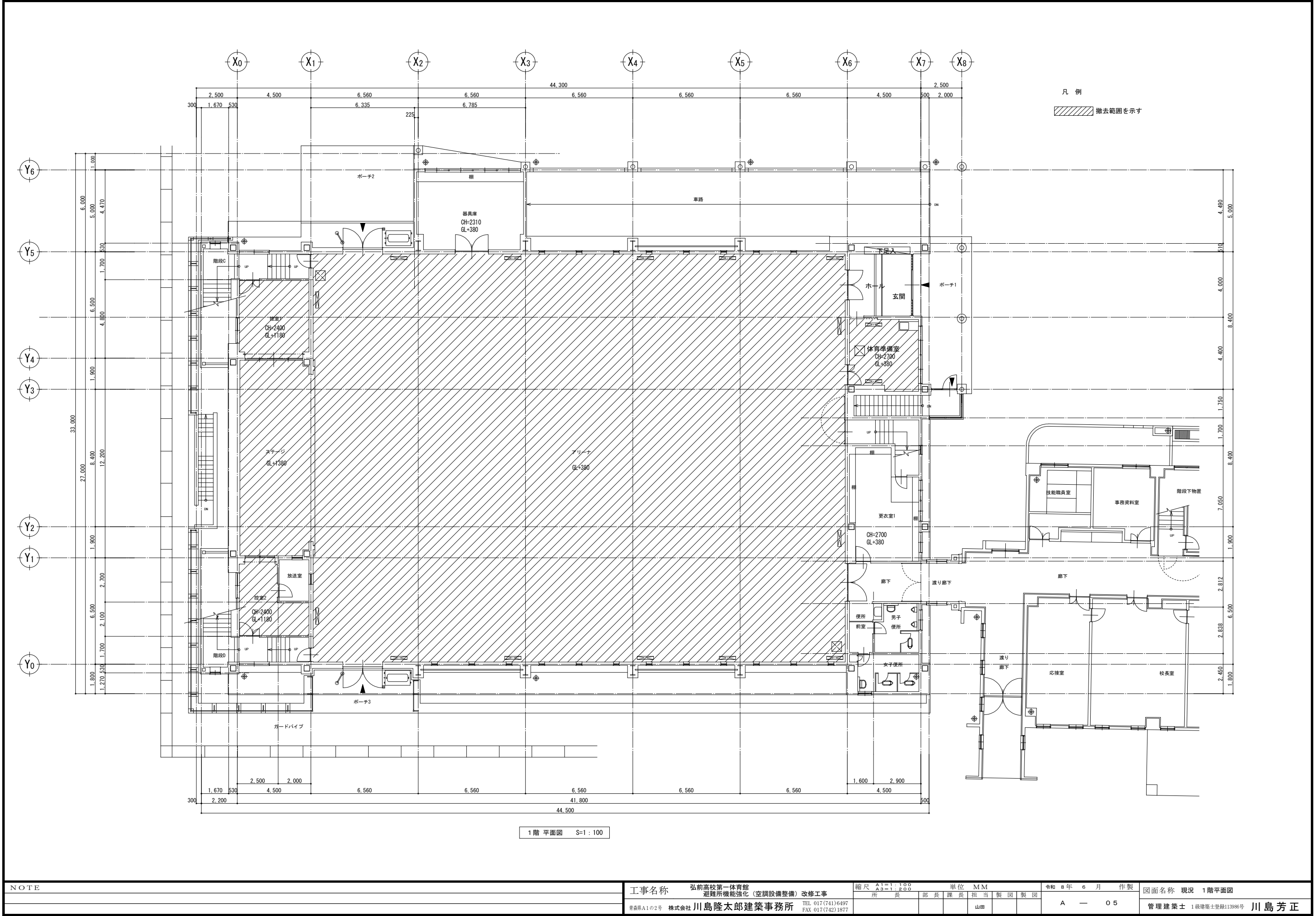
NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

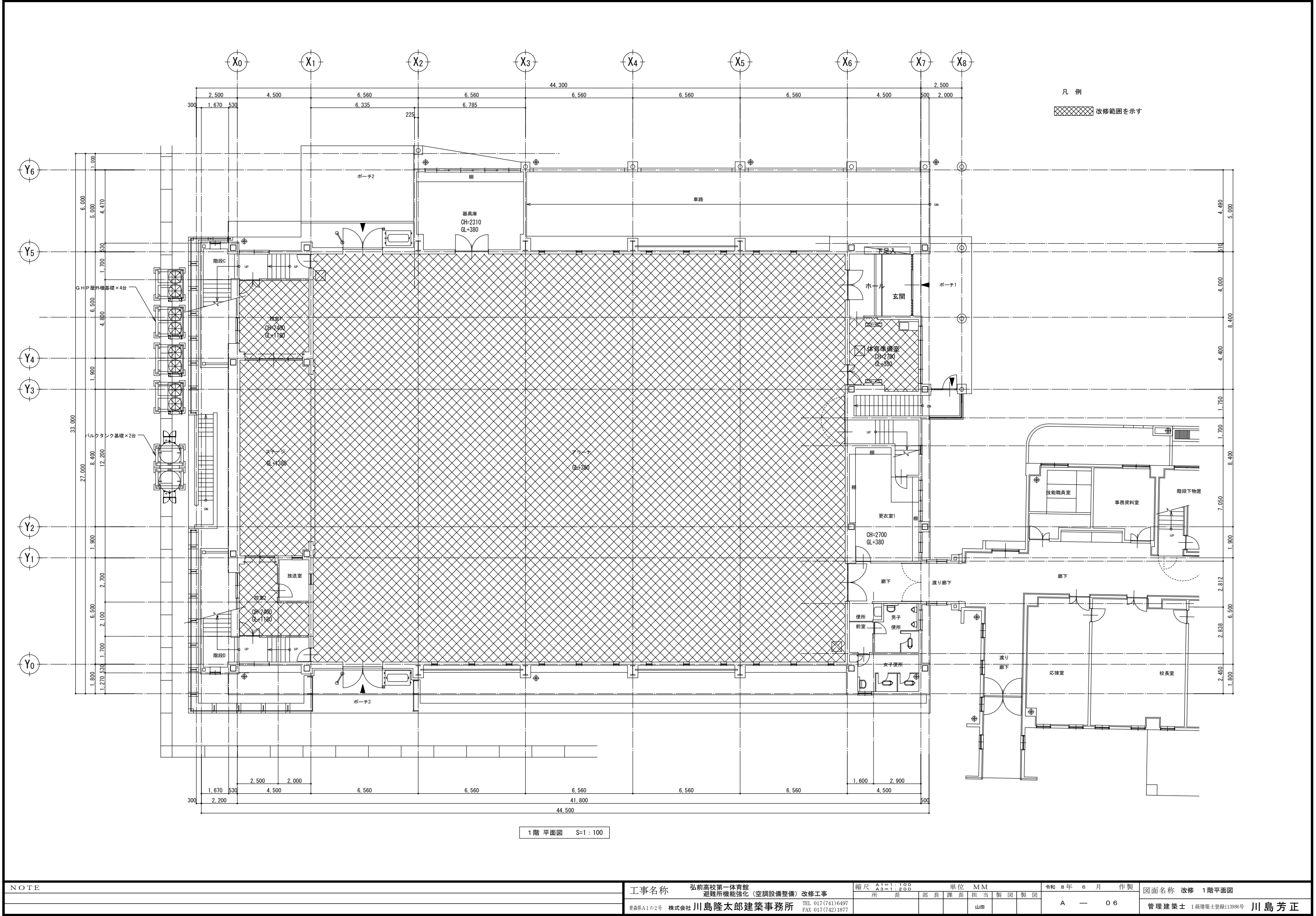
縮尺 A3=1:100
A3=1:200
所 長 部長 課長 担当 製図 製図
山田

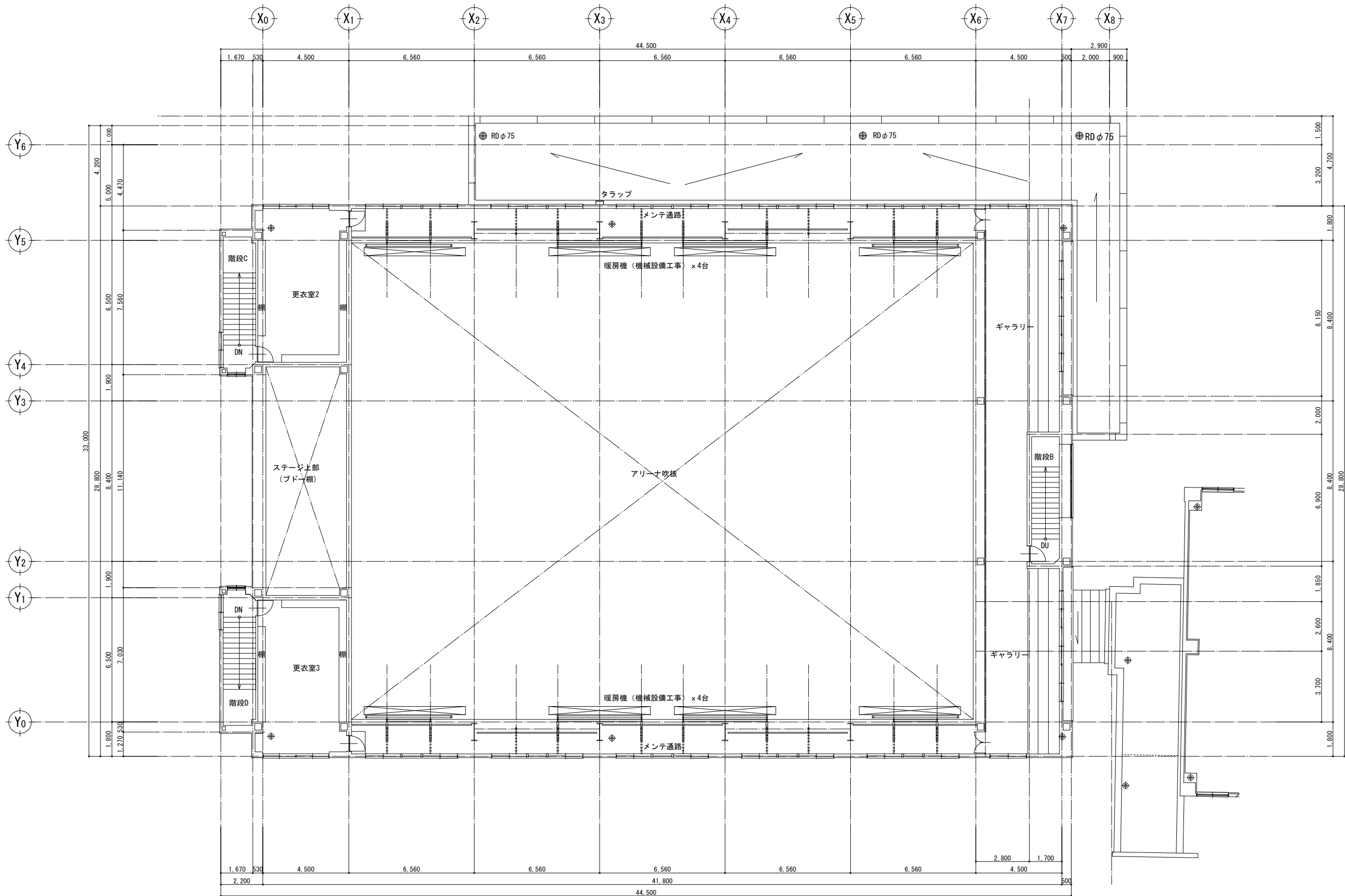
令和 8 年 6 月 作製
A — 04

図面名称 現況 地階 平面図 （改修なし）
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



NOTE	工事名称 弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事	縮尺 A3=1:100 A3=1:200	単位 MM	令和 8 年 6 月 作製	図面名称 現況 1階平面図
	所 長	部 長	課 長	担 当	製 図
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877	山田		
				A — 05	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正





2階 平面図 S=1:100

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 A3=1:100
A3=1:200

所 長

単位 MM
部 長 課 長 担 当 製 図 製 図

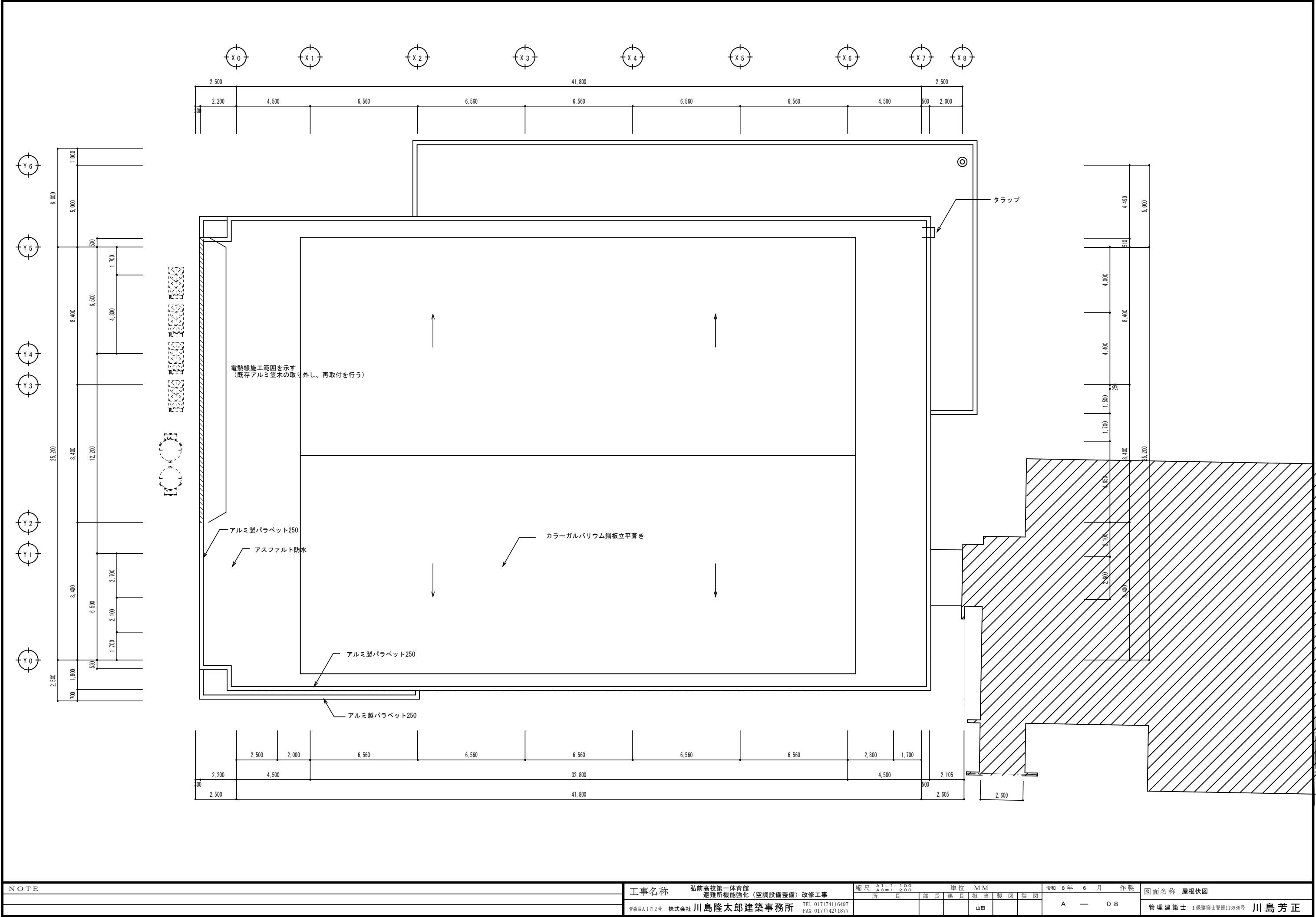
山田

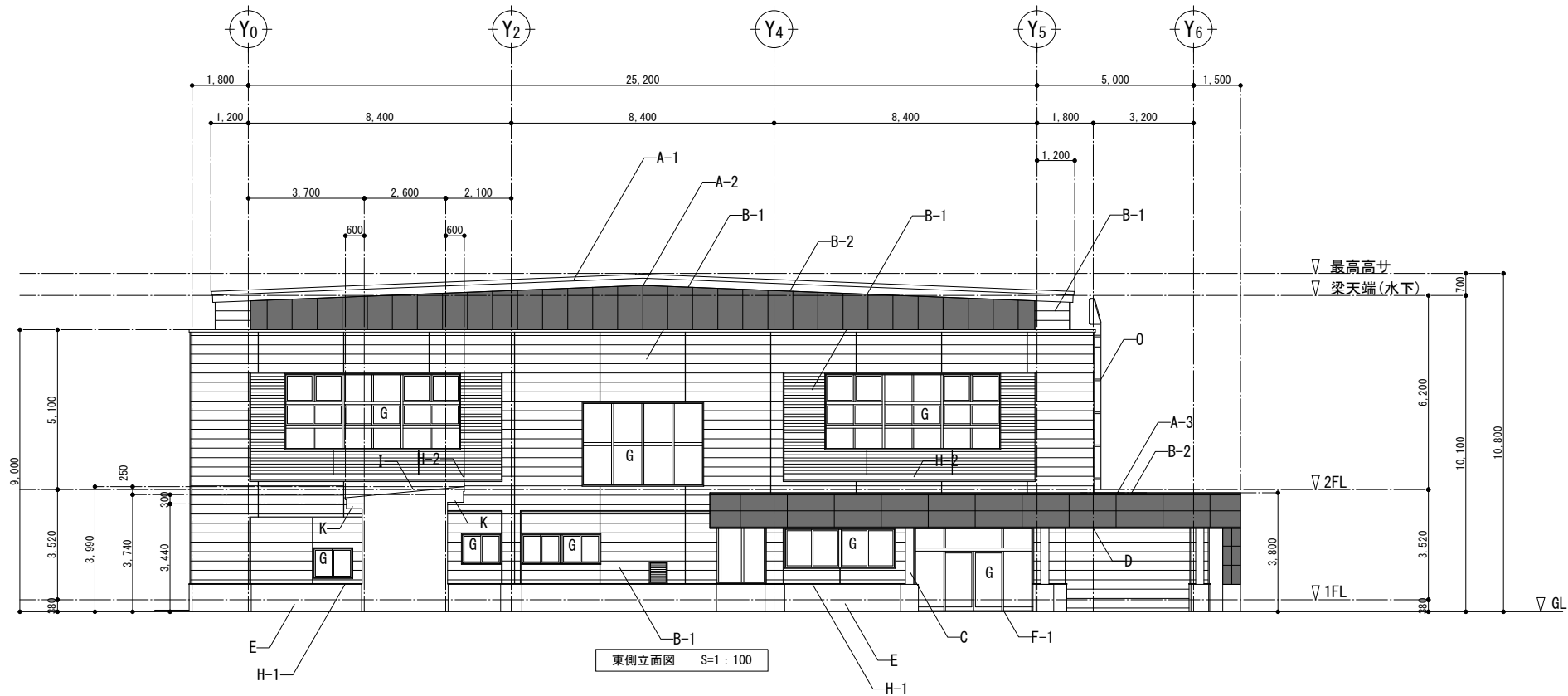
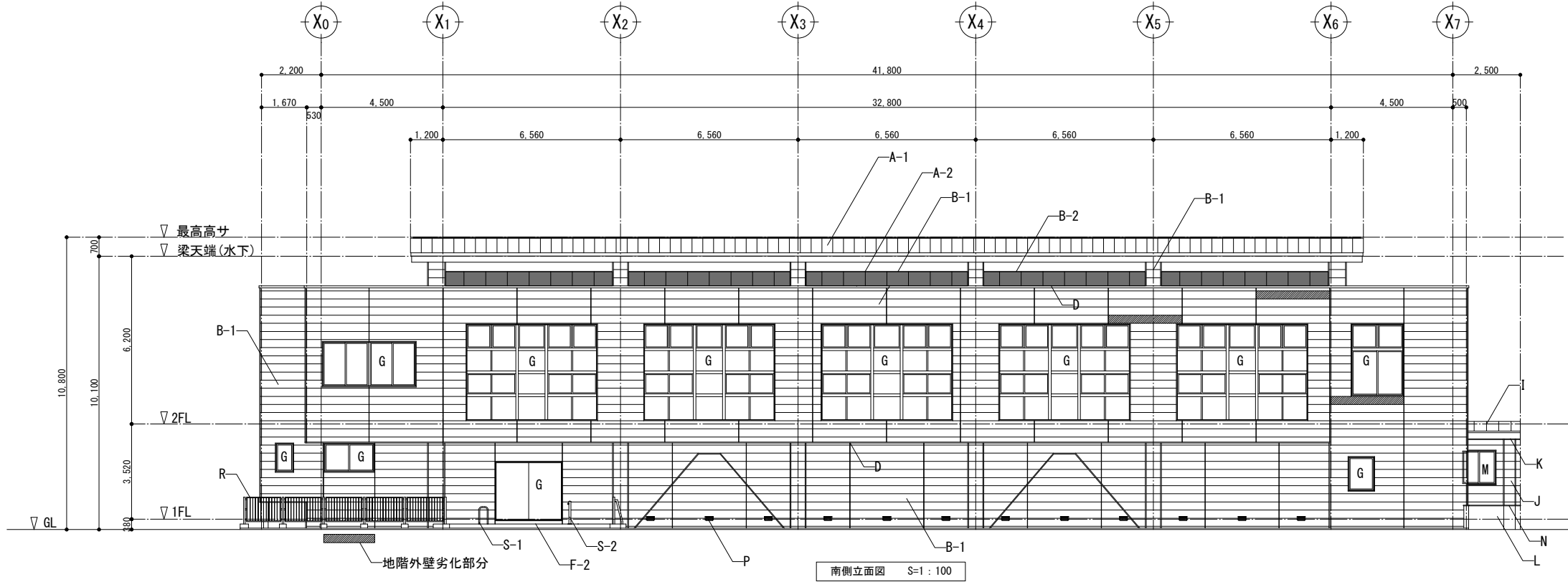
令和 8 年 6 月 作 製

A — 07

図面名称 既存 2階平面図（改修なし）

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正





外部仕上表		
名 称	記号	
屋 根	A-1	アリーナ：カラスステンレス t=0.4(溶接工法) 種包み、鼻隠し、破風：カラスステンレス t=0.4包み 耐候性塗料塗り (DP) B種 (塗料2級：アクリルシリコン樹脂塗料)
	A-2	メンテ通路、ギャラリー、更衣室2、3：超速硬化ウレタン吹付 100φステンレス製ルーフトレイン、脱気装置、笠木：アルミ製 (既製品)
	A-3	車路、ポーチ1：超速硬化ウレタン吹付 75φステンレス製ルーフトレイン 笠木：カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2 錆止め塗料 (変性エポキシ樹脂プライマー (B種))、フッ素塗料塗り
外 壁	B-1	中空押出成形セメント板 t=15 複層塗料吹付 一部 中空押出成形セメント板 t=22 (デザインタイプ) 複層塗料吹付 の上 防水形複層塗材Eトップコート (ウレタン系) 仕上 外壁目地シーリング (ポリウレタン系 (PU-2) 10×10) 外壁見切りシーリング (変成シリコーン (MS-2) 10×10)
	B-2	カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2 錆止め塗料 (変性エポキシ樹脂プライマー (B種))、フッ素塗料塗り 外壁目地、見切りシーリング (変成シリコーン (MS-2) 10×10)
柱型・梁型	C	鉄骨柱・梁：フッ素塗装
軒 天	D	ケイ酸カルシウム板 t=11 EP (B種) 塗り
根廻り 立上り壁	E	コンクリート打放しB種仕上 複層塗料吹付
床	F-1	ポーチ1：モルタル下地150角磁器質タイル
	F-2	犬走り、ポーチ2、3：コンクリート金ゴテ仕上 A種
	F-3	屋外階段：コンクリート金ゴテ仕上 A種
建 具	G	アルミ製サッシ 建具周囲シーリング (変成シリコーン (MS-2) 20×10) 下端と水切り取合い部シーリング (変成シリコーン (SM-2) 15×10)
水 切	H-1	アルミ製水切
	H-2	カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2加工水切 錆止め塗料 (変性エポキシ樹脂プライマー (B種))、フッ素塗料塗り
渡り廊下	屋 根	I カラスステンレス t=0.4 (防水工法) 破風：カラスステンレス t=0.4包み
	外 壁	J 中空押出成形セメント板 t=15 複層塗料吹付 建具周囲、外壁目地、見切りシーリング撤去
	軒 天	K ケイ酸カルシウム板 t=11 AE
	根廻り	L コンクリート打放しB種仕上 複層塗料吹付
	建 具	M アルミ製サッシ 建具周囲シーリング (変成シリコーン (MS-2) 20×10) 新設
水 切	N	アルミ製水切
外部金物等	タラップ	O ステンレス製
	換気ガラリ	P ステンレス製
	グレーチング	Q 落下防止スチール製グレーチング
	手摺	R 落下防止用スチール 手摺 フッ素塗装塗り
	ガードパイプ	S-1 アーチ型スチール製車止め フッ素塗装塗り
		S-2 ガードポール
	窓格子	T アルミ製

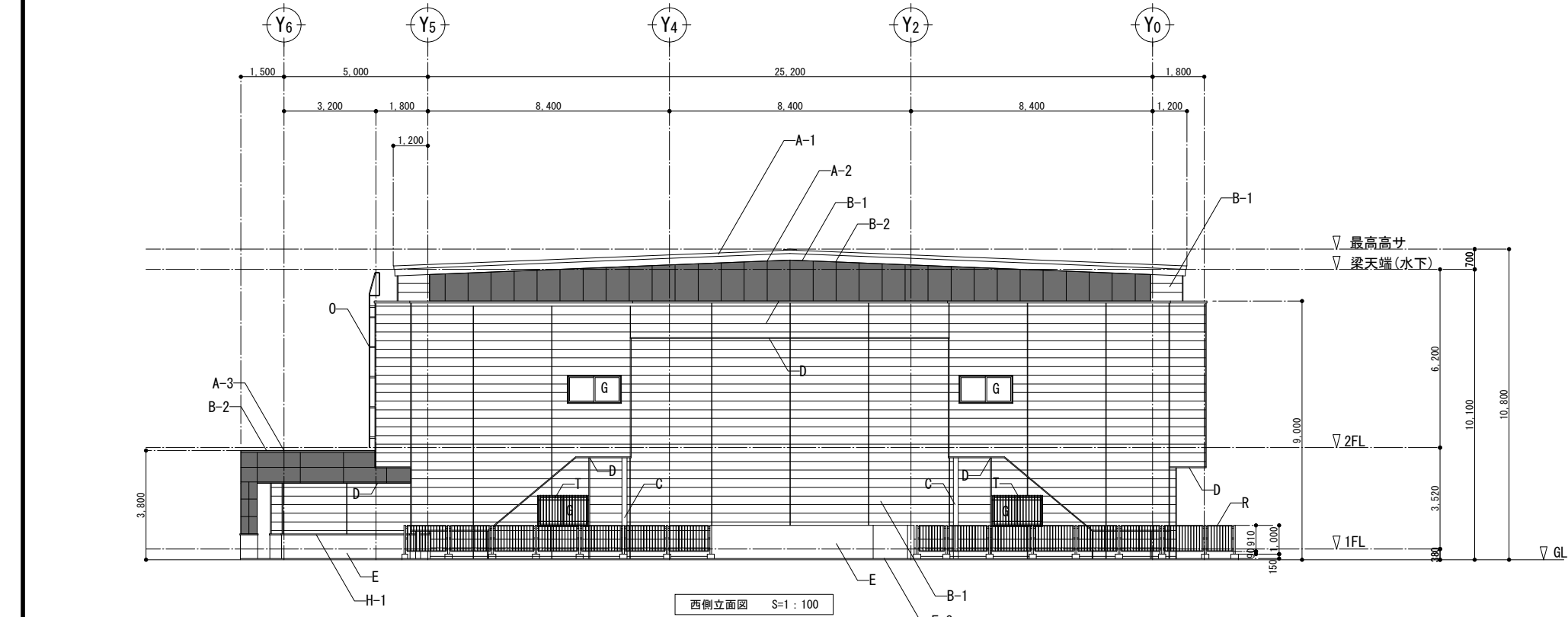
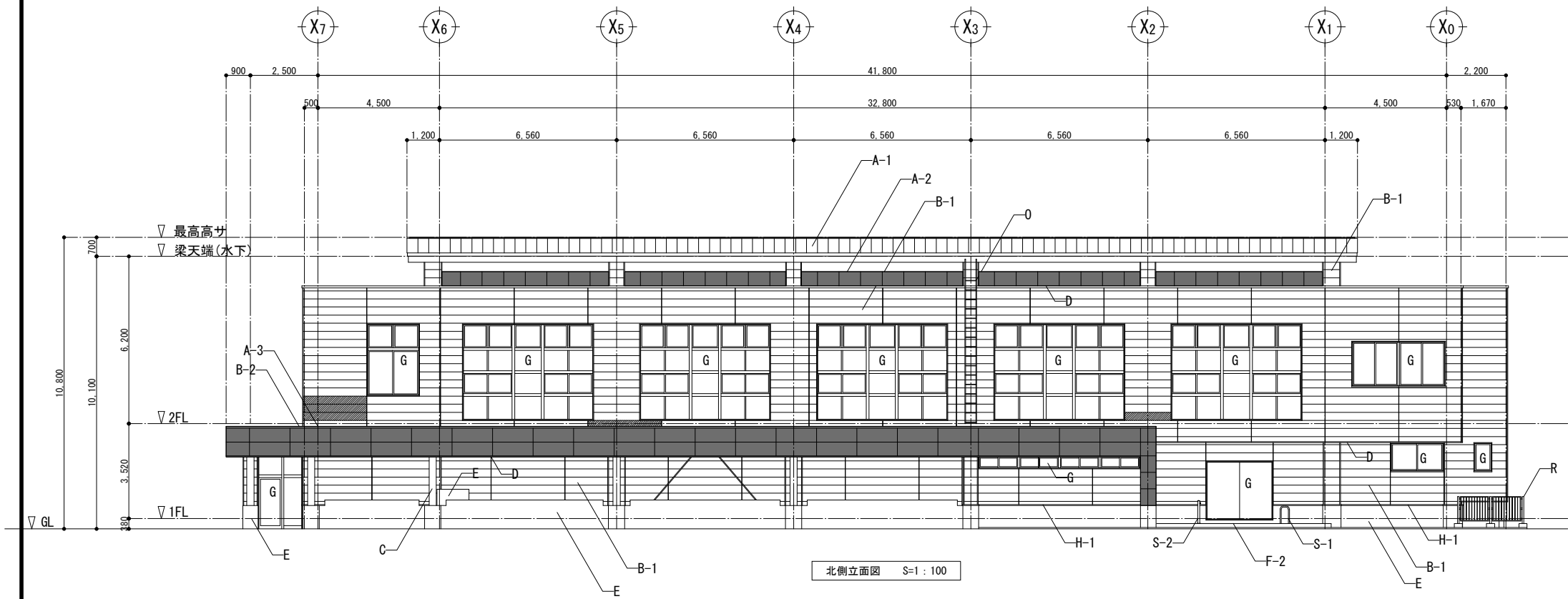
NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館 避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877

縮尺 A3=1:100 A3=1:200 単位 MM
所 長 部長 担当 製 図 製 図 山田

令和 8 年 6 月 作製
A — 0 9

図面名称 南側・東側 立面図
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



外部仕上表		
	名 称	仕 上
第一 体 育 館	屋 根	A-1 アリーナ：カラーステンレス t=0.4(溶接工法) 種包み、鼻隠し、破風：カラーステンレス t=0.4包み 耐候性塗料塗り (DP) B種 (塗料2級：アクリルシリコン樹脂塗料)
		A-2 メンテ通路、ギャラリー、更衣室2、3：超速硬化ウレタン吹付 100φステンレス製ルーフトレイン、脱気装置、笠木：アルミ製 (既製品)
		A-3 車路、ポーチ1：超速硬化ウレタン吹付 75φステンレス製ルーフトレイン 笠木：カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2 錆止め塗料 (変性エポキシ樹脂プライマー (B種))、フッ素塗料塗り
	外 壁	B-1 中空押出成形セメント板 t=15 複層塗料吹付 一部 中空押出成形セメント形 t=22 (デザインタイプ) 複層塗料吹付 の上 防水形複層塗材Eトップコート (ウレタン系) 仕上 外壁目地シーリング (ポリウレタン系 (PU-2) 10×10) 外壁見切りシーリング (変成シリコーン (MS-2) 10×10)
		B-2 カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2 錆止め塗料 (変性エポキシ樹脂プライマー (B種))、フッ素塗料塗り 外壁目地、見切りシーリング (変成シリコーン (MS-2) 10×10)
	柱型・梁型	C 鉄骨柱・梁：フッ素塗装
	軒 天	D ケイ酸カルシウム板 t=11 EP (B種) 塗り
	根廻り 立上り壁	E コンクリート打放しB種仕上 複層塗料吹付
	床	F-1 ポーチ1：モルタル下地150角磁器質タイル
		F-2 犬走り、ポーチ2、3：コンクリート金ゴテ仕上 A種
		F-3 屋外階段：コンクリート金ゴテ仕上金ゴテ
	建 具	G アルミ製サッシ 建具周囲シーリング (変成シリコーン (MS-2) 20×10) 下端と水切り取合い部シーリング (変成シリコーン (SM-2) 15×10)
	水 切	H-1 アルミ製水切
		H-2 カラーアルミ亜鉛合金メッキ鋼板 t=1.2加工水切 錆止め塗料 (変性エポキシ樹脂プライマー (B種))、フッ素塗料塗り
渡 り 廊 下	屋 根	I カラーステンレス t=0.4 (防水工法) 破風：カラーステンレス t=0.4包み
	外 壁	J 中空押出成形セメント板 t=15 複層塗料吹付 建具周囲、外壁目地、見切りシーリング撤去
	軒 天	K ケイ酸カルシウム板 t=11 AE
	根廻り	L コンクリート打放しB種仕上 複層塗料吹付
	建 具	M アルミ製サッシ 建具周囲シーリング (変成シリコーン (MS-2) 20×10) 新設
	水 切	N アルミ製水切
外部 金物 等	タラップ	O ステンレス製
	換気ガラリ	P ステンレス製
	グレーチング	Q 落下防止スチール製グレーチング
	手摺	R 落下防止用スチール 手摺 フッ素塗装塗り
	ガードパイプ	S-1 アーチ型スチール製車止め フッ素塗装塗り
		S-2 ガードポール
	窓格子	T アルミ製

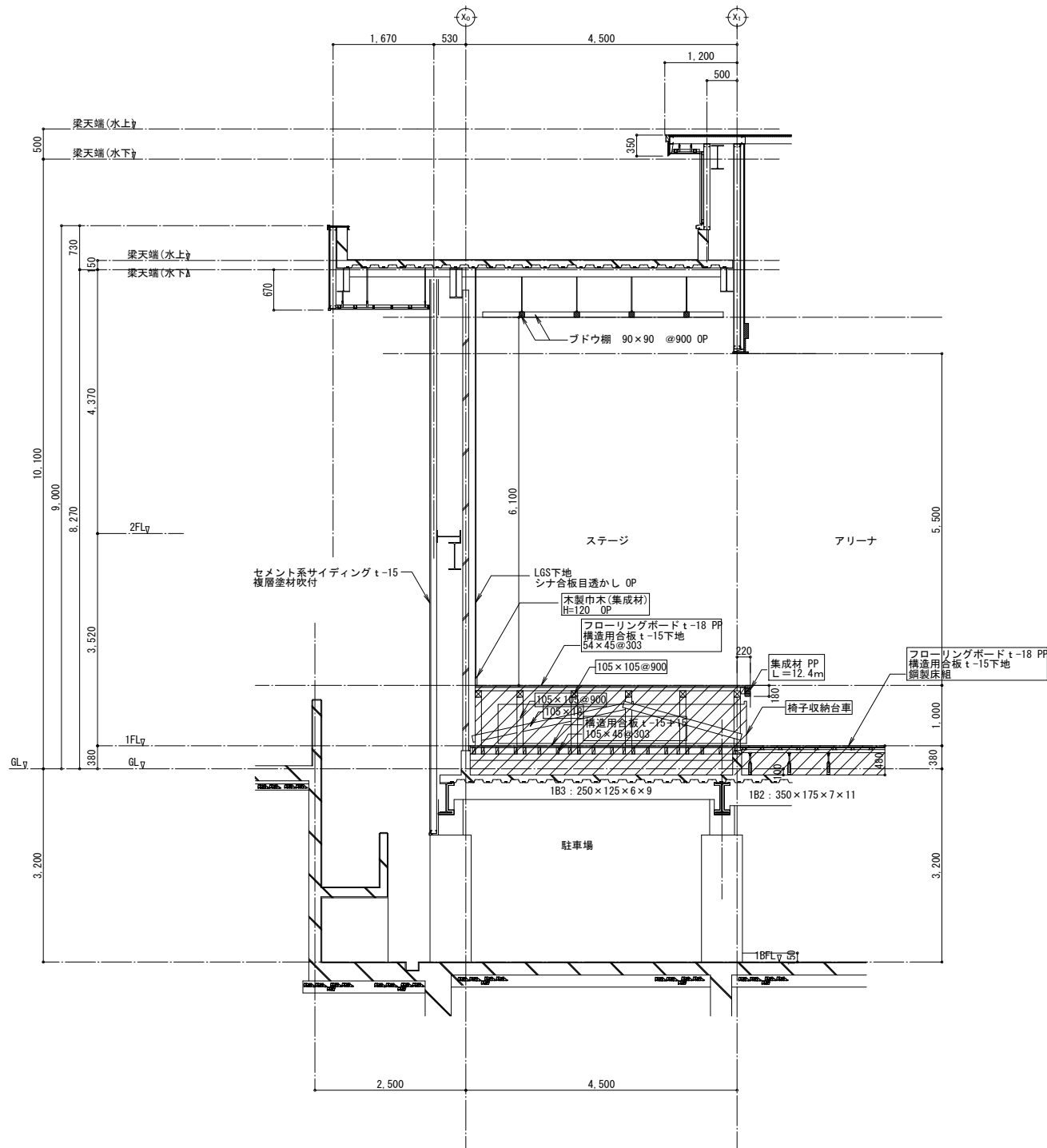
NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

縮尺 A1=1:100
A3=1:200
所 長 部長 課長 担当 製 図 製 図
山田

令和 8 年 6 月 作製
A — 1 0

図面名称 北側・西側 立面図
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



凡 例

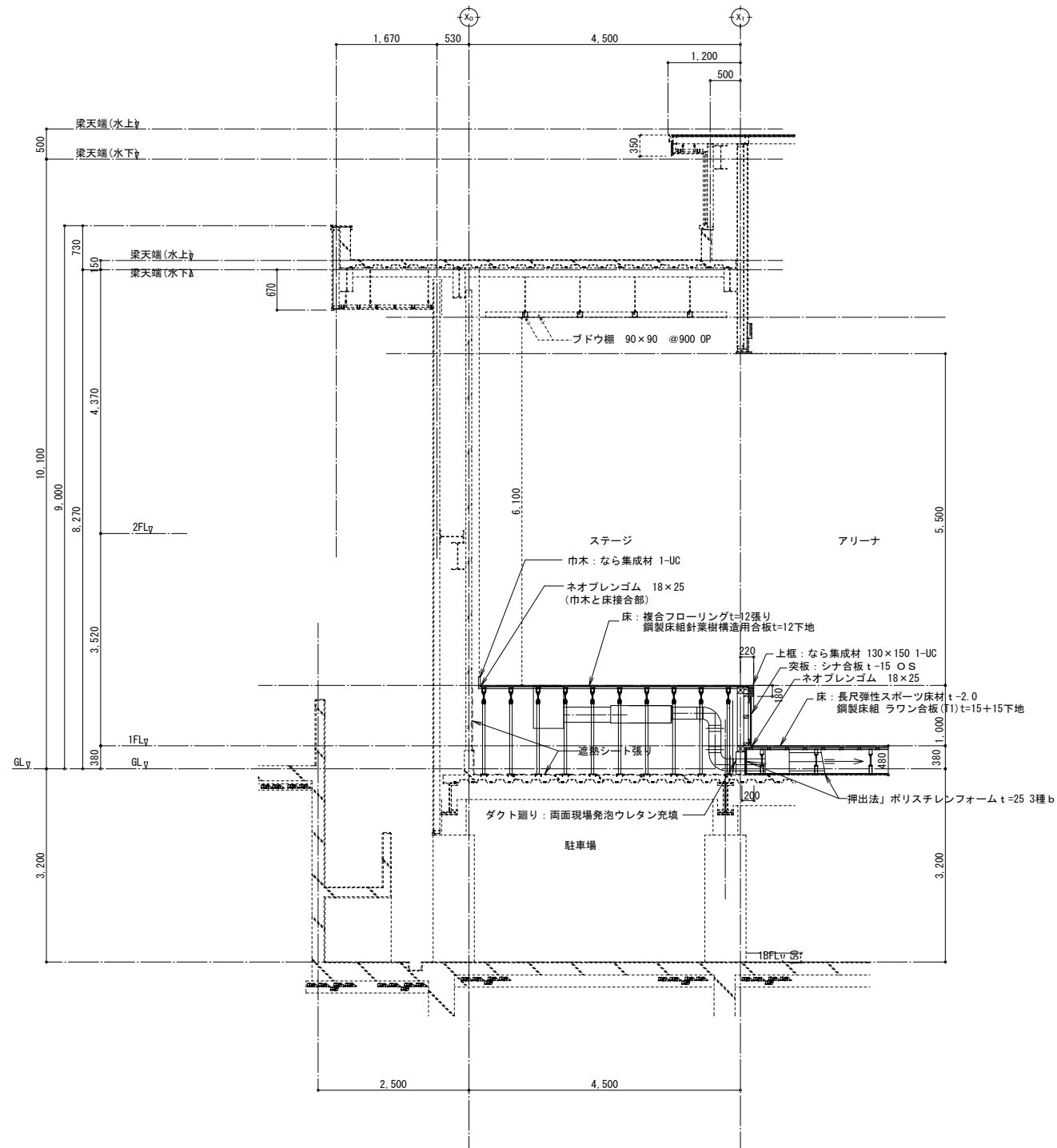


撤去施設を示す



撤去範囲を示す

既存矩計図-1 S=1/50



改修後矩計図-1 S=1/50

NOTE

工事名称

弘前高校第一体育館
避難所機能強化（空調設備整備）改修工事

縮尺
A3=1:500
A3=1:1000

単位
MM

令和 8 年 6 月 作製

図面名称 矩計図-1（既存図・改修図）

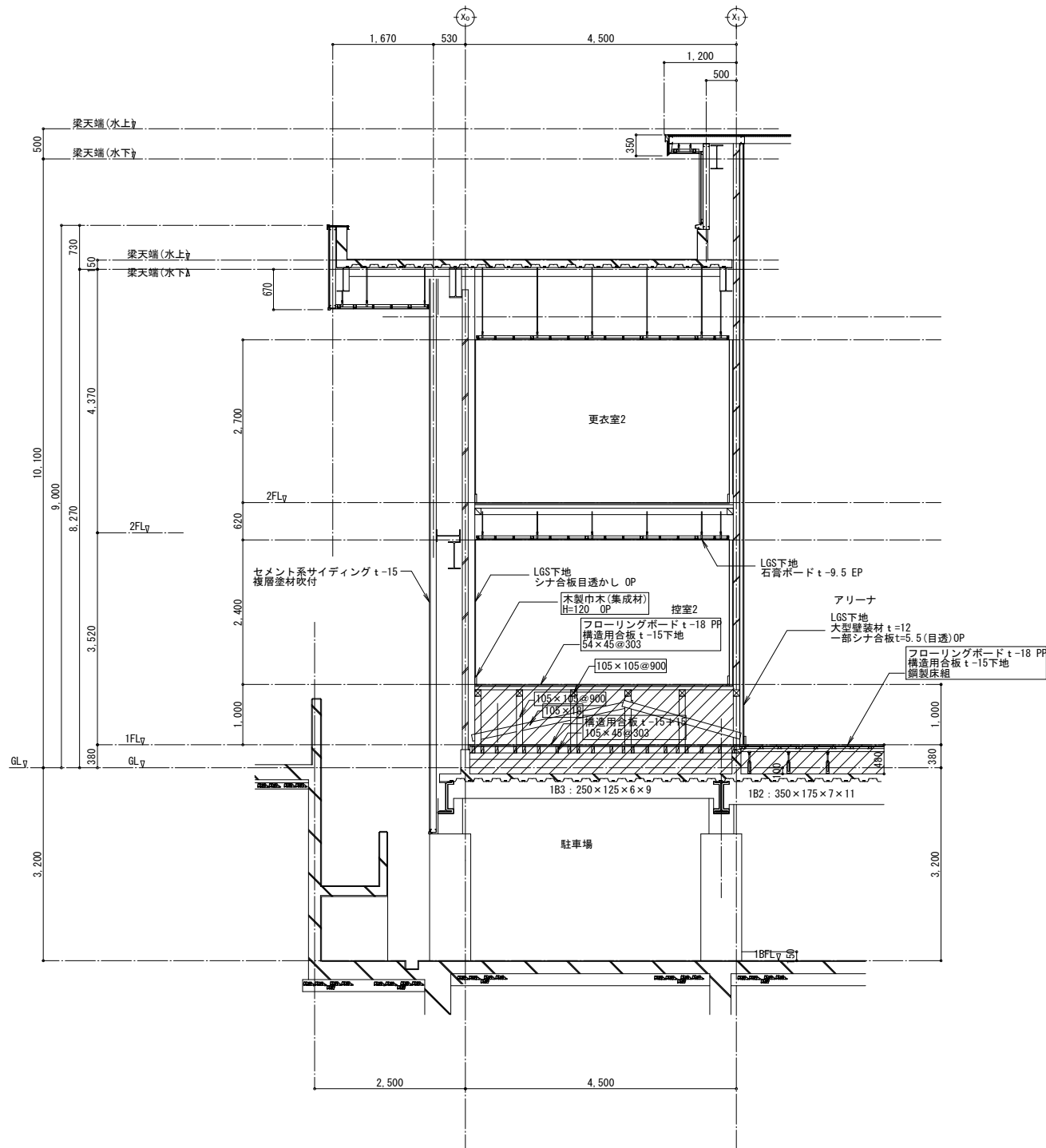
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

山田

A — 1 1

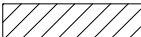
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



凡 例

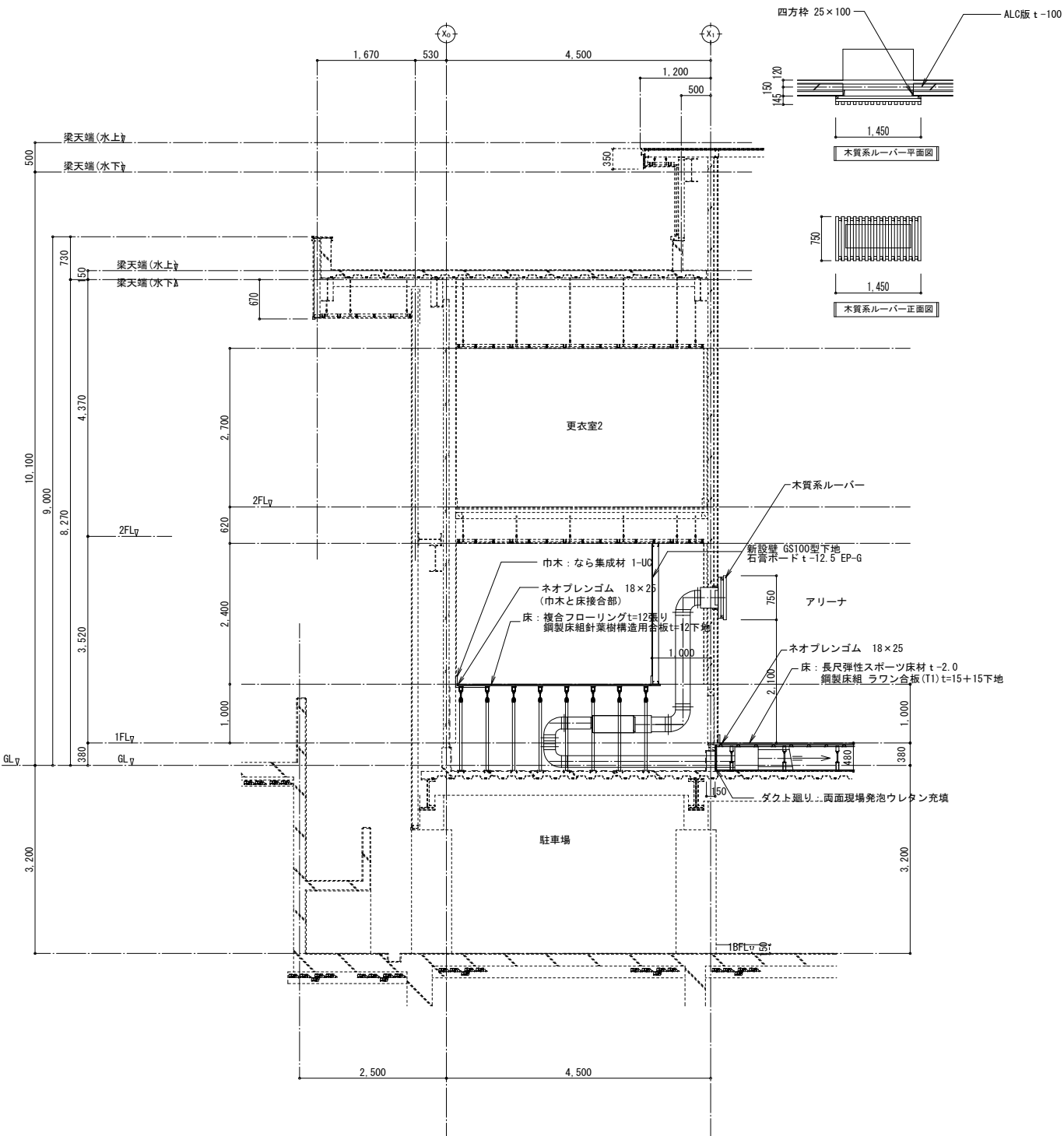


撤去施設を示す



撤去範囲を示す

既存矩計図-2 S=1/50



改修後矩計図-2 S=1/50

NOTE

工事名称

弘前高校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事

縮尺

A3=1:500
A3=1:1000

単位

MM

令和 8 年 6 月 作製

図面名称 矩計図-2 (既存図・改修図)

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

所 長

部 長

課 長

担 当

製 図

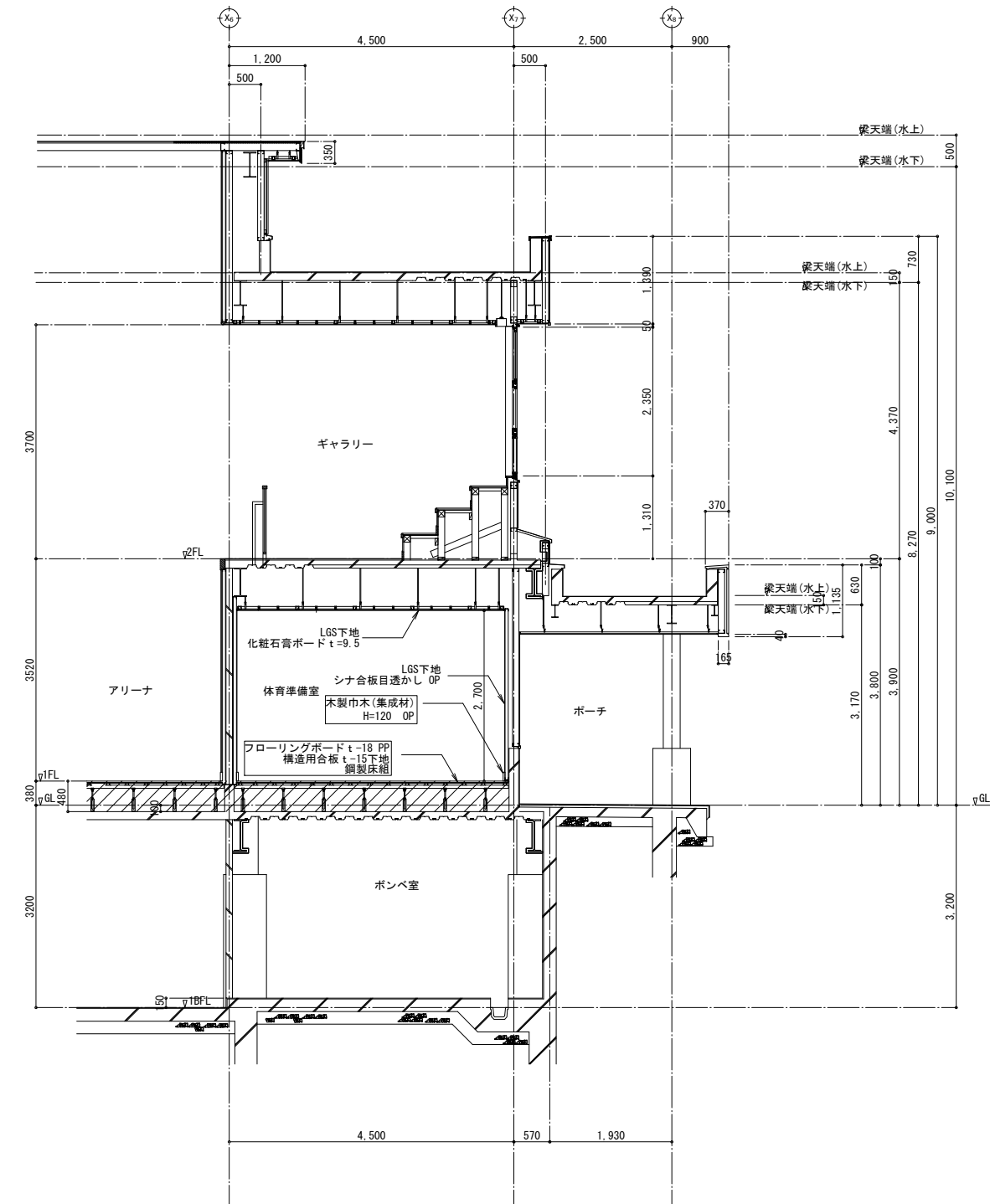
製 図

山 田

A

1 2

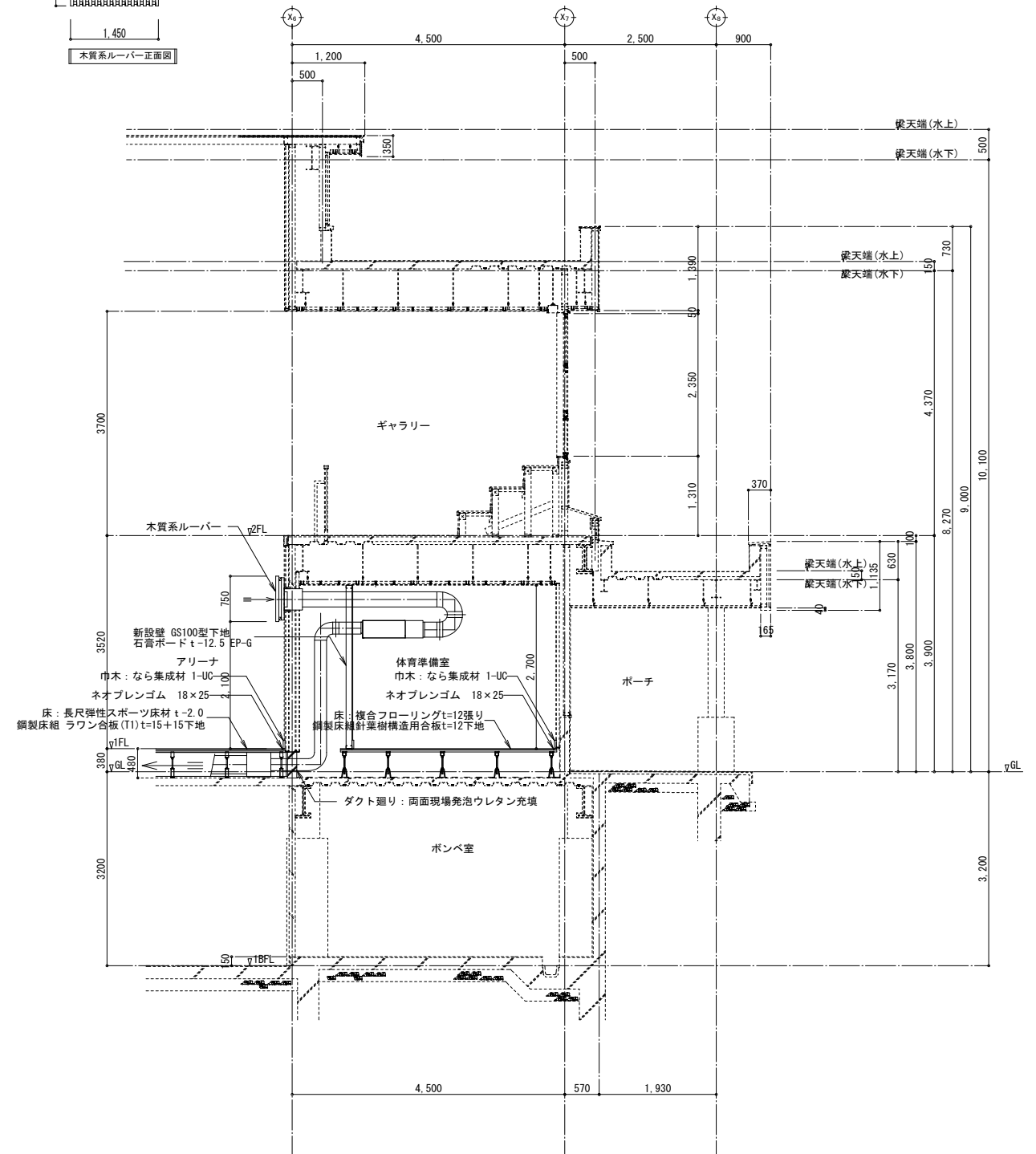
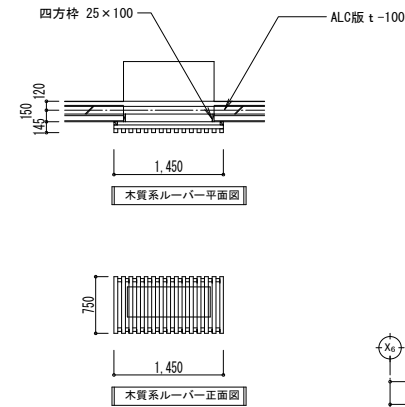
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



凡 例

- 撤去施設を示す
- 撤去範囲を示す

既存矩計図-2 S=1/50



改修後矩計図-2 S=1/50

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化(空調設備整備) 改修工事

縮尺 A3=1:50
A3=1:100

所 長 部長 課長 担当 製図 製図

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

単位 MM

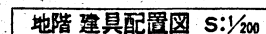
山田

令和 8 年 6 月 作製

A — 13

図面名称 矩計図-3 (既存図・改修図)

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

[illegible]

建具番号 数量 姿図	AD-1	AD-2	AD-3	AW-1	
	性能	性能	性能	性能	
	扉見込・材質・仕上 100, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ □: 5強化硝子, □: 5フロート硝子 ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 100, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ □: 5強化硝子, □: 5フロート硝子 ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ □: 5強化硝子, □: 5フロート硝子 ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ □: 4強化硝子 ガラリ・材質・仕上	
	握り玉・錠・把手 引手 引手錠錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 握玉 本端錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 握玉 本端錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 引手 引手錠錠 (外部シリコン・内部リバー)	
	付属金物・その他	付属金物・その他 片面3方連続アンクル ドアチェア7 (スト・アゲ), ステンレス丁番 (3枚用), フランス巻上	付属金物・その他 片面3方連続アンクル ドアチェア7 (スト・アゲ), ステンレス丁番 (3枚用)	付属金物・その他 片面4方連続アンクル	
取 合 い	※20ステンレス下枠 W=100, 片面3方アルミ・ウレタン製 80×25 3方アルミ・ウレタン製 Y0通リ: 20ステンレス加工 L=187以上, Y5通リ: アルミ・ウレタン製 L=72以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=865) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=100, 片面3方アルミ・ウレタン製 80×25 3方アルミ・ウレタン製 Y0通リ: 20ステンレス加工 L=187以上, Y5通リ: アルミ・ウレタン製 L=72以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=865) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=70, 片面3方アルミ・ウレタン製 90×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=700) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=70, 片面3方アルミ・ウレタン製 90×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=700) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=100, 片面3方アルミ・ウレタン製 80×25 3方アルミ・ウレタン製 Y0通リ: 20ステンレス加工 L=187以上, Y5通リ: アルミ・ウレタン製 L=72以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=865) 断熱材 開口部補強 備考
建具番号 数量 姿図	AW-5	AW-3	AW-4	AW-5	
	性能	性能	性能	性能	
	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ ※68超入窓板硝子 (ガラスワイヤー) AW/2, AW/2' 共 ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ ※68超入窓板硝子 (ガラスワイヤー) AW/3, AW/3' 共 ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ ※68超入窓板硝子 (ガラスワイヤー) ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ ※68超入窓板硝子 (ガラスワイヤー) AW/6, AW/6' 共 ガラリ・材質・仕上	扉見込・材質・仕上 70, アルミ・ウレタン製 ガラス・種類・厚さ ※68超入窓板硝子 (ガラスワイヤー) AW/6, AW/6' 共 ガラリ・材質・仕上
	握り玉・錠・把手 引手 引き出し錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 引手 引き出し錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 引手 引き出し錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 引手 引き出し錠 (外部シリコン・内部リバー)	握り玉・錠・把手 引手 引き出し錠 (外部シリコン・内部リバー)
	付属金物・その他 片面4方連続アンクル 引き出し錠: ステンレス丁番, ステンシルバー・滑車, 手動式オペレーター	付属金物・その他 片面4方連続アンクル 引き出し錠: ステンレス丁番, ステンシルバー・滑車, 手動式オペレーター	付属金物・その他 片面4方連続アンクル	付属金物・その他 片面4方連続アンクル	付属金物・その他 片面4方連続アンクル
	※20ステンレス下枠 W=100, 片面2方アルミ・ウレタン製 115×30 OP, 片面1方アルミ・ウレタン製 95×30 OP 115×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=865) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=100, 片面2方アルミ・ウレタン製 115×30 OP, 片面1方アルミ・ウレタン製 95×30 OP 115×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=865) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=70, 片面3方アルミ・ウレタン製 95×30 OP 95×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=700) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=70, 片面3方アルミ・ウレタン製 95×30 OP 95×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=700) 断熱材 開口部補強 備考	※20ステンレス下枠 W=100, 片面2方アルミ・ウレタン製 115×30 OP, 片面1方アルミ・ウレタン製 95×30 OP 115×30 OP 3方アルミ・ウレタン製 アルミ・ウレタン製 L=52以上 ボリサルファイド (2枚分形) 防水モルタル詰め (下枠及び堅枠 H=865) 断熱材 開口部補強 備考

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 単位 MM

所 長 部長 課長 担当 製図 製図

令和8年 7月 作製

A - 15

図面名称 建具表-1 (現況図)

管理建築士 1級建築士登録13986号 川島芳正

建具称号 数量 変図														
	乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸	
性能	70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製	
扉見込・材質・仕上	°5 フロートガラス		°6.8 網入型板ガラス(クロスワイヤー) °5 フロートガラス		°6.8 網入型板ガラス(クロスワイヤー)		°6.8 網入型板ガラス(クロスワイヤー)		°5 フロートガラス		°6.8 網入型板ガラス(クロスワイヤー)		°5 フロートガラス	
ガラス・種類・厚さ	7Lセント		7Lセント		7Lセント		7Lセント		7Lセント		7Lセント		7Lセント	
ガラリ・材質・仕上	片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル	
握り玉・錠・把手	片面3方縁線 140×30 OP		片面2方縁線(97) 115×30 OP, 片面1方 95×30 OP		片面3方縁線 140×30 OP		片面3方縁線 150×30 OP		片面3方縁線 115×30, 140×30 OP		片面3方縁線 115×30 OP		片面3方縁線 265×25 OP	
取 り 合 い	140×30 OP		115×30 OP		140×30 OP		150×30 OP		115×30, 140×30 OP		115×30 OP		片面3方縁線 265×25 OP	
雨切縁	3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製	
水切板	アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上	
シーリング	ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)	
モルタル詰め														
断熱材														
開口部補強														
備考														
建具称号 数量 変図														
	乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸		乙種防火戸						乙種防火戸	
性能	70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製		70.アルミニウム製						70.アルミニウム製	
扉見込・材質・仕上	°6.8 網入型板ガラス(クロスワイヤー)		°6.8 網入型板ガラス(クロスワイヤー)		°5 フロートガラス		°5 フロートガラス						アルミニウム製 開口率 44%, 網板ビード 50	
ガラス・種類・厚さ	7Lセント		7Lセント		7Lセント		7Lセント						アルミニウム製 開口率 44%, 網板ビード 50	
ガラリ・材質・仕上	片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル		片面4方縁線アンガル						片面4方縁線アンガル(X7裏りハサミ)	
握り玉・錠・把手	片面3方縁線 150×30 OP		使用: 片面3方縁線 150×30 OP, 裏面: 片面3方縁線 140×30 OP		片面3方縁線 300×25 OP		片面3方縁線 300×25 OP						片面3方縁線 95×30 (X7裏りハサミ)	
取 り 合 い	150×30 OP		使用: 150×30 OP, 裏面: 140×30 OP		300×25 OP		300×25 OP						95×30 (X7裏りハサミ)	
雨切縁	3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製		3方アルミニウム製						アルミニウム製 L=122以上	
水切板	アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52以上		アルミニウム製 L=52						アルミニウム製 L=122以上	
シーリング	ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)		ポリサルファイド(2段分形)						ポリサルファイド(2段分形)	
モルタル詰め													4方防水モルタル詰め	
断熱材														
開口部補強														
備考														

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化(空調設備整備)改修工事

縮尺 A1:1/50 A3:1/100

単位 MM

令和8年 7月 作製

図面名称 建具表-2 (現況図)

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

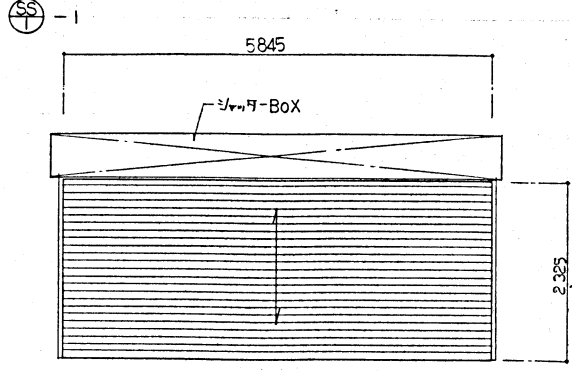
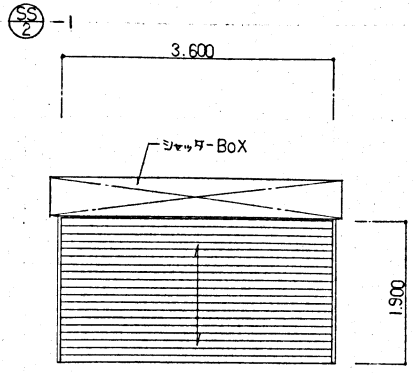
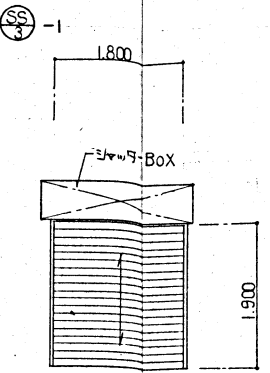
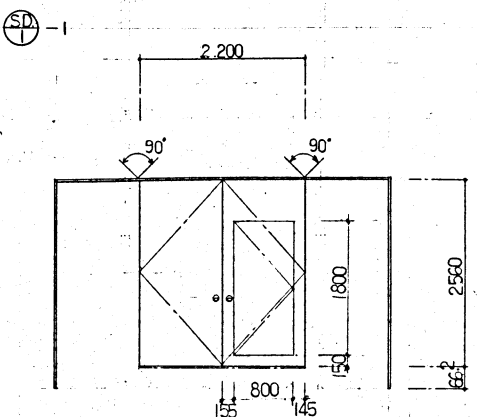
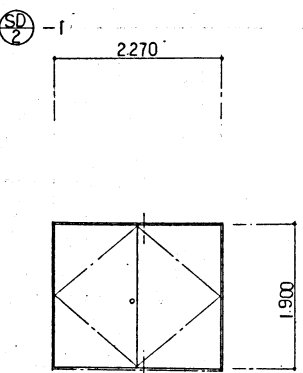
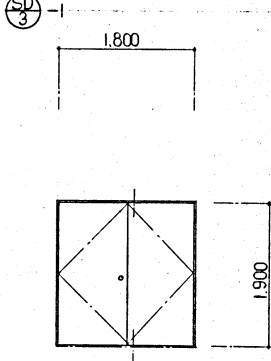
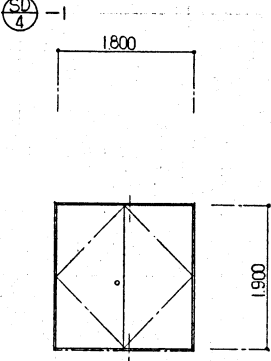
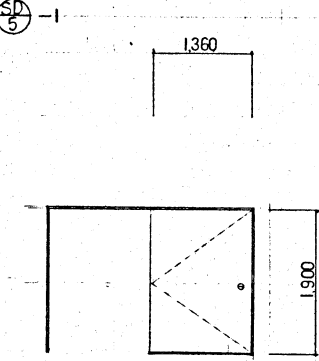
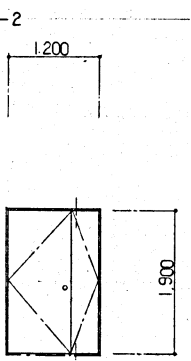
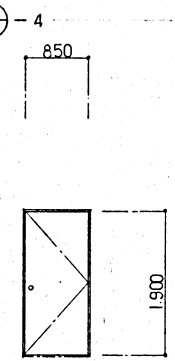
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

所長 部長 課長 担当 製図 製図

山田

A - 16

管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正

建具 数量 表										
	性能 甲種防火戸(煙感知器連動式, 上部手動式)		性能 甲種防火戸(煙感知器連動式, 上部手動式)		性能 甲種防火戸(煙感知器連動式, 上部手動式)		性能 甲種防火戸(煙感知器連動式, 常時閉鎖式)		性能 甲種防火戸(常時閉鎖式), セミオート仕様	
	扉見込・材質・仕上 スラット: 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上 炭化珪塗装		扉見込・材質・仕上 スラット: 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上		扉見込・材質・仕上 スラット: 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上		扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP	
	ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上	
	握り玉・錠・把手 押ボタンスイッチ, リミットスイッチ, 安全スイッチ		握り玉・錠・把手 開閉用チェーン		握り玉・錠・把手 開閉用チェーン		握り玉・錠・把手 ケースハンドル錠		握り玉・錠・把手 機玉, 錠	
取 り 合 い	付属金物・その他 ガイドレール(埋込型), 座板, マグサ 電動開閉機, 露土型 シヤッター-Box, 付属金物一式		付属金物・その他 ガイドレール(埋込型), 座板, マグサ 電動開閉機, 天井納り シヤッター-Box, 付属金物一式		付属金物・その他 ガイドレール(埋込型), 座板, マグサ 電動開閉機, 天井納り シヤッター-Box, 付属金物一式		付属金物・その他 フロアヒンジ, 電線リール		付属金物・その他 フロアヒンジ, 電線リール	
	仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上 炭化珪塗装		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP	
	雨切縁 水切板		雨切縁 水切板		雨切縁 水切板		雨切縁 水切板		雨切縁 水切板	
	シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め	
	断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強	
建具 数量 表										
	性能 甲種防火戸(常時閉鎖式), セミオート仕様		性能 甲種防火戸(常時閉鎖式), セミオート仕様		性能 甲種防火戸(煙感知器連動式, 常時閉鎖式)		性能 甲種防火戸(常時閉鎖式), セミオート仕様		性能 甲種防火戸(常時閉鎖式), セミオート仕様	
	扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		扉見込・材質・仕上 40, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP	
	ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上		ガラス・種類・厚さ ガラス・材質・仕上	
	握り玉・錠・把手 機玉, 錠錠(外部シリコン)		握り玉・錠・把手 機玉, 錠錠		握り玉・錠・把手 ケースハンドル錠		握り玉・錠・把手 機玉, 錠錠(外部シリコン, 内部シリコン)		握り玉・錠・把手 機玉, 錠錠(外部シリコン)	
取 り 合 い	付属金物・その他 両面 3 方鎖縁 アンクル ドアチャック(ストッパなし), 5 時様丁番(3 枚用), フランス差し 両面調整器		付属金物・その他 両面 3 方鎖縁 アンクル ドアチャック(ストッパなし), 5 時様丁番(3 枚用), フランス差し 両面調整器		付属金物・その他 両面 3 方鎖縁 アンクル フロアヒンジ, 電線リール		付属金物・その他 両面 3 方鎖縁 アンクル(付着準備室), 両面 3 方鎖縁 アンクル(階段) ドアチャック(ストッパなし), 5 時様丁番(3 枚用), フランス差し 両面調整器		付属金物・その他 両面 3 方鎖縁 アンクル(階段 2 用), 両面 3 方鎖縁 アンクル(階段) ドアチャック(ストッパなし), 5 時様丁番(3 枚用) 両面調整器	
	仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上 炭化珪塗装		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板, 上		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP		仕様 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板(フラスコ) 上 OP 100, スチール製 鋼製 16 表面処理亜鉛めっき鋼板 上 OP	
	雨切縁 水切板		雨切縁 水切板		雨切縁 水切板		雨切縁 水切板		雨切縁 水切板	
	シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め		シーリング モルタル詰め	
	断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強		断熱材 開口部補強	

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化(空調設備整備)改修工事

青森県 A1 の 2 号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

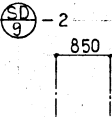
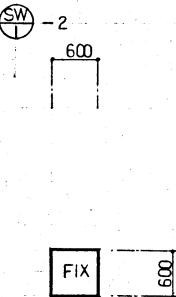
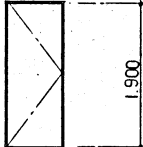
縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 単位 MM
所 長 部長 課長 担当 製 図 製 図
山田

令和 8 年 7 月 作製

A - 17

図面名称 建具表 - 3 (現況図)

管理建築士 1 級建築士登録 113985 号 川島芳正

建具称号 数量 要図				
				
性 能	甲種防火戸(常時閉鎖式)・セミエアタイト仕様			甲種防火戸(才0006号)
扉見込・材質・仕上	40.スチール製φ1.6表面処理亜鉛めっき鋼板(アラミック)上 OP			
枠見込・材質・仕上	100.スチール製φ1.6表面処理亜鉛めっき鋼板上 OP			100.φ1.6表面処理亜鉛めっき鋼板上 OP
ガラス・種類・厚さ				φ5 超高性能防曇化硝子(透明)
ガラリ・材質・仕上				
握り玉・錠・把手	握玉・本錠錠(外部シリコン・内部ゴム)			
附属金物・その他	片面4方鎖縁アングル(メンテナンス用)			片面4方鎖縁アングル
	片面3方鎖縁アングル(更衣室側)			
取 り 合 い	査 摺	φ1.5 スチール W=100 以下		
	額 縁 (枠)	片面4方鎖縁(メンテナンス用)90×30 OP. 片面3方鎖縁(更衣室側)85×30 OP		片面3方鎖縁 放熱材付:85×30 OP. マイナ90×30 OP
	扉 板	90×30 OP (メンテナンス用のみ)		放熱材付:85×30 OP. マイナ90×30 OP
	雨 切 縁			
	水 切 板			
	シーリング			
	モルタル詰め	4方モルタル詰め		
	断 熱 材			
	開口部補強			
	備 考			
建具称号 数量 要図				
性 能				
扉見込・材質・仕上				
枠見込・材質・仕上				
ガラス・種類・厚さ				
ガラリ・材質・仕上				
握り玉・錠・把手				
附属金物・その他				
取 り 合 い	査 摺			
	額 縁 (枠)			
	扉 板			
	雨 切 縁			
	水 切 板			
	シーリング			
	モルタル詰め			
	断 熱 材			
	開口部補強			
	備 考			

建具 番号 数量 図	WD 1 3,600		WD 2 2,200		WD 3 1,800		WD 4 -2 1,200 550		WD 5 -1 880		WD 6 -1 850		WD 7 -3 850	
	性 能													
	扉見込・材質・仕上		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP		45.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP	
	特見込・材質・仕上		木製 OP		木製 OP		木製 OP		木製 OP		木製 OP		木製 OP	
ガラス・種類・厚さ												4mm OP (ガラス厚 24mm)		
ガラス・材質・仕上														
握り玉・錠・把手		ステンレス製引手,引違い戸錠(外締錠)		握玉,本締錠(外部シンナーのみ)		ステンレス製引手,引違い戸錠(外締錠)		握玉,本締錠(外部シンナーのみ)		ステンレス製引手,引違い戸錠(外締錠)		握玉,本締錠(外部シンナーのみ)		
付属金物・その他		戸車		ステンレス金(3枚吊),フランス着し,床付アリ		戸車		ドアチェック(ストッパ付),ステンレス金(3枚吊),フランス着し,床付アリ		戸車		ドアチェック(ストッパ付),ステンレス金(3枚吊),床付アリ		
取 り 合 い	音 摺		φ12ステンレス(引違い用)W=100 mm		φ15ステンレス W=40 mm (モルタル詰め,アンカー付)		φ12ステンレス(引違い用)W=100 mm		φ15ステンレス W=40 (アンカー付)		φ12ステンレス(引違い用)W=50		φ15ステンレス W=40 (アンカー付)	
	額 縁 (枠)		3方枠:125×45 OP		3方枠:105×45 OP		3方枠:125×45 OP		3方枠:105×45 OP,両面3方縁縁 30×30 OP		2方枠(野口):240×45 OP,1方枠:125×45 OP		3方枠:105×45 OP,両面3方縁縁 30×30 OP	
	扉 板				両面3方縁縁 125×30 OP,1方縁縁 80×30 OP						1方縁 140×30 OP			
	雨 切 縁													
	水 切 板													
	シーリング													
	モルタル詰め										モルタル詰め(各1箇所)			
	断熱材													
開口部補強														
備 考														

建具番号 数量 図													
性能	40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口OP						40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口:ステンレス製エッジ		40.木製ポリエステル化粧合板(アッシュ),木口:ステンレス製エッジ		
扉見込・材質・仕上	木製 OP		木製 OP										
ガラス・種類・厚さ	9.5mm板硝子		9.5mm板硝子										
ガラス・材質・仕上	木製 OP		木製 OP										
握り玉・錠・把手	握玉,錠		握玉,本締錠(外部シンナーのみ)						ステンレス製引手(内開き用)		ステンレス製引手(内開き用)		
付属金物・その他	ドアチェック(ストッパ付),ステンレス金(3枚吊)		ステンレス金(3枚吊)						ステンレス製壁金・壁金・脚金物・戸当り・横手掛け		ステンレス製壁金・壁金・脚金物・戸当り・横手掛け		
取 り 合 い	音 摺		音 摺										
	額 縁 (枠)		額 縁 (枠)										
	扉 板		扉 板										
	雨 切 縁		雨 切 縁										
	水 切 板		水 切 板										
	シーリング		シーリング										
	モルタル詰め		モルタル詰め										
断熱材		断熱材											
開口部補強		開口部補強											
備 考		備 考											

NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化(空調設備整備)改修工事

縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 単位 MM

令和8年 7 月 作製

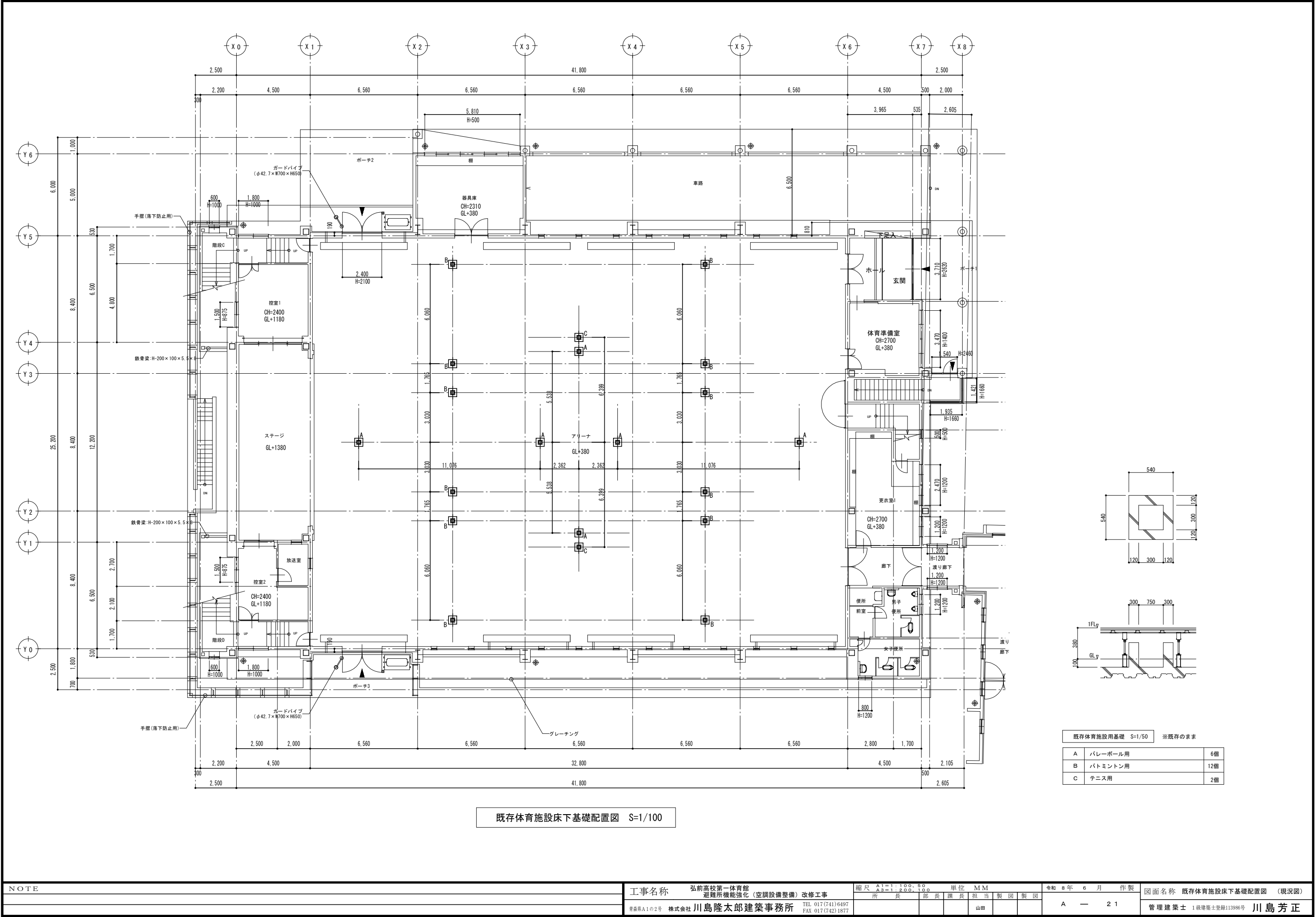
図面名称 建具表-5 (現況図)

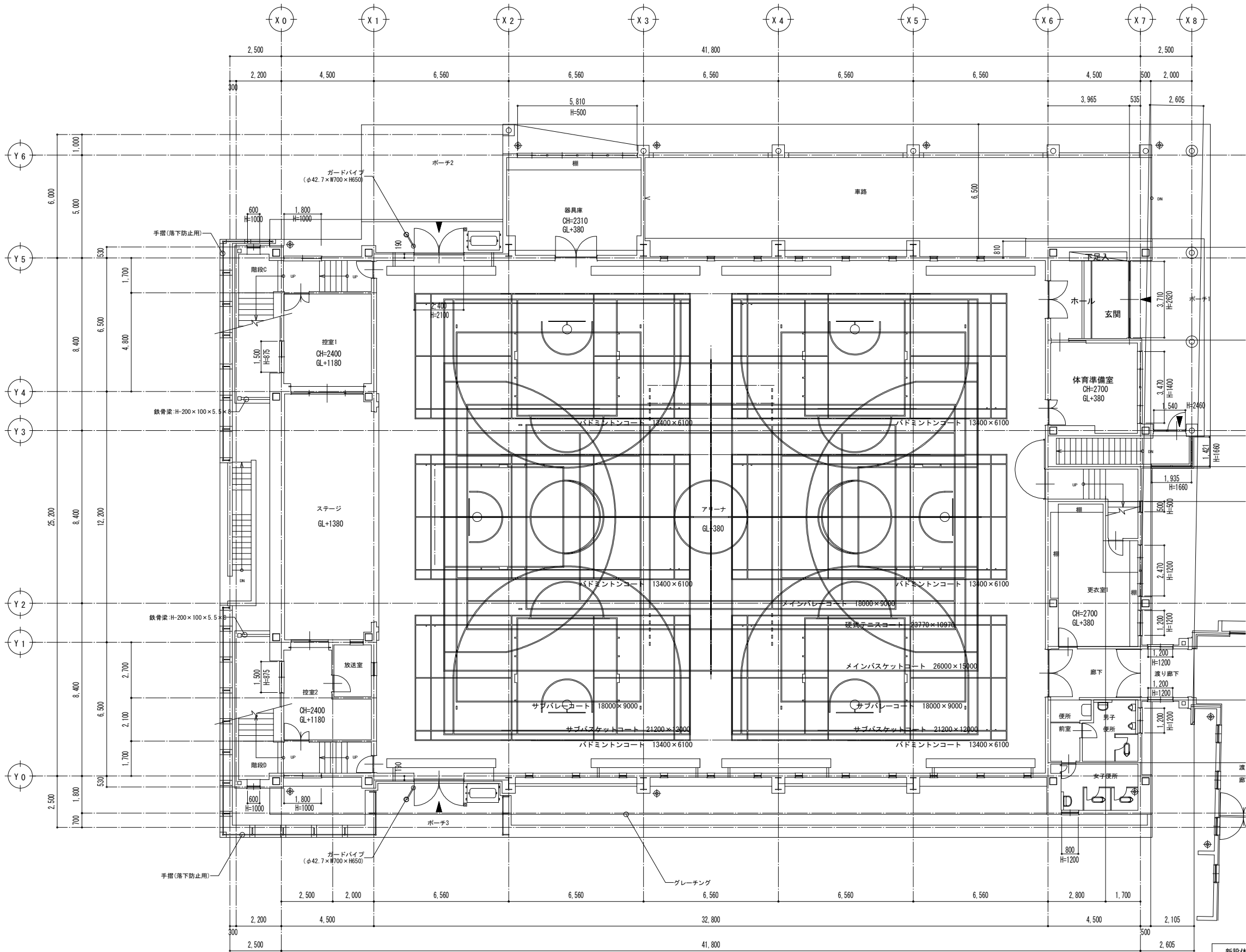
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

山田

A - 19

管理建築士 1級建築士登録113985号 川島芳正

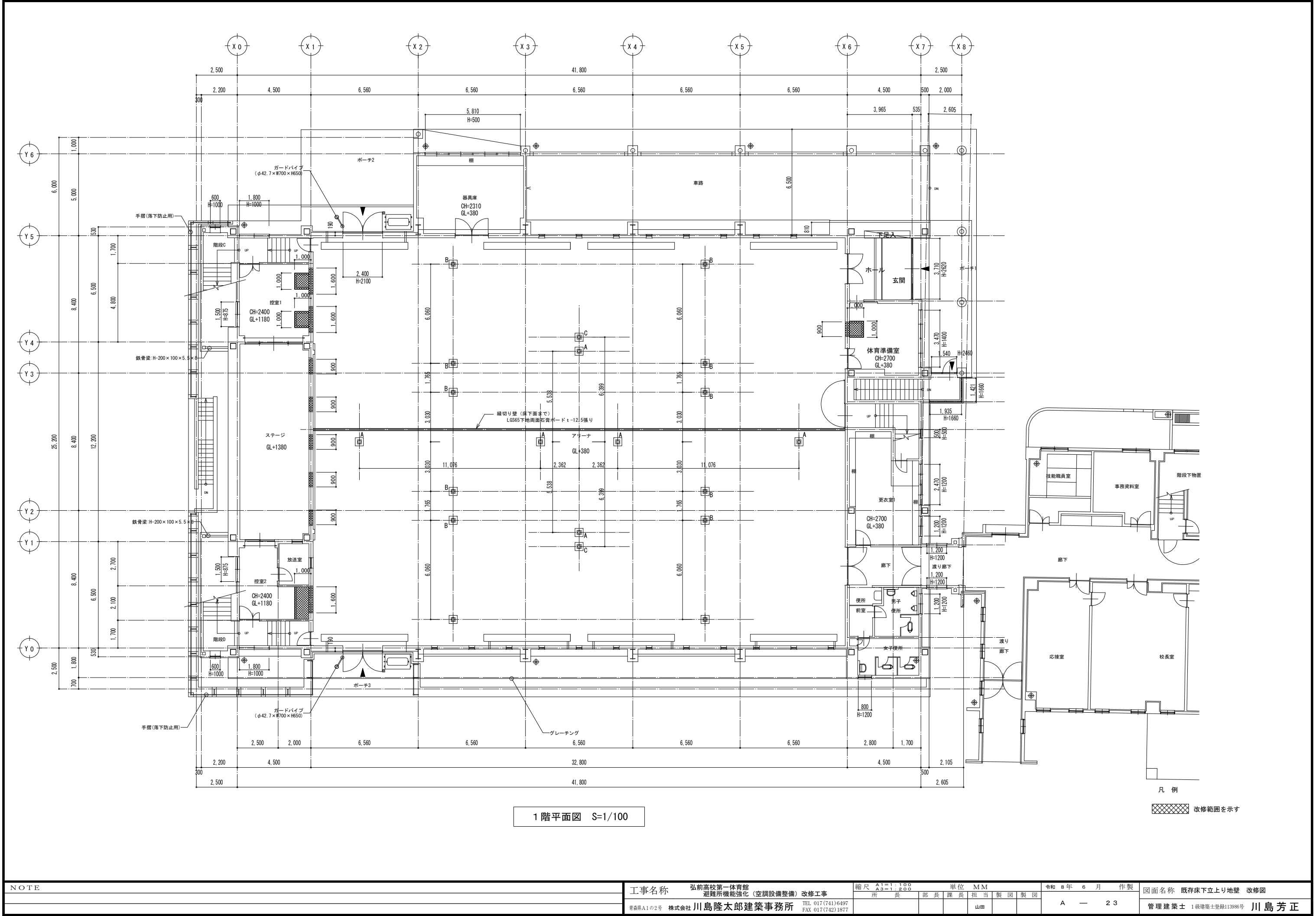




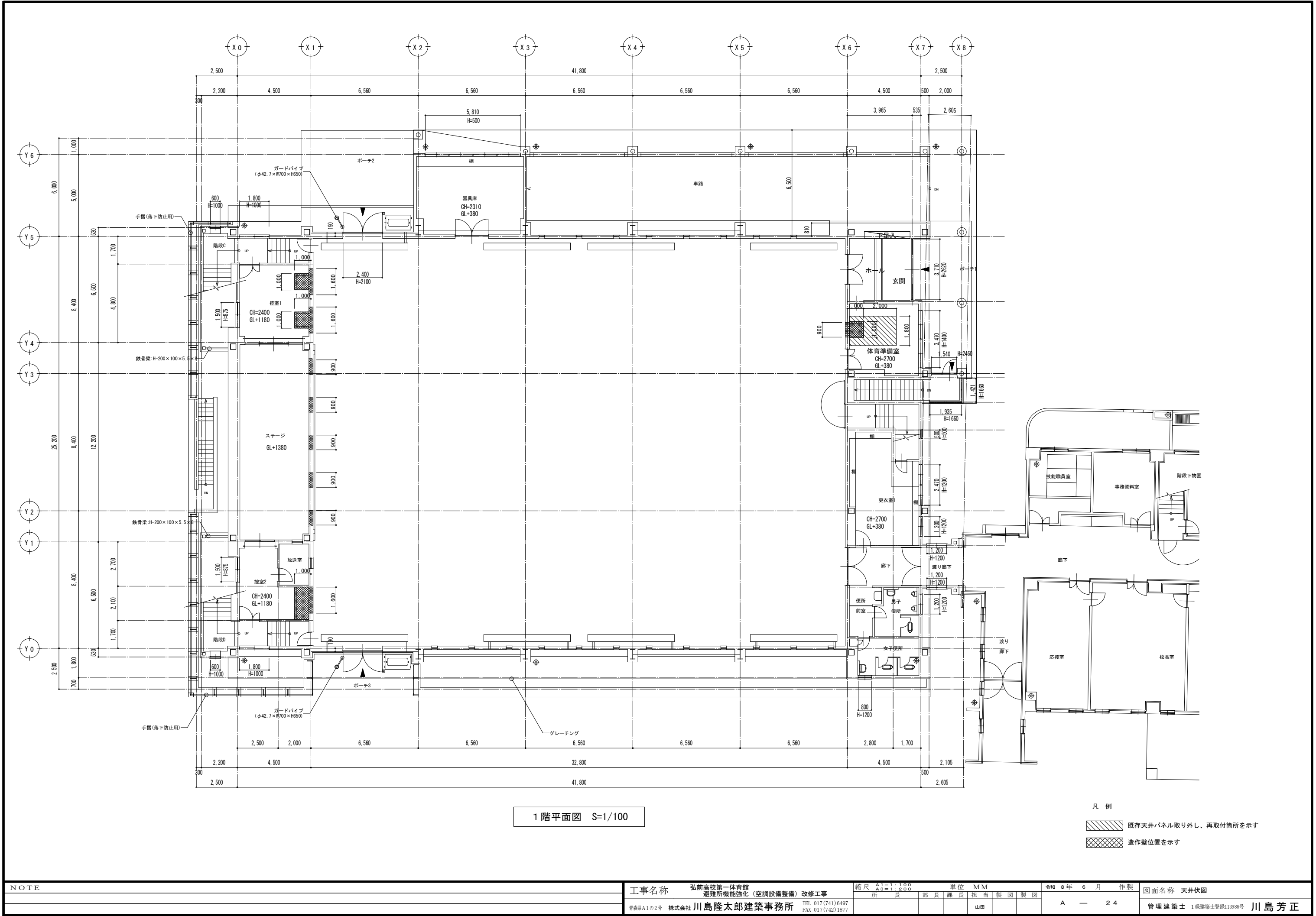
コートライン平面図 S=1/100

新設体育施設工事一覧表							
1	メインバスケットコートライン引	1面	26000×15000	全ライン	実線	ライン巾50	青色
2	サブバスケットコートライン引	2面	21200×12000	全ライン	実線	ライン巾50	白色
3	6人制メインバレーコートライン引	1面	18000×9000	全ライン	実線	ライン巾50	赤色
4	6人制サブバレーコートライン引	2面	18000×9000	全ライン	実線	ライン巾50	黄色
5	バドミントンコートライン引	6面	13400×6100	全ライン	実線	ライン巾40	緑色
6	硬式テニスコートライン引	1面	23770×10970	全ライン	実線	ライン巾50	白色

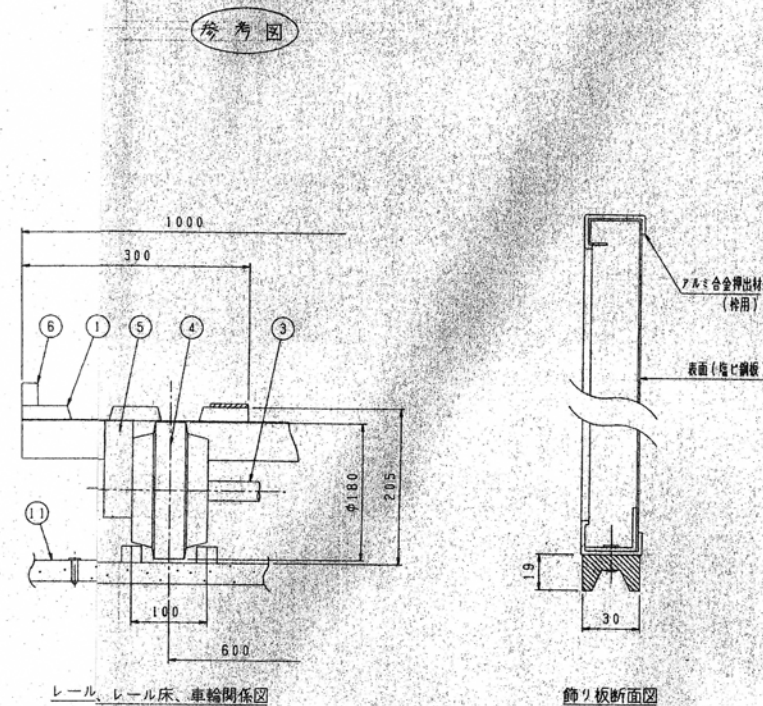
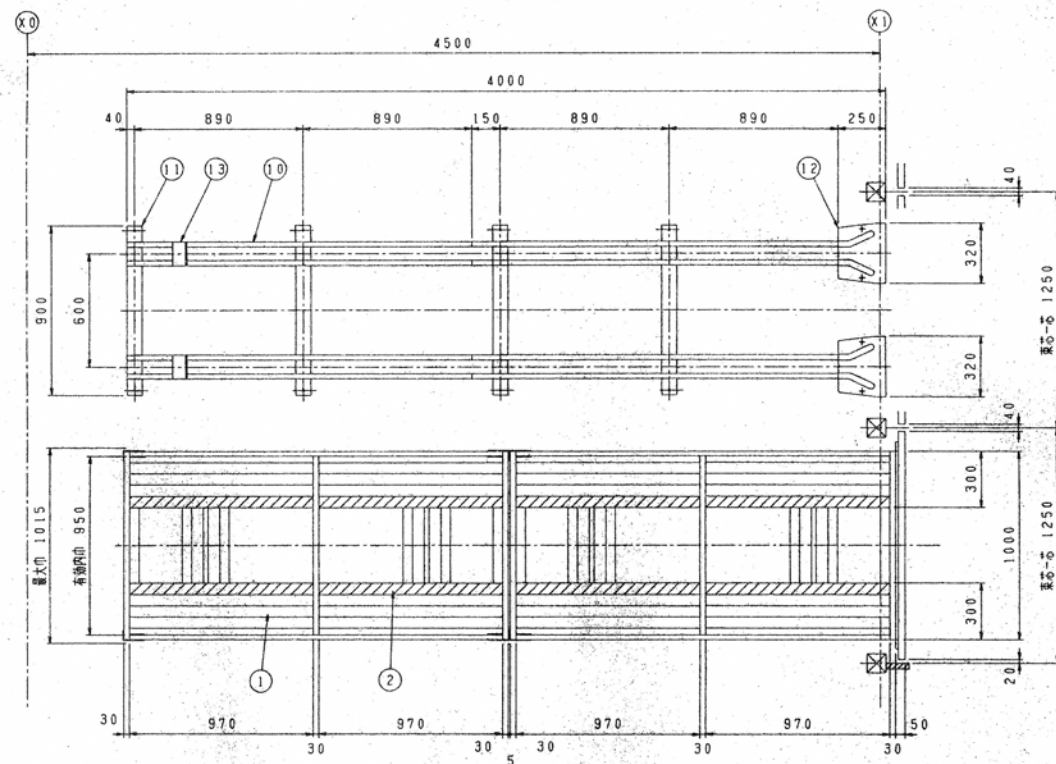
NOTE



NOTE	工事名称 弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事	縮尺 A3=1:100 A3=1:200 所長	単位 MM	令和 8 年 6 月 作製	図面名称 既存床下立上り地壁 改修図
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877	部長 課長 山田	A — 23	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

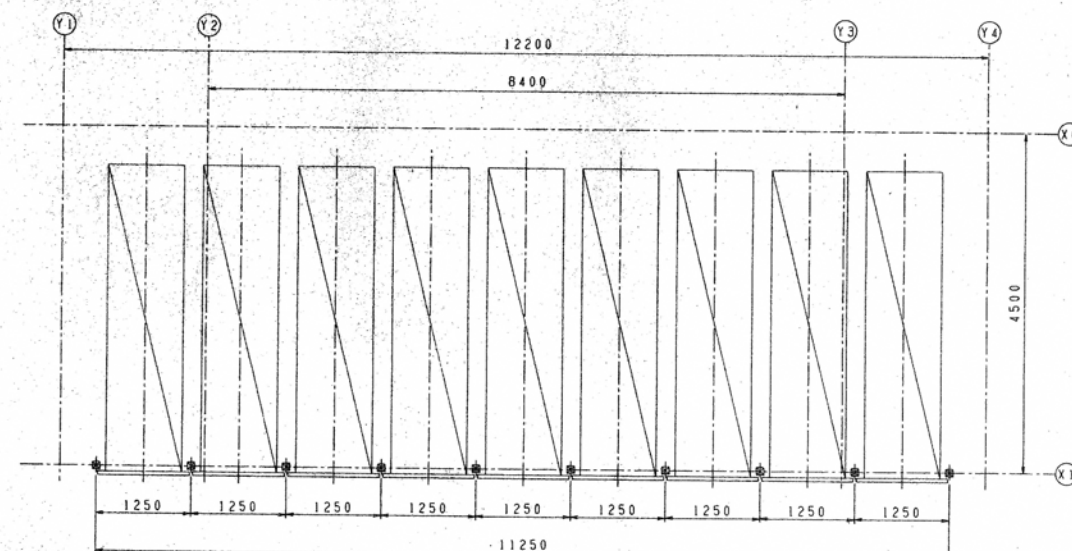
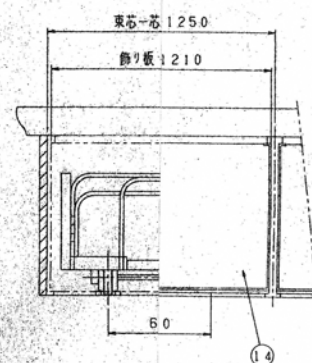
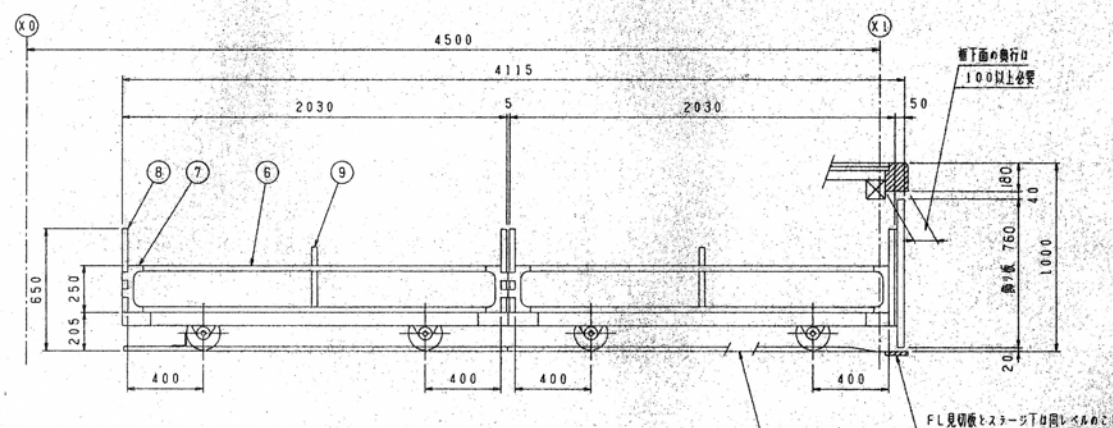


NOTE	工事名称 弘前高校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事		縮尺 A1=1:100 A3=1:200		単位 MM		令和 8 年 6 月 作製	図面名称 天井伏図
			所 長		部 長 課 長 担 当 製 図 製 図			
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877				山田			
						A 一 2 4		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



主 構 成 部 品			
N0	品 名	材 料 ・ 加 工	表面処理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t0.9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り止 め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 軸	機械構造用炭素鋼鋼管 φ25.4 × t2.8	焼付塗装
4	車 輪	本体を冷延鋼板 t2.0 にて絞り加工し、その外周に合成ゴムをモールドした、一体型車輪、軸受部はベアリング嵌合	
5	軸 受	熱延鋼板 t4.5 を曲げ加工	焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t0.8	亜鉛メッキ
7	ジョイントコネクター	熱延鋼板 t2.0 を曲げ加工	焼付塗装
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t0.8	亜鉛メッキ
9	椅子倒れ止 め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t0.8	亜鉛メッキ
10	レール	亜鉛メッキ鋼板 t1.6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t1.6 をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t1.6 を絞り加工	焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t6.0 を曲げ加工	焼付塗装
14	飾り板	塩ビ鋼板 t1.2 を曲げ加工し、合成ゴム製安全パットにてトリム保護	3L-51

- 備 考
- 製作数 9列 9輛 (フジトラックF T-1-4000L)
 - レールの製作及び取付工事はこの設備に含みます
 - 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含みます
 - レール下地(モルタル)はこの設備より除外とします



台車収納時平面配置図 (S=1/50)

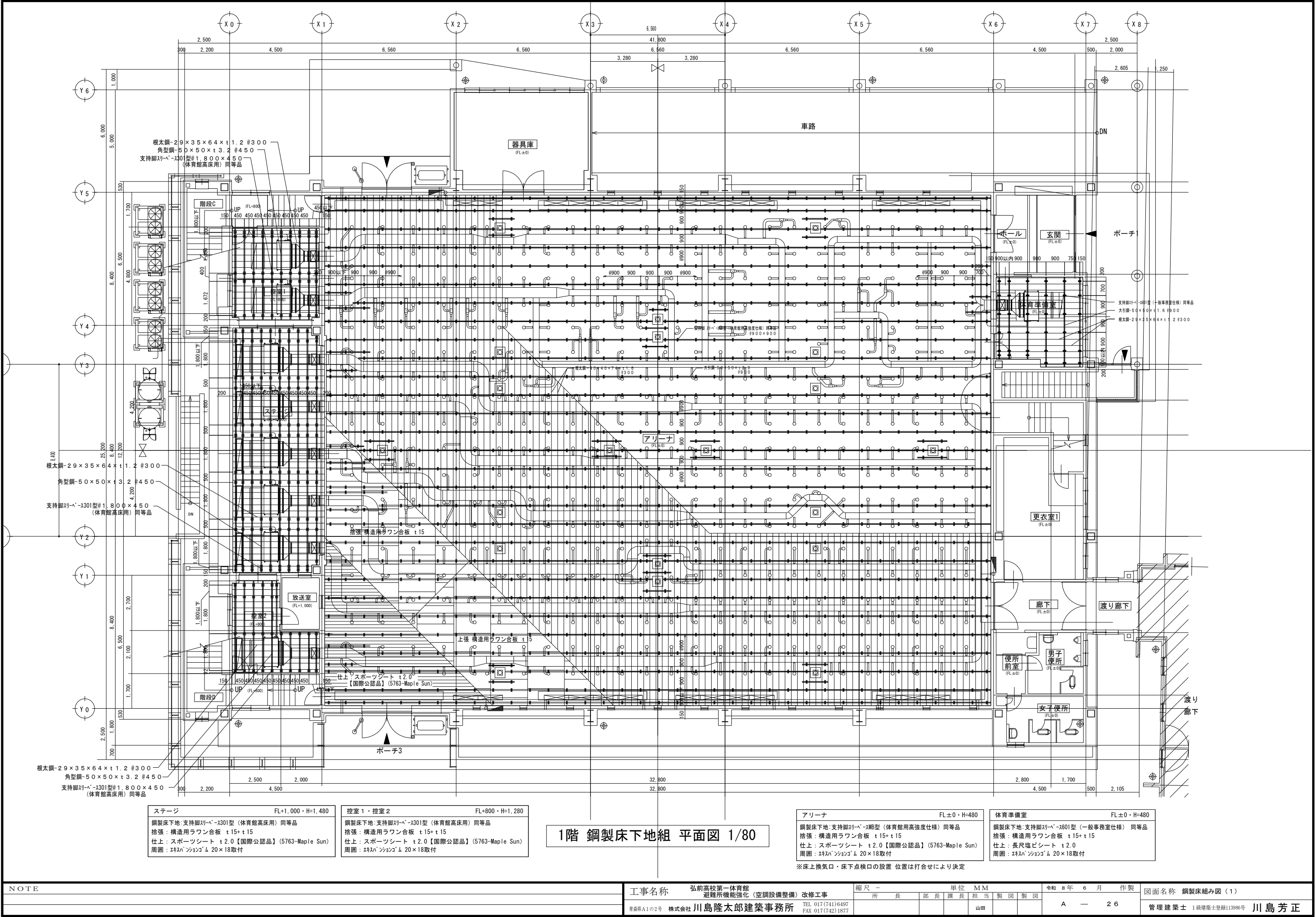
NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事
青森県A102号 株式会社 川島隆太郎建築事務所
TEL 017 (741) 6497
FAX 017 (742) 1877

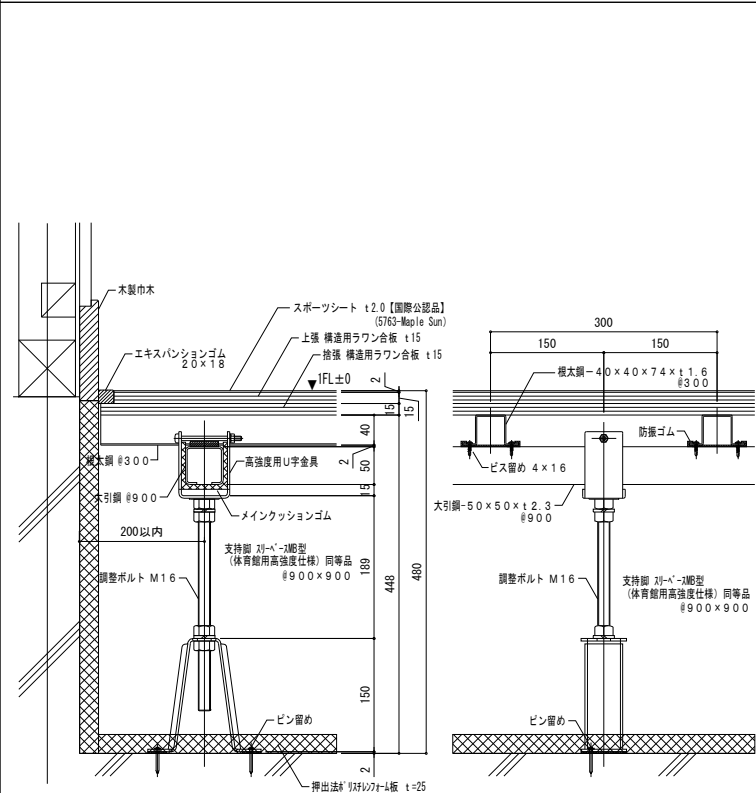
縮尺 A3=1:50
A3=1:100
所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図
単位 MM

令和 8 年 6 月 作製
A — 25

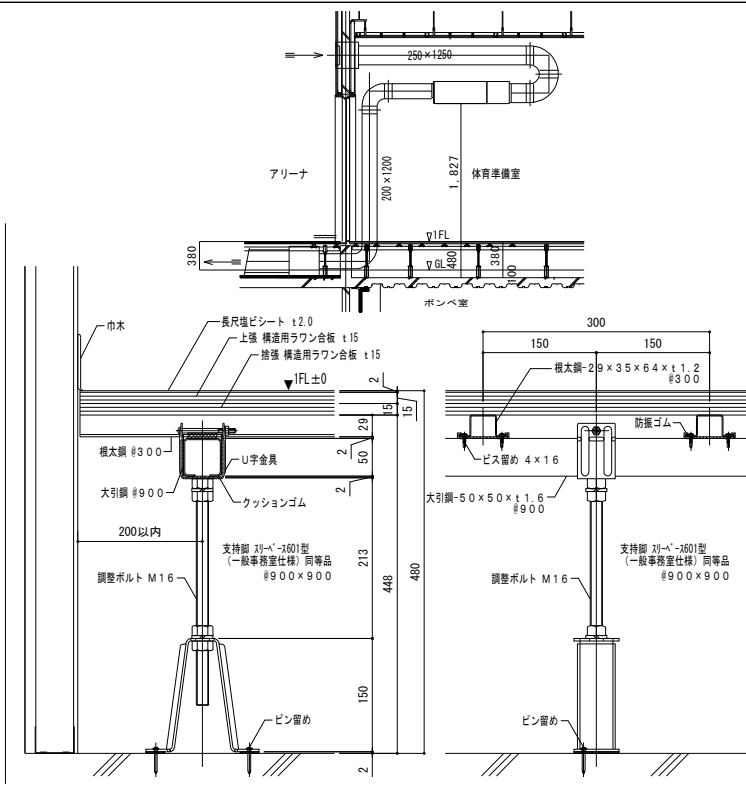
図面名称 既存収納台車 詳細図 (撤去)
管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



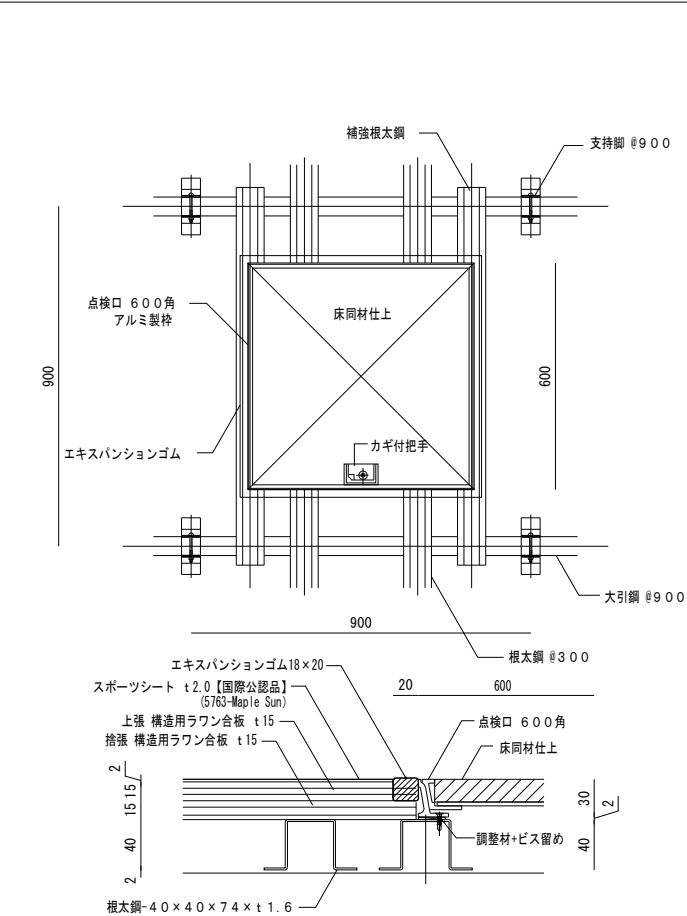
アリーナ 鋼製床下地断面詳細図 S=1/5 (A1)



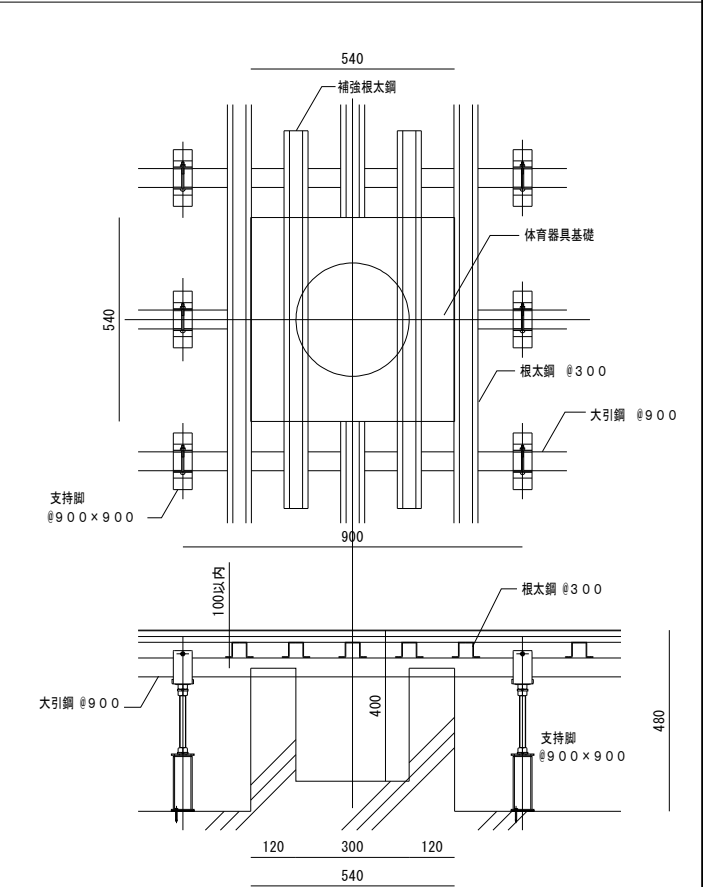
体育準備室 鋼製床下地断面詳細図 S=1/5 (A1)



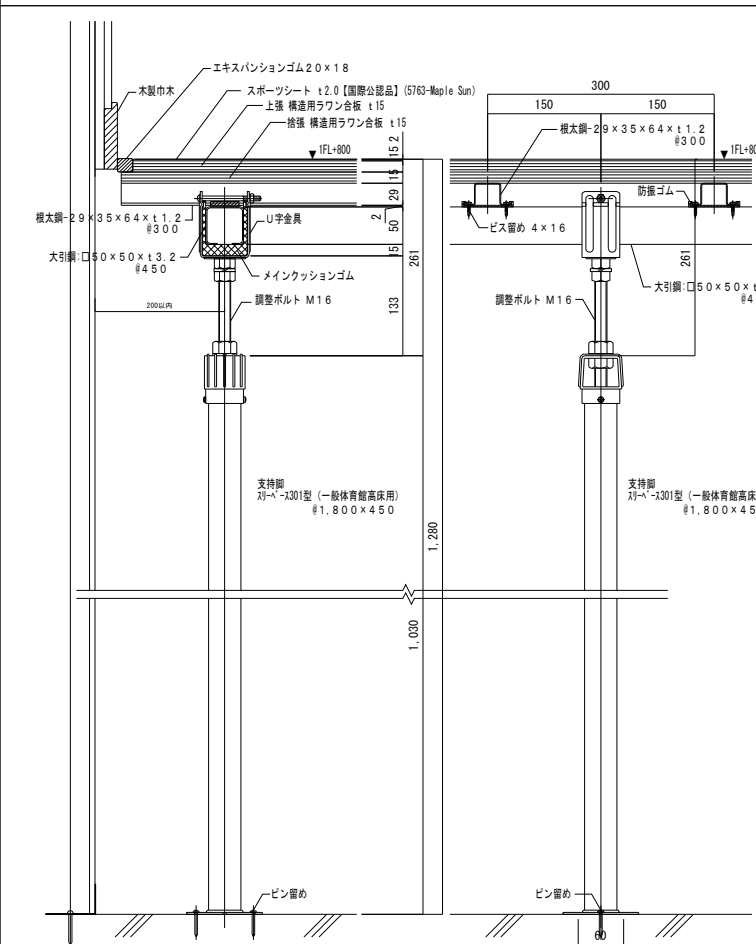
床点検口取付詳細図 S=1/10, 1/3 (A1)



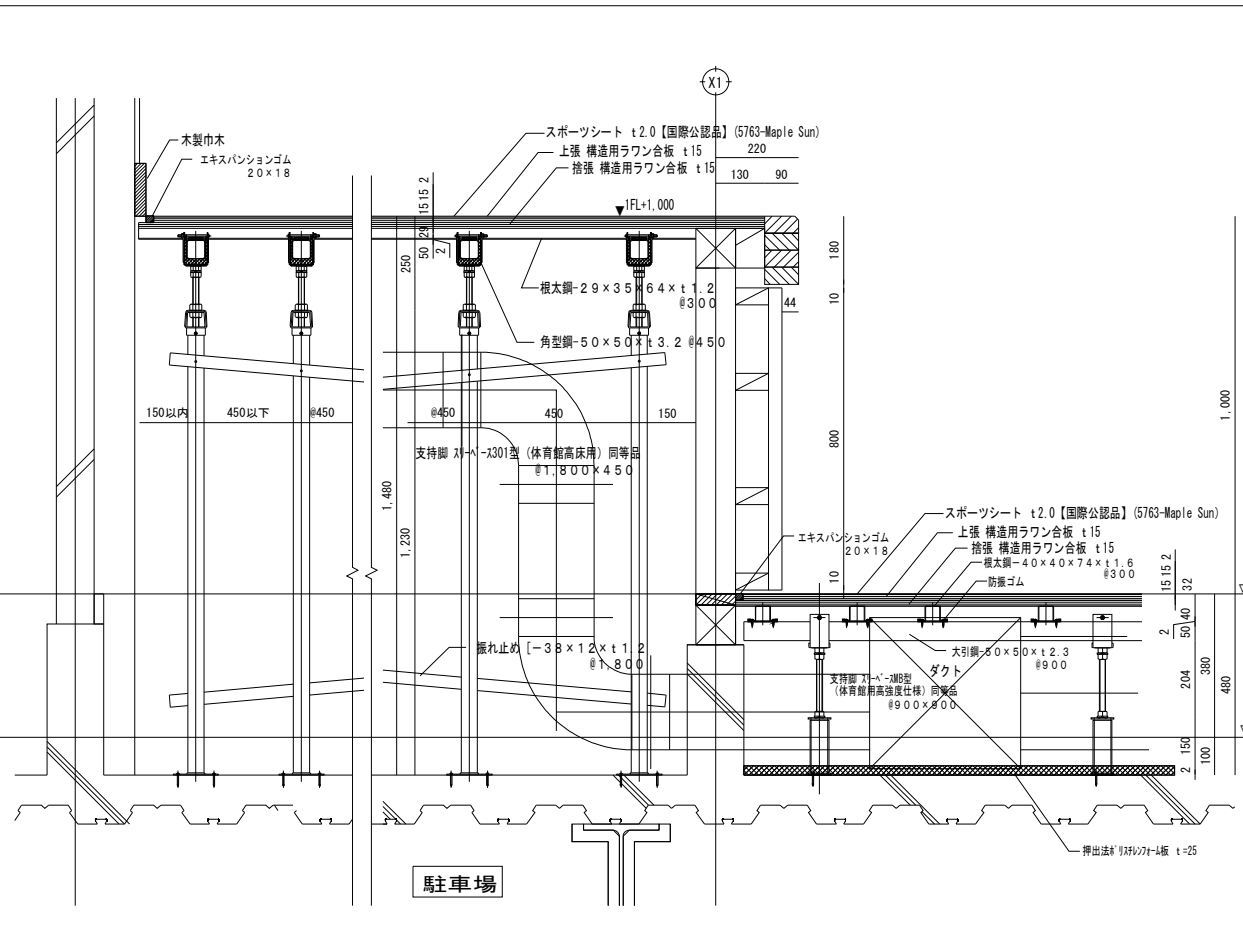
体育器具基礎取合図 S=1/10 (A1)



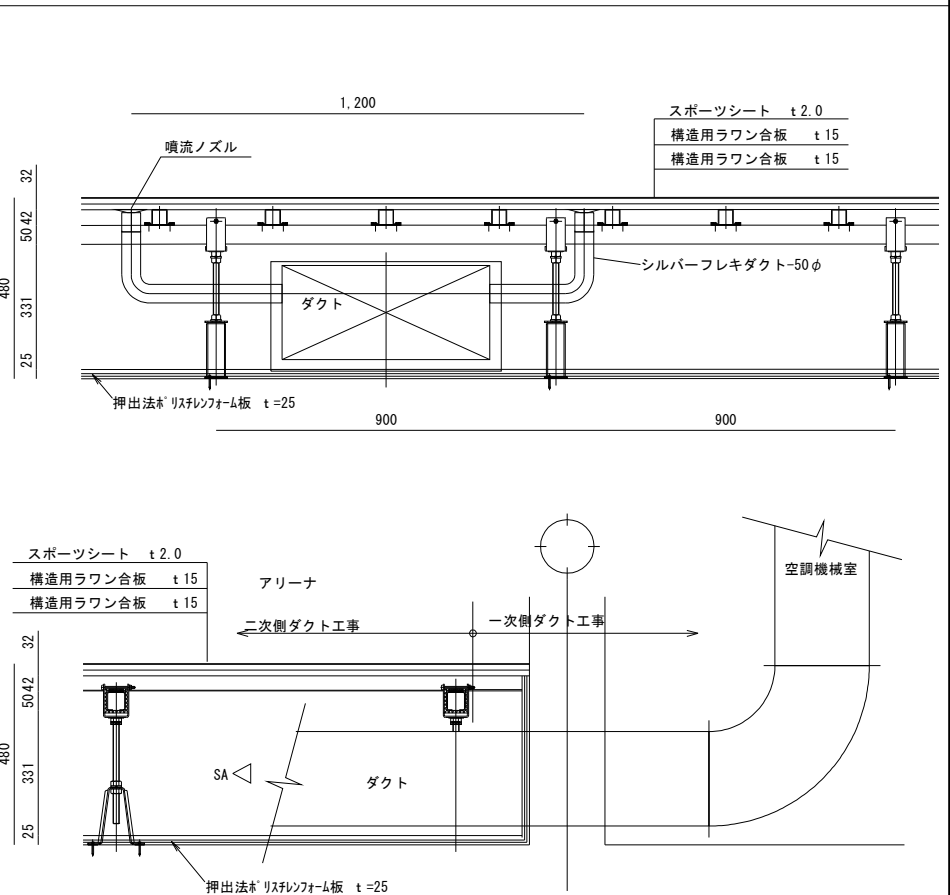
控室 1・控室 2 鋼製床下地断面詳細図 S=1/5 (A1)



ステージ廻り断面図 S=1/10 (A1)



アリーナ～空調機械室間ダクト詳細図 S=1/10 (A1)



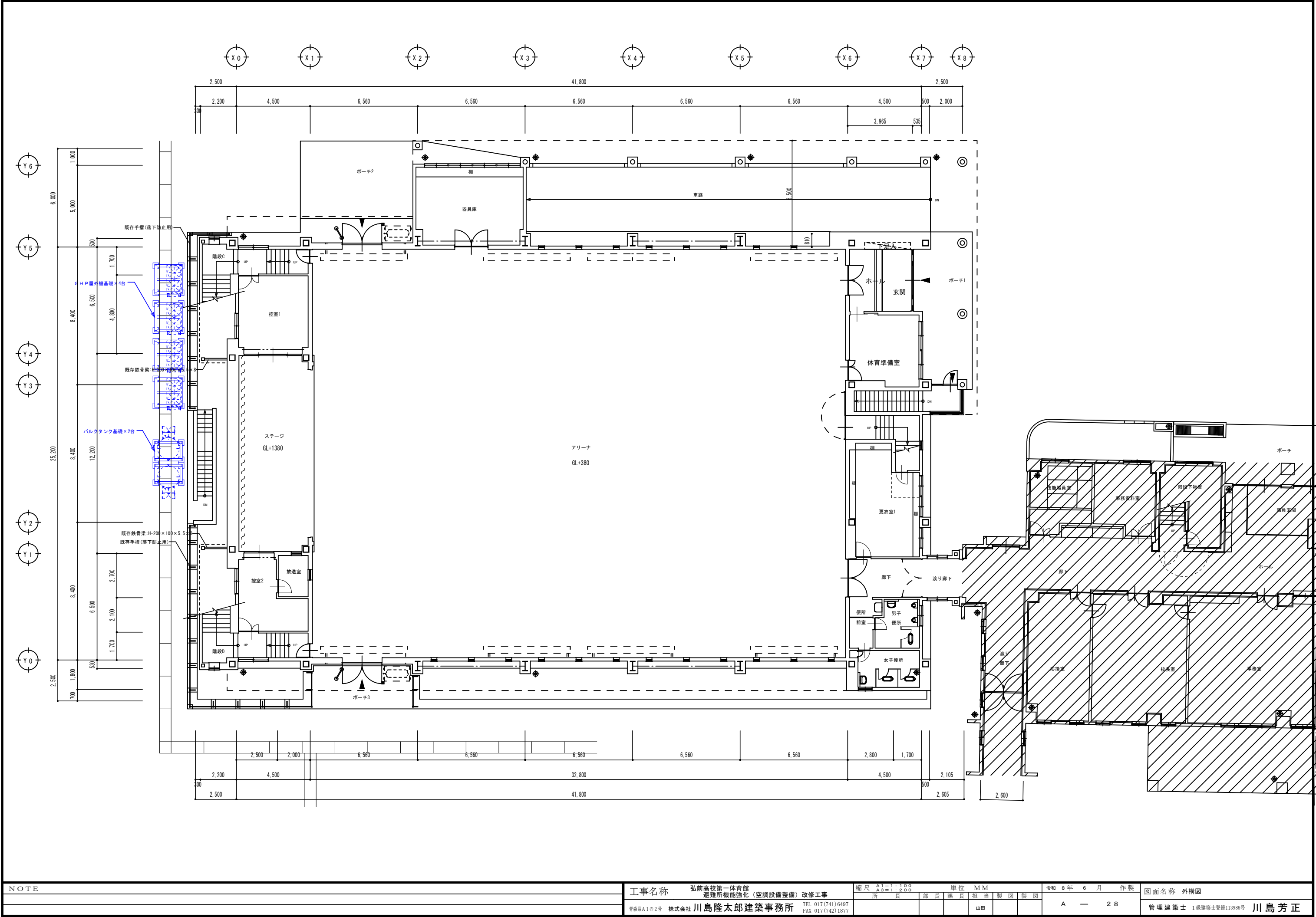
NOTE

工事名称 弘前高校第一体育館
避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事
青森県 A1 の 2 号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

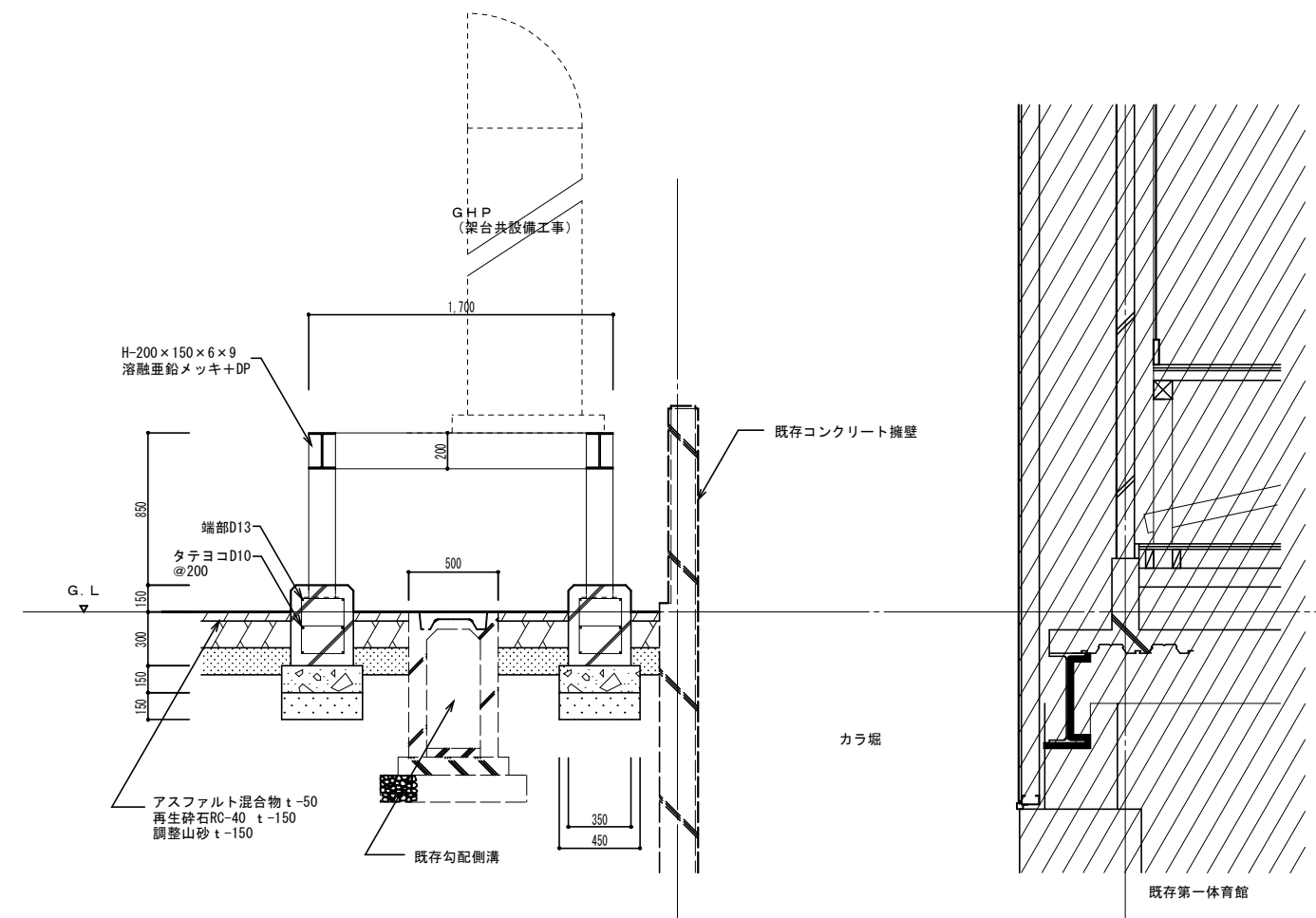
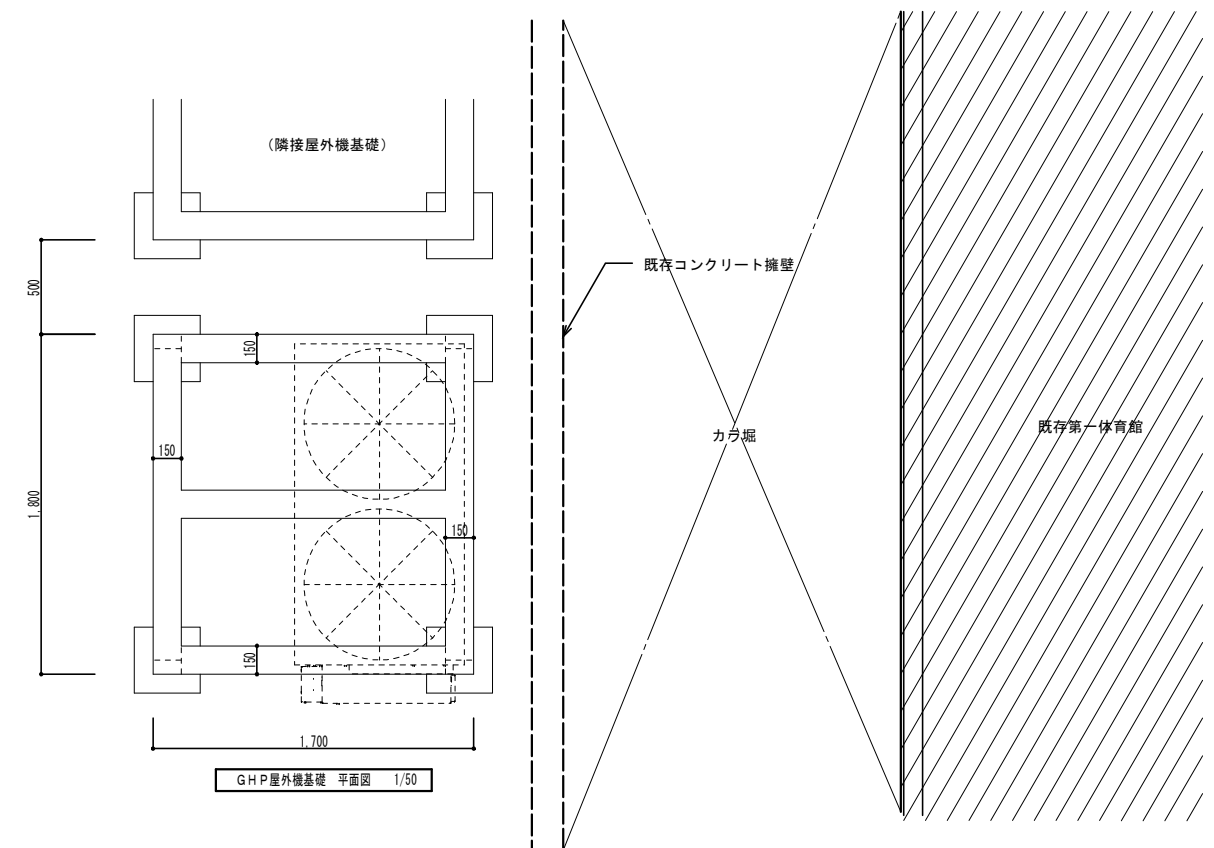
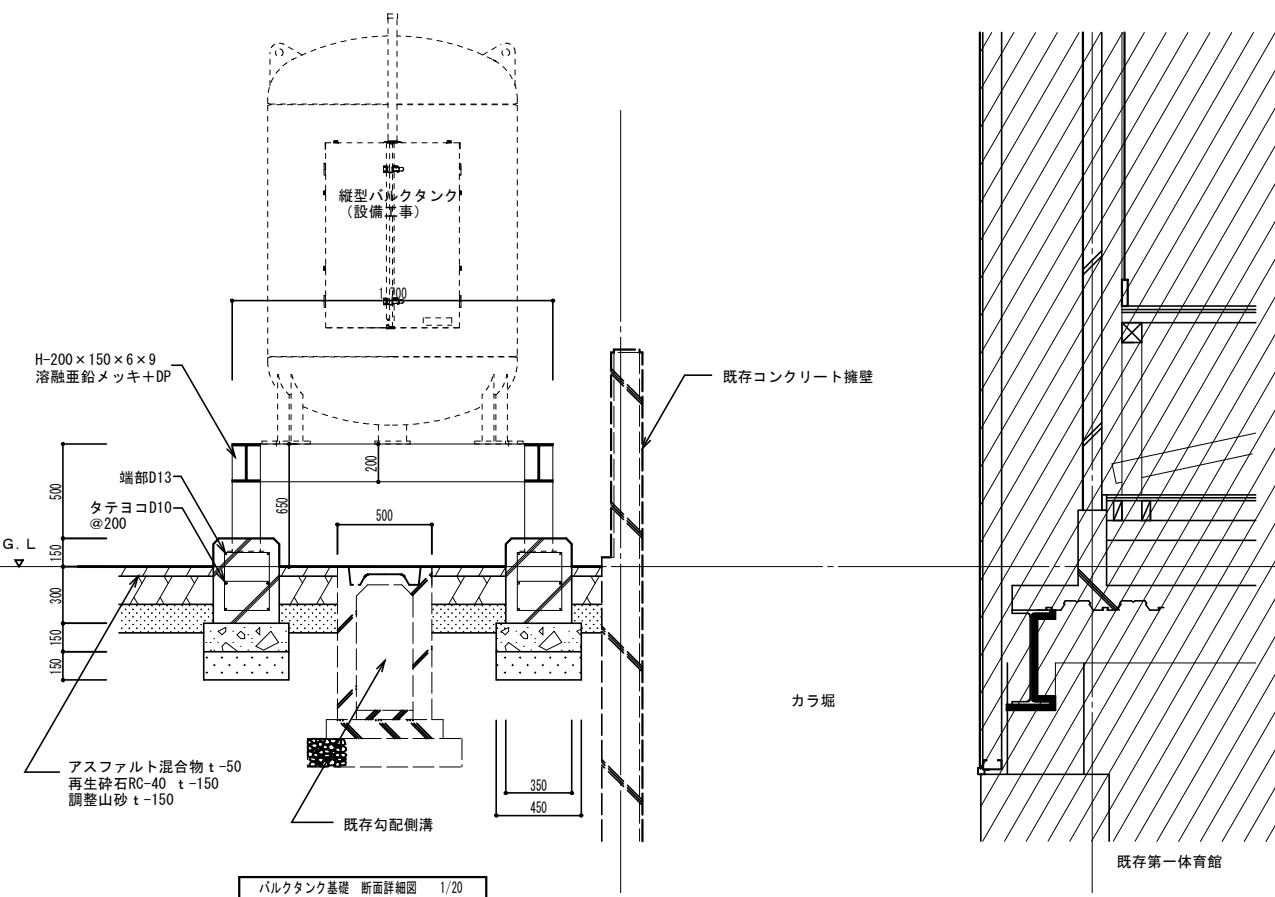
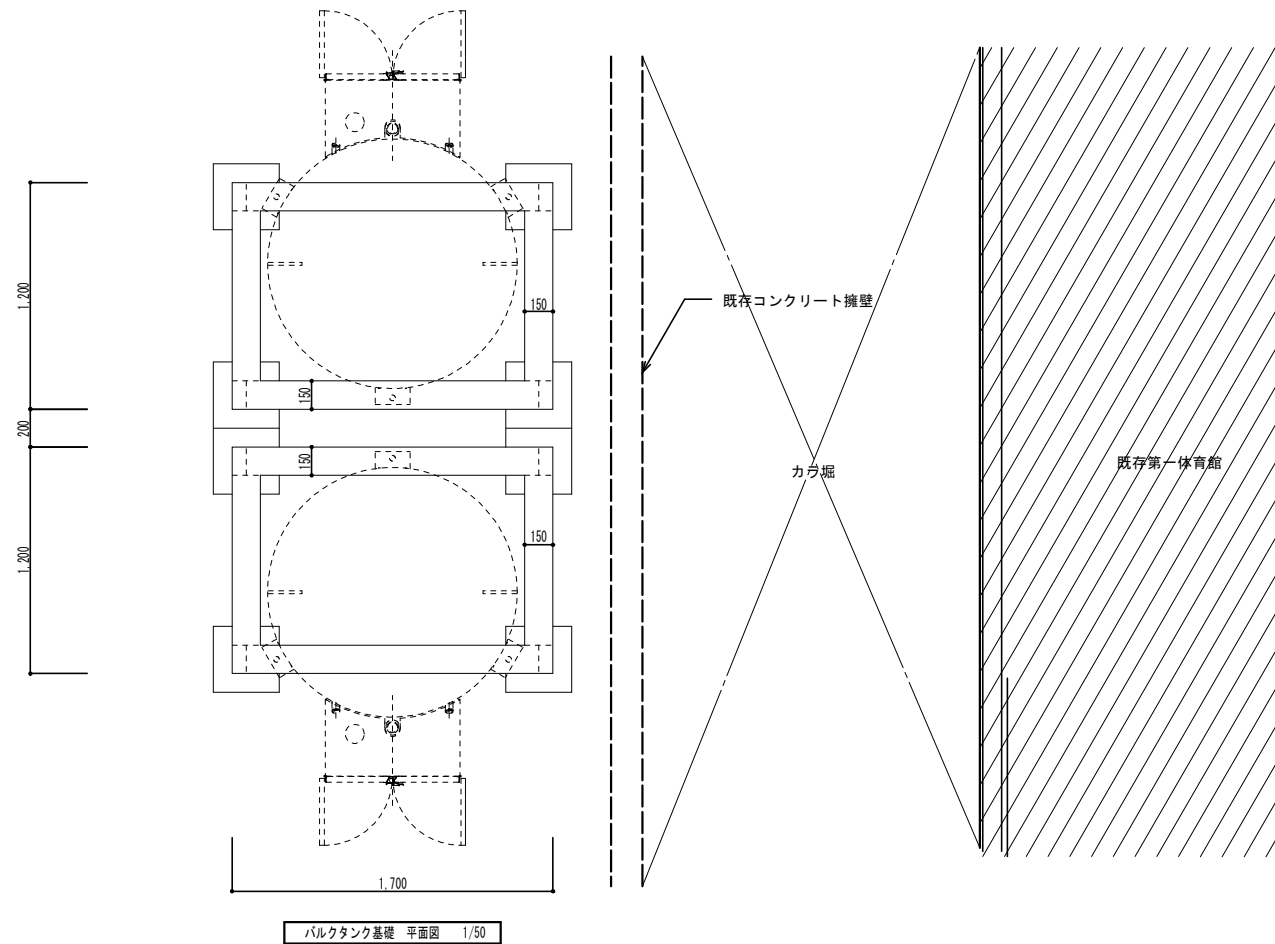
縮尺 1/100
単位 MM
所 長 部長 課長 担当 製図 製図
山田

令和 8 年 6 月 作製
A 27

図面名称 鋼製床組み図 (2)
管理建築士 1 級建築士登録 113986 号 川島芳正



NOTE	工事名称 弘前高校第一体育館 避難所機能強化 (空調設備整備) 改修工事		縮尺 A3=1:100 A3=1:200		単位 MM		令和 8 年 6 月 作製		図面名称 外構図
			所 長		部 長	課 長	担 当	製 図	
			青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		山田				
		TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877					A	— 28	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



NOTE

工事名称	弘前高等学校第一体育館 避難所機能強化（空調設備整備）改修工事	縮尺	A1=1:20 A3=1:40	単位	M M	令和 8 年 6 月 作製	図面名称 外構詳細図
		所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	
青森県A1の2号 株式会社	川島隆太郎建築事務所	TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877			山田	742 29	管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

電気設備改修工事 特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 弘前市新寺町 地内

2. 建物概要

建物名称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	施設の種類	備 考
弘前高等学校	-	-	-	-	特定の施設	

3. 工事種目（●印の付いたものを適用する。）

工事種目	高等学校	工 事 種 別	備 考
●電灯設備	改設一式		
●動力設備	改設一式		
○電気自動車充電設備			
●電熱設備	改設一式		
○電保護設備			
●受変電設備	改設一式		
○電力貯蔵設備			
○発電設備			
○構内情報通信網設備			
○構内交換設備			
○情報表示設備			
○映像・音響設備			
○拡声設備			
○誘導支援設備			
○テレビ共同受信設備			
○監視カメラ設備			
○駐車場管制設備			
○防犯・入退室管理設備			
○火災報知設備			
○中央監視制御設備			
○			
○			
●構内配電線路		改設一式	
○構内通信線路			
○			
○			

4. 指定部分

●なし
○あり 範囲： 工期：令和 年 月 日

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。
●公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）
●公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
●公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

特記事項は、●印の付いたものを適用する。
●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
●印と※印の付いた場合は、共に適用する。

●環境への配慮

一般

●5. 他工事との取合い
○6. 耐震施工

機 材 名

LED照明器具（一般屋内に限る。）

照明制御装置

可変速運転用インバータ装置

分電盤

制御盤

キュービクル式配電盤

高圧スイッチギヤ（CW）

高圧スイッチギヤ（PW）

高圧交流遮断器

高圧変圧器（特定機器）

高圧進相コンデンサ

高圧限流ヒューズ

高圧負荷開閉器

交流無停電電源装置（常時インバータ給電方式（簡易型）を除く。）

太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）

監視カメラ装置

中央監視制御（監視制御装置）

注※ JIS C 62271-2001による高圧スイッチギヤ（図 ～ ）を含む。
JIS C 62271-2001による高圧スイッチギヤの製造業者等は、上記（2）①～⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、JEM1425による高圧スイッチギヤ（CW）/（PW）【※を付した機材名を記載】について上記（2）①～⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、「①品質及び性能に関する試験データを整備していること。」を除き、証明となる資料等の提出を省略することができる。

（1）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。
（1）設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。
①設計用水平地震力
機器の重量〔kN〕に、地域係数(1.0)及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類は燃料小タンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
○配電盤 ○発電装置（防災用） ○直流電源装置
○交流無停電電源装置 ○交換装置 ○自動火災報知受信機
○中央監視制御装置 ○ ○
②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
（2）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。
（3）1kNを超える機器のアンカー類については耐震支持に対する計画書を提出する。

○7. 石綿含有製品調査

イ) 撤去機器、器具等について石綿含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲（○ ）
調査方法（○型番確認の上、製造者ヒアリング）
ロ) 下記の石綿含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。
なお、調査にかかる費用は、○本工事 ○別途 とする。
○
※ 別契約の関係受注者が指定したものは無償で使用できる。
○本工事で設置する。（○ 図参照）
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行
○材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2.2.1 表2.2.1による。）
種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種
○仮設間仕切り
種別 ○A種 ○B種 ○C種
○既設部分の養生
○行方（○ビニルシート等 ○ ）
○行わない
50HZ
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
また、金属探知により電源供給の停止ができる附属装置を使用する。
イ) 放射線透過検査等による埋設物の調査
ロ) 範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。
イ) あと施工アンカー 接着系アンカー（接着剤（有機系））
金属拡張系アンカー（本体打込み式）
性能確認試験 ○行方 ※行わない
施工後確認試験 ○行方 ※行わない
機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は既存仕上げと同等の補修とする。
施工に際し既存設備、施設等に損害及ぼした場合は、原状に復旧する。
イ) 屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（SUS304）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
●下記種類の改造等は、製造者等による作業とする。
○分電盤 ○制御盤 ●受変電盤 ○
●盤類の改造前と改造後に関連する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
●盤類の工事完了後に、単線結線図の更新を行う。
各機器の個別運転後に下記の設備について総合動作試験を行い、試験成績書を監督職員に提出する。
○照明制御装置 ●受変電設備 ○電力貯蔵設備
○発電設備 ○駐車場管制設備 ○防犯・入退室管理設備
○中央監視制御設備 ○ ○
新設する電線類は、図面に「EM-○○」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。
EM-高圧架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとする。
屋外でEM-高圧架構ポリエチレンケーブル相互の接続又は端末処理を行う場合は、端部にシュリンクバック対策を施す。
屋外、及び地下ビットで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外面熔融亜鉛めっき（めっき付着量300g/m²以上）」仕上げとする。
合成樹脂製可とう管はPF管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。
○金属製（ステンレス、新金属も含む） ○樹脂製
○アルミ製 ○銅合金製
水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。
外部ネットワークと接続する制御システム
○あり（対象設備 ○受変電設備 ○構内情報通信網設備 ○中央監視制御設備 ○ ）
○なし
外部ネットワークと接続する箇所の不正アクセス防止対策
○ファイアウォール ○統合脅威管理(UTM)
盤・キャビネットの錠の鍵
○製造者の標準鍵
○鍵の指定あり
対策機器（○分電盤 ○制御盤 ○キュービクル ○端子盤 ○通信キャビネット ○ ）
図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。
○キュービクル、分電盤、制御盤等のキャビネットの仕上げ
※ 製造者の標準色仕上げとする。
○下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。
○屋外 ○屋内（○ ○ ）
○下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。（○居室 ○ ○ ）
図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。
外部に面する壁、天井で建築工事でFP板（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。

●28. 機器取付高さ
○29. 保温、結露防止

○30. 呼び線
○31. 本受電後の基本料金

各

○1. タンブラスイッチ
○2. OAFフロア用配線器具の蓋

○3. ハネシヨイント用OAケーブル

○4. 人感センサ用プレート

○5. ターミナルユニット用モコンリレー

○6. LED照明器具

○7. 一般照明の照度測定

●8. 分電盤

○9. 制御盤

長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
○計上する（想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間）
○計上しない
ネーム付きとする。
○アルミ製 ○樹脂製
特記の無いハネシヨイント用OAケーブルは次の仕様とする。
2P15A（接地極付抜止形）×4-3φ3m（7φケーブル）通電表示灯付
照明の人感センサ制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル 文字：印刷文字 寸法：W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室：○便所（計 枚）○（計 枚）
天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第1照明器具近傍とする。
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。
LED照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形（LN）」とする。
照度測定箇所は監督職員との協議による。
●分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E, 200V2P2E）とする。
○埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（PF22）を1本、5個以上の場合（PF22）を2本、天井まで立上げる。
配管バンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

表1「接地極一覧表」
接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外用接地極の埋設機は不要とする。

接地極の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○雷保護用接地	ELA	Ω以下	EP×2
○雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-1組
○共同接地	EAEDEH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○共同接地	EAECEH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○A種接地	EA	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○B種接地	EB	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×2
○C種接地	EC	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○D種接地	ED	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
●漏電遮断器回路	EEL	500Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○構内交換機（機用）	EEL	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○本配線盤の保安装置	EAL	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○電圧引込口の保安装置	ELT	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○アンテナ保安装置	ELT	1000Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○抗雷増設器	EDL	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
○防犯装置用	ES	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-1組
○			
○測定用補助接地極	ED	――	EB（D=10又はW=30）×1
○避雷器用（保圧用）	EEL	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○避雷器用（保圧用）	EEL	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2組
○避雷器用（端子用）	ELD	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1

表2「機器取付高さ」

機 器	測 点	取付高(mm)	機 器	測 点	取付高(mm)		
共通	積算用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	電	集合保安装置	天井～上端	200
引込開閉器	床～中心	1,800～2,200	端子盤	床～中心	1,500	(上限1,900以下)	
分電盤	床～中心	1,500	壁付電話機	床～中心	1,300		
スイッチ(一般)	床～中心	(上限1,900以下)	壁付7Aレイト(一般)	床～中心	300		
スイッチ(ハリアリ-トル)	床～中心	1,300	壁付7Aレイト(和室)	床～中心	150		
スイッチ(和室)	床～中心	1,200					
コンタクト(一般)	床～中心	300	壁掛形時計	床～中心	1,500	(上限1,900以下)	
コンタクト(和室)	床～中心	150	壁付時計	床～中心	天井高×0.9		
コンタクト(台)	台～中心	150～200	壁付形スピーカ	床～中心	天井高×0.9		
コンタクト(厨房)	床～中心	800～1,000	壁付フック	床～中心	1,300		
コンタクト(車庫)	床～中心	1,300	情報表示盤	床～中心	天井高×0.9		
コンタクト(機械室)	床～中心	500～1,000	壁付発信機	床～中心	1,300		
コンタクト(屋外)	地上～中心	1,000～1,300	ヘルプ・ブザー・チャイム	床～中心	2,300		
ブラケット(一般)	床～中心	2,100～2,300	壁付押ボタン(一般)	床～中心	1,300		
ブラケット(壁掛)	床～中心	2,000～2,500	テレビモニター(鏡器)	床～中心	1,400		
ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150	テレビモニター(子機)	床～中心	約1,350		
壁掛形制御盤	床～中心	1,500	壁付モニター(一般)	床～中心	1,300		
力	開閉器箱	床～中心	1,500	壁付7Aレイト(一般)	床～中心	1,300	
制御用スイッチ	床～中心	1,300	機器収容箱	天井～上端	200		
試験用接地端子箱	床～下端	800	機器収容箱(EPS)	床～中心	1,500	(上限1,900以下)	
電保護			テレビ端子(一般)	床～中心	300		
受変電	接地端子箱	床～中心	500	テレビ端子(和室)	床～中心	150	
			受信機	床～操作部	800～1,500		
			副受信機	床～操作部	800～1,500		
			機器収容箱	床～操作部	800～1,500		
			発信機	床～操作部	800～1,500		
			表示灯	床～中心	2,100		
			警報ベル	床～中心	2,300		
			液化石油ガス用	床～上端	300		
			都市ガス用(軽質)	天井～上端	150		
			都市ガス用(重質)	床～上端	300		
			廊下表示灯(復旧タイプ付)	床～中心	1,300		
			スイッチ(重椅子用)	床～中心	1,100		
			コンタクト(重椅子用)	床～中心	900		

備考) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

NOTE

工事名称 弘前高等学校第一体育館避難所機能強化（空調設備）工事

縮尺：-(A1幅) - (A3幅)

単位 MM

令和8 年 6 月 作製

図面名称 電気設備特記仕様書（1）

所 長 部 長 課 長 担 当 製 図 製 図

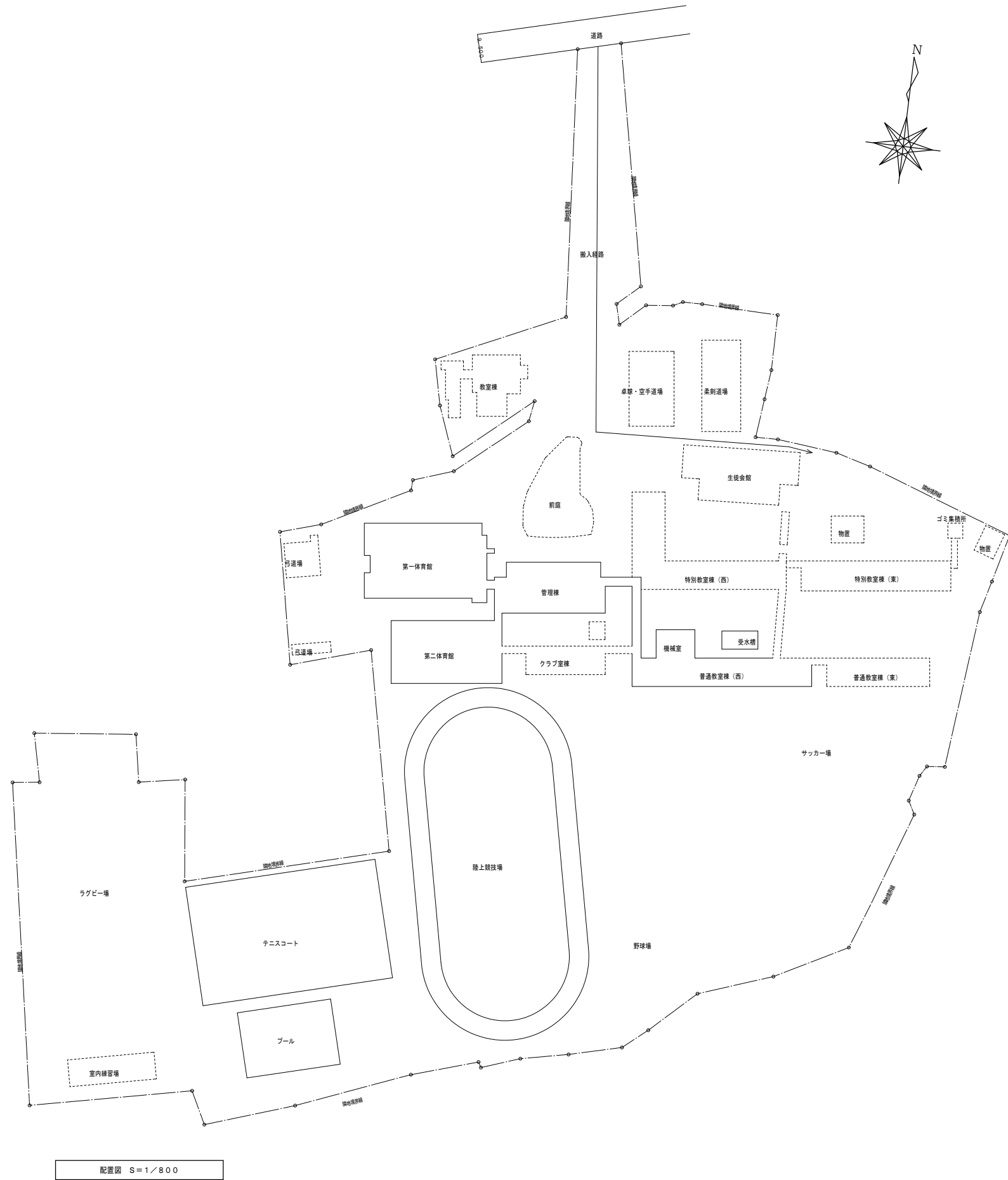
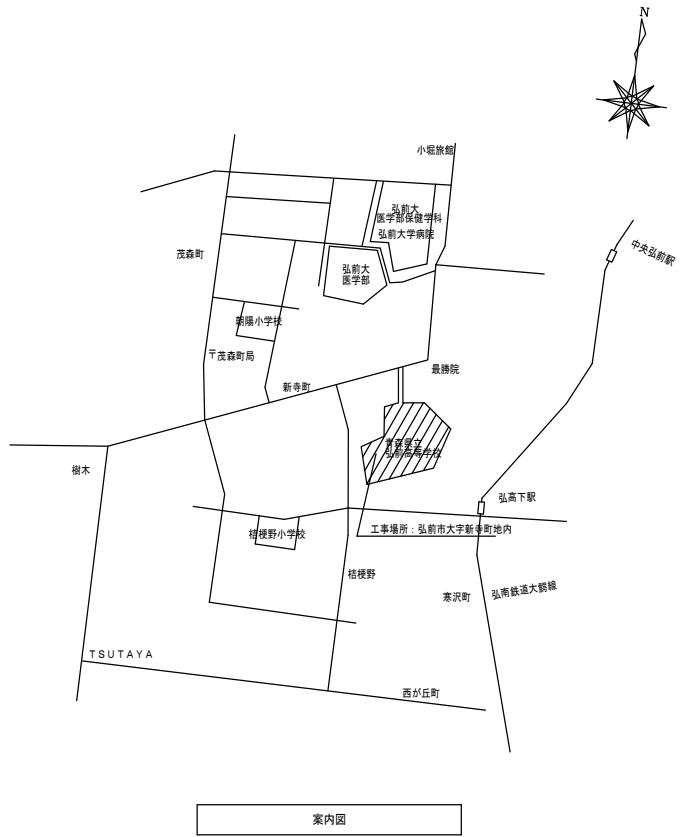
E ー 01

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

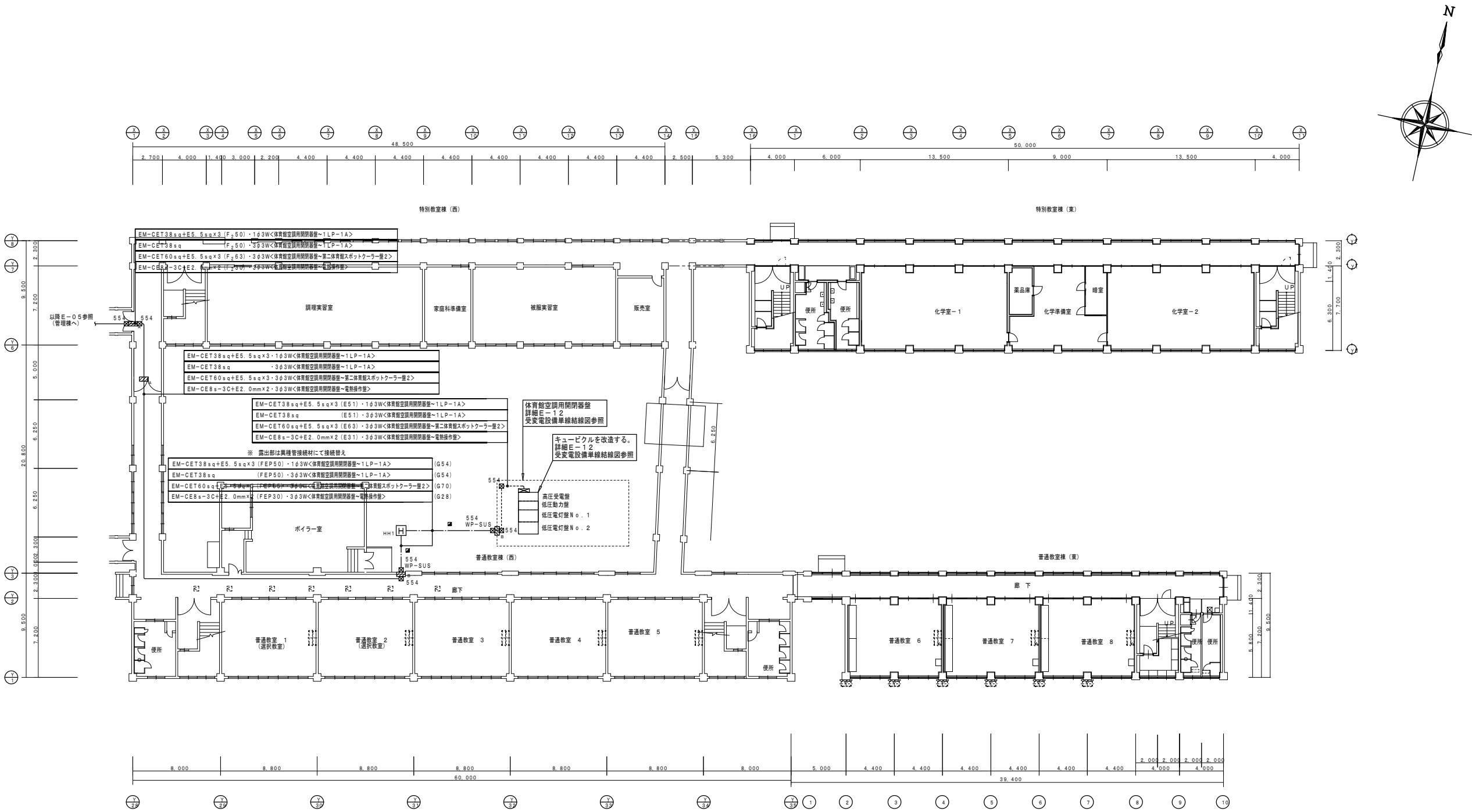
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL. 017(741)6497 FAX 017(742)1877

山田 上野

工事区分表（他工事との取合い等）																																																						
項 目						A	E	M	EV	備 考		項 目						A	E	M	EV	備 考		項 目						A	E	M	EV	備 考																				
躯体関係												仕上げ関係																																										
1. RC造 （梁・壁・床）の 貫 通 孔 開口部	貫通孔のスリーブ材及び取付け											○	○	○	○			1. 軽量鉄骨 天井下地 ・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強											○						11. その他 （続き）	排煙口等の天井仕上材の取付け											○					排煙口はM	
	補強を要する型枠材及び取付け											○							補強を要しないボードの切り込み												○	○					消火器ボックス設置工事											○						
	補強を要しない型枠材及び取付け											○	○	○	○				開口部の墨出し													○	○					誘導標識（誘導灯を除く）											○					
	貫通孔・開口部の墨出し											○	○	○	○																						煙突底部排水目皿・排水管											○						
	貫通孔・開口部の補強											○																							くつつきマット・玄関マット・自動扉マット部 床排水金物（目皿共）・排水管											○								
	スリーブ・型枠の穴埋め											○	○	○	○			2. 可動間仕切り	切込み及び補強											○							くつ洗い流し部排水金物・排水管											○						
2. S・SRC造の 梁貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強											○							位置ボックス											○						ルーフトレン											○							
	使用されたスリーブの穴埋め											○	○	○	○				3. つりボルト 及び インサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用												○	○					雨水流入配管											○					
	予備スリーブの穴埋め											○	○	○	○																					雨水利用設備集水管													○			電動遮断弁以降はM		
3. 設備機器 の基礎	屋内の基礎（建築設計図に記入のあるもの）											○						4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ											○						1. 雨水																		
	屋内の基礎（設備設計図に記入のあるもの）												○	○					ウエザーカバー、ペントキャップ（シール共）													○																						
	屋外・屋上の基礎											○							換気扇（取付枠共）													○					屋外排水設備・外構																	
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの													○	○				サッシパネル開口											○																								
	機器取付け用アンカー・架台													○	○																																							
	屋内受水タンク用の基礎											○						5. 湯沸室まわり	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台											○																		○						
	太陽電池アレイ用架台（支持金物）											○	○				AとEの区分は図示		フード（標準詳細図のもの、シール共）											○					その他はM	雨水公設樹											○					公共下水道が分流式 の場合		
4. 昇降機関連	機械室・昇降路の躯体											○						6. 浴室まわり	浴室ユニット、複合浴室ユニット、シャワーユニット													○				2. 雑排水・汚水 電力・通信	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備													○				
	機械室の床開口											○							既製浴槽（ふたを含む）													○					樹及び樹ふた													○				
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上											○							浴室及び便所の床排水金物													○					ハンドホールの化粧用鉄ふたの表面仕上げ											○						
	機械室・昇降路内換気設備														○																							マンホールの化粧用鉄ふたの表面仕上げ											○					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷															○		7. 便所まわり	洗面カウンター											○						3. 植栽	排水公設樹													○			公共下水道が合流式 の場合	
	昇降路内ビット防水・集水樹											○							鏡（規格寸法のみ）													○					植栽及び客土											○						
	点検用タラップ															○			衛生器具ユニット													○																						
	各階出入口穴あけ・同補強											○							手すり、背もたれ											○							4. ユニット形 浄化槽	タンク室の躯体											○					
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修															○																				タンク室の砂充てん													○					
	昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材											○						ファンコイルカバー											○						上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等													○						
	出入口扉・三方枠及び幕板															○		8. 事務室まわり	家具組み込みの洗面器													○				5. 屋外オイル タンク	タンク室の躯体											○						
	出入口扉・三方枠及び幕板の各補強鉄骨											○							コンセント													○					タンク室の砂充てん													○	○			
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、 他昇降路内の鋼製部材一式															○		9. 7リ-7クx2707	床パネルの切り込み加工											○							上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等													○	○			
	昇降路がS造の時の中間ビーム及びブラケットの受けベース											○																										配管トレンチ及び蓋											○					
	機械室大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）											○						10. 自動扉 電動シャッター まわり	防火戸の自動開閉装置													○				6. その他	駐車場ガソリントラップ（RC造）											○						
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口											○							上部電動シャッター本体・制御盤・手動開閉装置・ヒューズ装置											○							屋外キュービクルフェンス（扉・錠共）											○						
	点検用コンセント・煙感知器														○				排煙窓本体・自動開閉装置											○																								
	EV制御盤までの動力・照明用電源、アース、火災時管制運転用信号、 非常用発電時管制運転信号、拡声設備（館内放送用）配管・配線工事														○				防煙たれ壁本体・駆動装置											○																								
	EV制御盤からエレベーター内監視カメラ及びインターホン までの配管・配線工事															○			上部電動シャッター、排煙窓及び防煙たれ壁連動制御装置の感知器											○						電気配線配管																		
	監視カメラ用の監視装置からEV警報盤又はEV監視装置までの 配管・配線工事														○				自動扉の本体・駆動装置・検出装置（センサー）											○						機器付属の制御盤以降の2次側配管配線（接地線共）													○	○				
EV警報盤又はEV監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の 配管工事														○			自動扉の手元電源スイッチ													○				機器付属の制御盤への1次側電源供給配管配線（接地線共）											○									
EV警報盤又はEV監視盤までの緊急地震速報受信用の配管・配線工事											○						電気錠の本体、扉内配線											○						自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共）											○									
EV制御盤からEV監視盤又は警報盤までの制御、監視カメラ及び インターホンの配管・配線工事															○		電気錠の扉までの配管及び配線													○				機器と附属操作スイッチの渡り配管配線													○	○						
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事															○		自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強 及びドアクローザー、フロアヒンジ											○						煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線											○									
5. その他	トラフ・ビット類（湧水・汚水）・RC造各種水槽											○						11. その他	自動扉・電動シャッターからセンサー（附属スイッチ）への 配管・配線工事											○						全熱交換ユニットから運動する電動ダンパーへの電源供給配管配線											○							
	同上用防水・ふた・マンホール・タラップ等											○							自動扉・電動シャッター本体までの配管・配線													○				注油口内アース端子よりのアース用配管配線													○	○				
	雷保護設備・同接地工事													○					2重ビット及びびトレンチのマンホールふた											○						ACP屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線													○					
	ALC板の壁開口・補強											○							機器搬入用フック、ビーム											○						ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線													○					
	厨房排水溝															○			チェンブロック													○	○				機器・電極棒用の電源配管配線													○			電極棒はM	
	厨房グリース阻集器															○			化粧マンホール上ふたの表面仕上げ											○							屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置の電源、 信号線の配管・配線											○						
	オイルサービスタンクの防油堤											○							点検口（天井・床下）											○																								
フリーアクセスフロア内の防水堤											○																																											
既設埋設配管配線調査（×線探索含む）											○	○	○																																									
凡例	A：建築工事 E：電気設備工事 M：機械設備工事 EV：エレベーター設備工事 ※区分は○印のついたものを適用する。 ※複数に○印がある場合は、それぞれ必要とする工事で実施するものとする。											この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター設備工事（EV）といった 施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付 しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体的 工事内容を示すものではないことに留意すること。											（設計者等表示欄） ※ ※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する																															



NOTE	工事名称 弘前高等学校第一体育館避難所 機能強化（空調設備）工事	縮尺 1/800 (A1判) 1/1,600 (A3判)		単位 MM				令和8年6月作製	図面名称 案内図・配置図
		所長	部長	課長	担当	製図	製図	E 03	
		青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017 (741) 6497 FAX 017 (742) 1877				山田			



普通教室棟 1 階電灯・動力設備図 S=1/200

図記号	名 称	定 格	備 考
□ _A	貫通補修	φ 100 (壁・床共用)	防火処理を施すこと
□ _B	貫通補修	φ 100 (壁・床共用)	

(注記)
構内配電線路図中特記なき配線は以下の通りとする
H_{HH1} H2-9 (R2K-60)
■ ケーブル埋設機 (コンクリート製)
・特記無き地中配管埋設深さはGL-600以上とする。
・地中配管へはケーブル埋設シート敷設とする。

ブルボックス寸法は下記による。
□ _{mmn} : (m×100) W× (m×100) W× (n×100) H
特記無き限り露出配ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい型に取り付ける。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは壁外形とする。
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。

NOTE

工事名称

弘前高等学校第一体育館避難所
機能強化 (空調設備) 工事

縮尺 1/200 (A1判) 1/400 (A3判)

単位 MM

令和 8 年 6 月 作製

図面名称 普通教室棟 1 階電灯・動力設備図

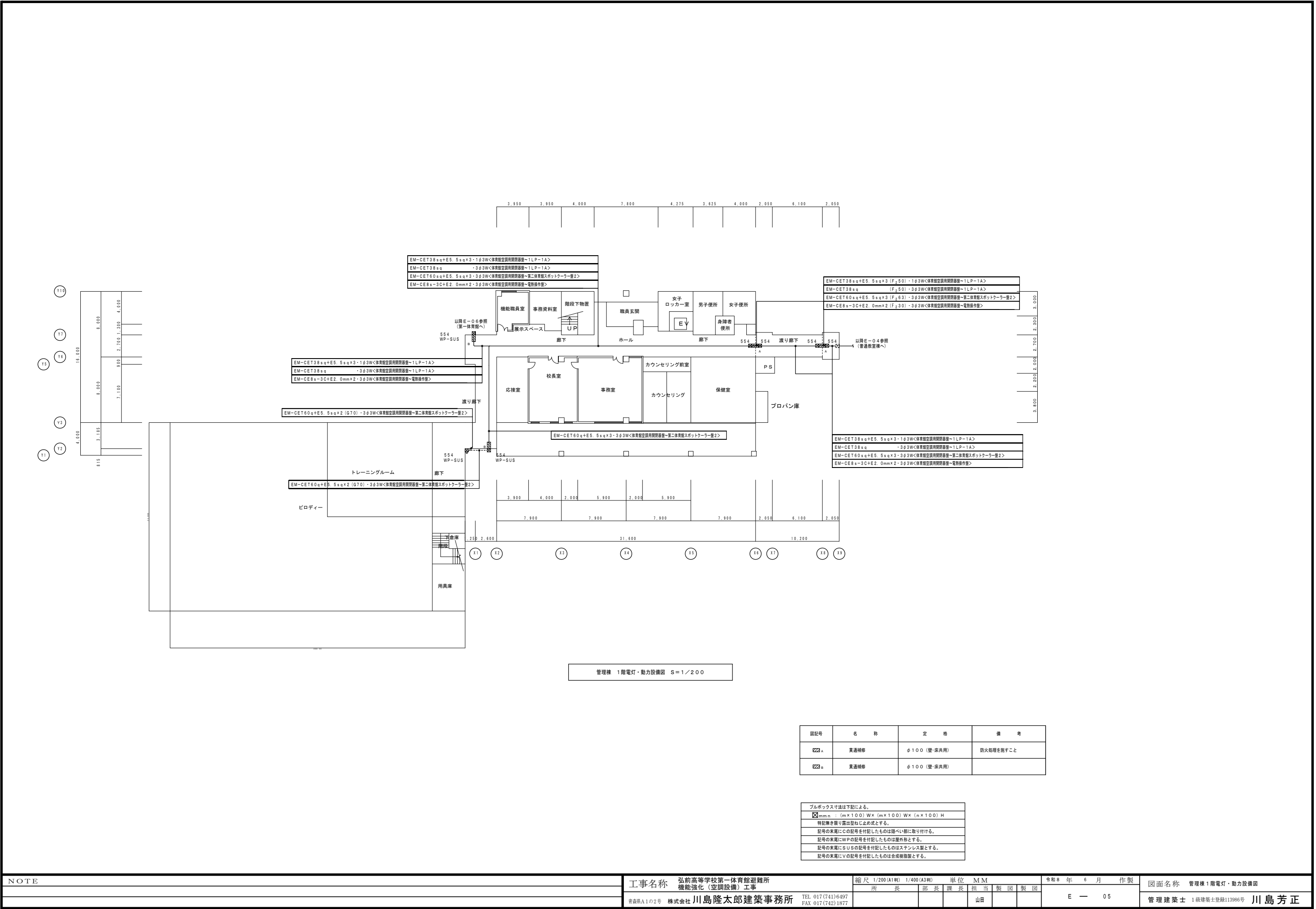
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

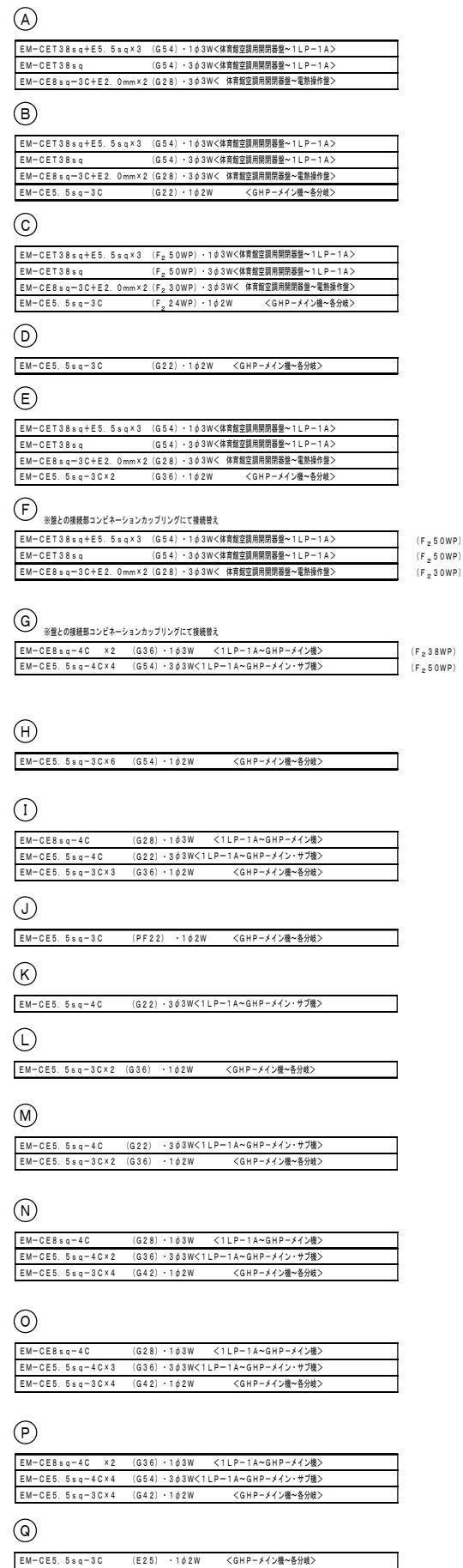
TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

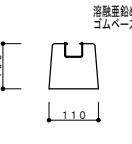
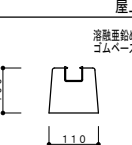
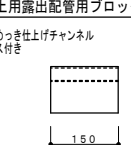
山田

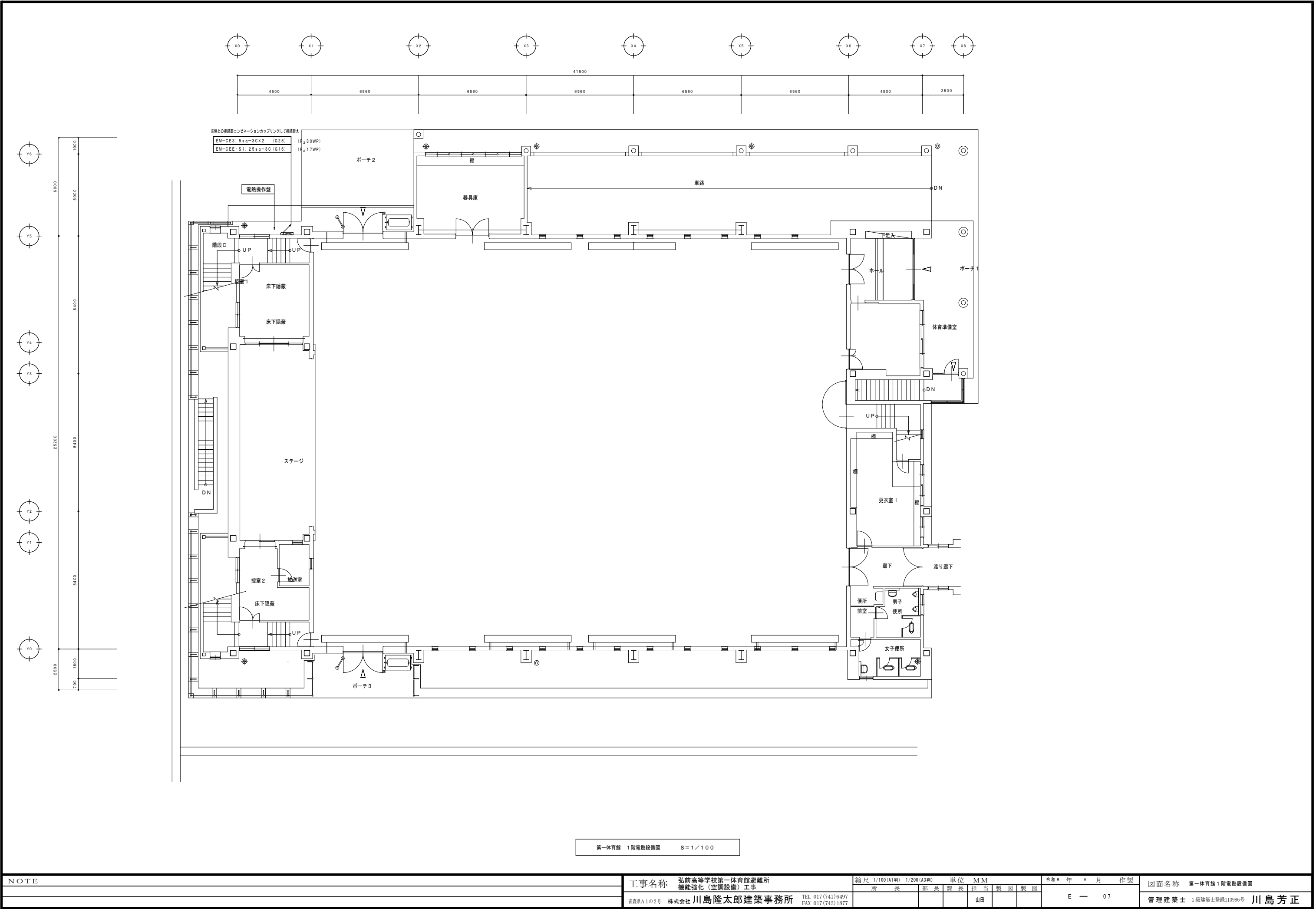
E 04

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

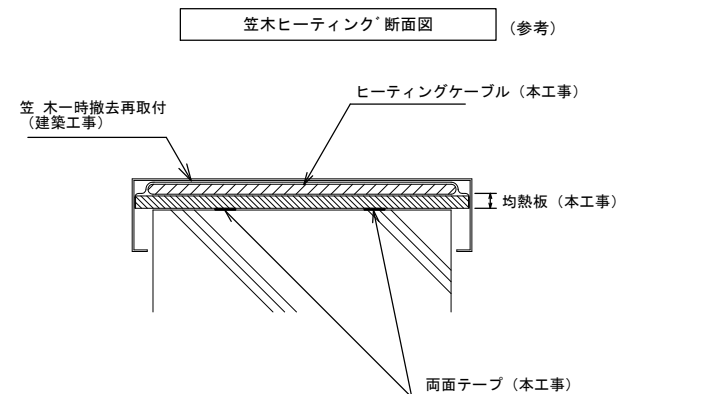




□	屋上用露出配管用ブロック
	溶融垂始めつき仕上げチャンネル ゴムベース付き  
□	屋上用露出配管用ブロック
	溶融垂始めつき仕上げチャンネル ゴムベース付き  



NOTE	工事名称 弘前高等学校第一体育館避難所 機能強化（空調設備）工事		縮尺 1/100 (A1判) 1/200 (A3判)		単位 MM		令和8 年 6 月 作製		図面名称 第一体育館1階電熱設備図
			所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図	
			青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所		TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877		山田		
						E — 07		管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正	



笠木ヒーティング設備仕様

電 源 種 別		3φ 3W 200V
布 設 面 積	m ²	6.82
電 力 量	Kw	1.7
設 計 発 熱 量	W/m ²	250
ユ ニ ッ ト 番 号		KH-1 KH-2
1ユニット	面 積	m ² 4.22 2.6
	電 力 量	Kw 1.05 0.65
	電 流	A 5.25 3.25
発 熱 線 種 別		HC-360(標準型) HC-950(標準型)
発 熱 線 規 格		(I509001・14001取得工場またはT-EMS取得工場による国内製品) J I S C 3651 附属書第二発熱線
発 熱 線 折 曲 ビ ッ ヅ	mm	40 40
ユ ニ ッ ト 数	U	1 1
制 御 区 分	制御	I
制 御 方 式		笠木面温度による自動制御運転

ブルボックス寸法は下記による。

 mm n : (m x 100) W x (m x 100) W x (n x 100) H

特記無き限り露出型ねじ止め式とする。

記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。

記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。

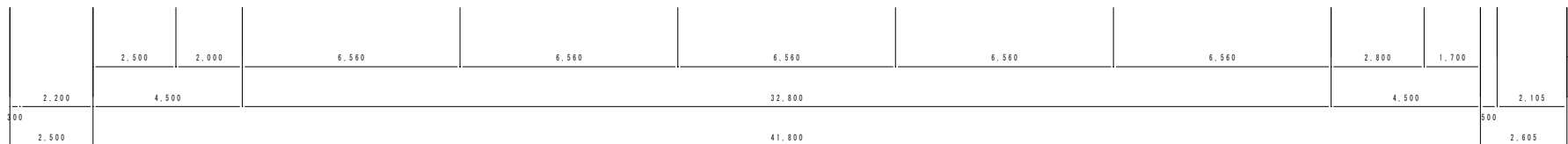
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。

記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。

配線・配管表

記 号	ケーブル	保護管
④	RHVV 3. 5sq-1C x 2 + E2. 0mm	(G22)
⑦	VCTF23NX 0. 75sq-3C	(G16)

最寄りのP・BOX迄とする



斜線部は融雪ヒータ一設置部を示す。

第一体育館 電気設備図 S=1/100

NOTE

工事名称

弘前高等学校第一体育館避難所
機能強化（空調設備）工事

縮尺 1/100 (A1判) 1/200 (A3判)

單位	MM
----	----

令和 8 年 6 月 作製

圖面名稱 第一體育館屋根電熱設備圖

管理建築士 1級建築士登録113986号

川島芳正

ヒータিংケーブル断面図（標準型）

(標準型発熱線断面構造) JIS C 3651 附属書第二種発熱線

発熱線種別	HC-950	HC-360
構成	本/φmm 7/φ0.308	7/φ0.5
公称断面積	mm ² 0.52	1.37
材質	銅ニッケル	銅ニッケル
外径	mm 0.924	1.5
EPゴム絶縁体 厚さ	mm 1.0	0.8
耐熱ビニル外装 厚さ	mm 1.2	1.2
仕上外径	mm 5.5	5.5
標準抵抗 Ω/Km 20℃	951	361
耐熱ビニル外装色	赤	灰

◆ 標準型発熱線断面図

リードケーブル断面図（標準型）

(リード線〔RHVV〕断面構造)

◆ リード線断面図

サイズ	mm ²	3.5
構成	本/φmm	7/φ0.8
公称断面積	mm ²	3.5
外径	mm	2.4
耐熱ビニル絶縁体 厚さ	mm	0.8
耐熱ビニル外装 厚さ	mm	1.2
仕上外径	mm	6.4
耐熱ビニル外装色		赤

耐熱ビニル外装
耐熱ビニル絶縁体
導 体

均熱ヒーター

断面

平面

接 続 部 図

白金測温抵抗体（P型）

温度調節器（PXF4）

操作盤内に設置

電熱操作盤 外形図（参考）・主回路接続図

正面図

右側面図

ET（接地端子）	M8 タップ
ハンドル	PH-B9-SUS-2
使用材質 (SUS304)	扉 t1.5
(SUS304)	面体 t1.5
(SPC)	ベース t2.3

記 号	記 入 文 字
N P	笠木ヒータリング操作盤
WL	電 源
OL	漏 電
RL	運 転
COS	手 動 切 自動

主回路接続図

3φ3W 200V 50HZ

R S T

ELB1-2 (AL)

F-3A R1.5

OL 漏電

WL 電源

MCB0 3P30AF/15AT (BW32AAG)

MC 20A (SC-03)

ELB1 2P30AF/15AT 30mA A.L (EW32AAG)

ELB2 2P30AF/15AT 30mA A.L (EW32AAG)

MCB S1 2P30AF/10AT (BW32AAG)

RC, SC 操作電源

UV1 1.05kW KH-1

VW2 0.65kW KH-2

特 記 仕 様 書

1. 材料について

1. この特記仕様書に定めのない材料の規格は、『公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）』の定めによる。

2. 材料の検査については、『公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）』の定めによるものとするが、これによりがたい場合には事前に提出して承諾を得たメーカー社内規格によることが出来るものとする。

3. この工事に使用する材料で監督員が必要と認めた場合には、あらかじめ試験成績書または見本等を提出し、監督員の承諾を得た後、これを使用すること。

4. 施工に先立ち、融雪設備工で使用する材料に関する資料を事前に提出し、承諾を得ること。

5. 品質の確保を目的とした立会いによる検査実施が容易な製造場所とする。（日本国内に限る）

6. 本設計における主要材料は、JIS規格準拠およびISO9001・14001取得工場またはT-E M S取得工場の国内大手電線メーカー製品にて算出しています。（参考：三菱電線工業㈱、古河電気工業㈱、北日本電線㈱等）設備の長期的な品質確保のため、上記及び下記に該当しない製品は使用しないこと。違反した場合、請負者の責任において改修すること。

(1) ヒータリングケーブル

① ロードヒータリング用発熱線は二重外装を施した強力型発熱線（第二種発熱線）とする。

② 笠木ヒータリング用発熱線は普通型発熱線（第二種発熱線）とする。

③ 発熱線はJIS C 3651に準じるものとする。

④ ISO9001・14001取得工場またはT-E M S取得工場による国内メーカー製品とする。

⑤ 発熱線の長期的な品質確保のため、県内における官公庁の施工実績が20年程度のある製造者の発熱線とする。（参考：三菱電線工業（株）、古河電気工業（株）、北日本電線（株））

(2) リードケーブル

① 耐熱シース層を備えた構造のものとする。

② アスファルト舗装内へ直接埋設して使用できるものとする。

③ JIS C 3651（ヒータリング施設の施工方法）接続用電線に適合するものとする。

④ ISO9001・14001取得工場またはT-E M S取得工場の国内メーカー製品とする。

⑤ 耐熱線の長期的な品質確保のため、県内における官公庁の施工実績が20年程度のある製造者の耐熱線とする。（参考：三菱電線工業（株）、古河電気工業（株）、北日本電線（株））

(3) 温度調節器

① 本装置は別置き温度測温体から得る温度と連動し、設定温度に応じた温度を維持する装置とする。

(4) 温度測温体

① 測温体はJIS C 1604 白金測温抵抗体に準じるものとする。

② 路面に埋設して使用できるものとする。

2. 品質管理について

(1) 設計図面を遵守すること。変更部分に関しては監督員の承諾を得るものとする。

(2) ヒータリングユニットの絶縁抵抗、導体抵抗測定を下記の工程時に実施すること。

① ヒータリングユニット布設完了後

② ヒータリングユニット埋設後

③ ヒータリング設備工事完了時

(3) 絶縁抵抗値においては長期的な品質確保のため、工事完了後は監督員の立会いのもと測定を実施すること。絶縁抵抗計1000Vレンジ測定で100MΩ以上導体抵抗値は規格値の±10%内とする。（内線規定等の他の規定は適用外とする。）

(4) ヒータリングユニットおよびリードケーブルの保証期間は3年とする。上記以外の材料の保証期間は1年とする。

(5) 工事完了後3年以内に絶縁抵抗値が10MΩ未満のヒータリングユニットは、発注者または管理者と協議の上、請負者の責任において速やかに改修すること。ただし、発注者または管理者立会いのもと原因が施工時によるものではないと認められる場合は、この限りではない。

(6) 工事完了後3年以内に絶縁抵抗値が100MΩ未満～10MΩ以上のヒータリングユニットは、発注者または管理者と協議の上、改修が必要と判断された場合は、請負者の責任において速やかに改修すること。ただし、発注者または管理者立会いのもと原因が施工時によるものではないと認められる場合は、この限りではない。

NOTE

工事名称

弘前高等学校第一体育館避難所
機能強化（空調設備）工事

縮尺 1/100 (A1判) 1/200 (A3判)

単位 MM

令和 8 年 6 月 作製

図面名称 第二体育館 2 階動力設備図

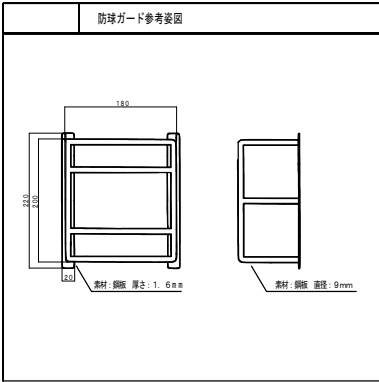
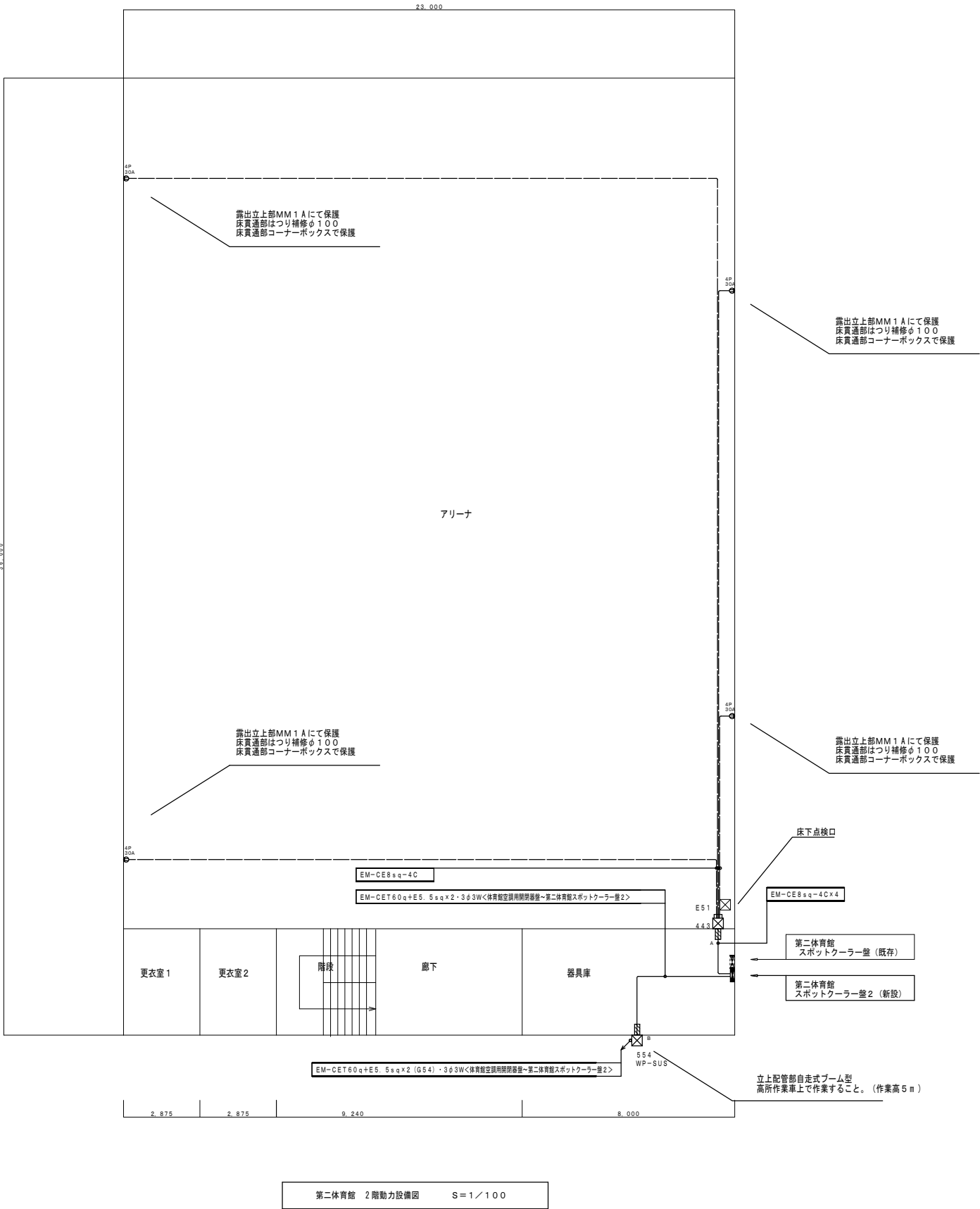
青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

山田

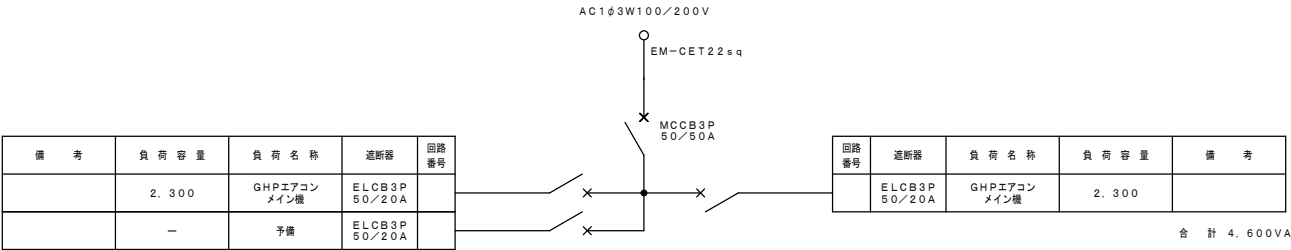
E 10

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正



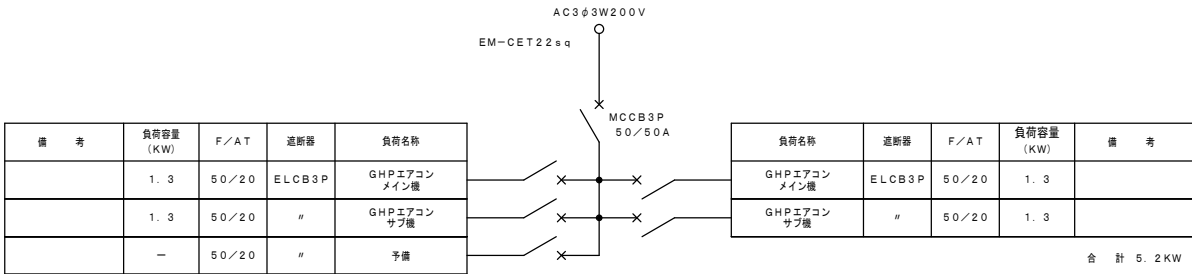
図記号	名 称	定 格	備 考
4P 30A	露出コンセント (防球ガード付)	4P 30A x 1 (引掛形) 1機は接地極付とする。	
EM-A	貫通補修	φ100 (壁・床共用)	防火処理を施すこと
EM-B	貫通補修	φ100 (壁・床共用)	

ブルボックス寸法は下記による。
mmn : (m x 100) W x (m x 100) W x (n x 100) H
特記無き限り露出型ねじ止め式とする。
記号の末尾にCの記号を付記したものは隠ぺい部に取り付ける。
記号の末尾にWPの記号を付記したものは屋外形とする。
記号の末尾にSUSの記号を付記したものはステンレス製とする。
記号の末尾にVの記号を付記したものは合成樹脂製とする。



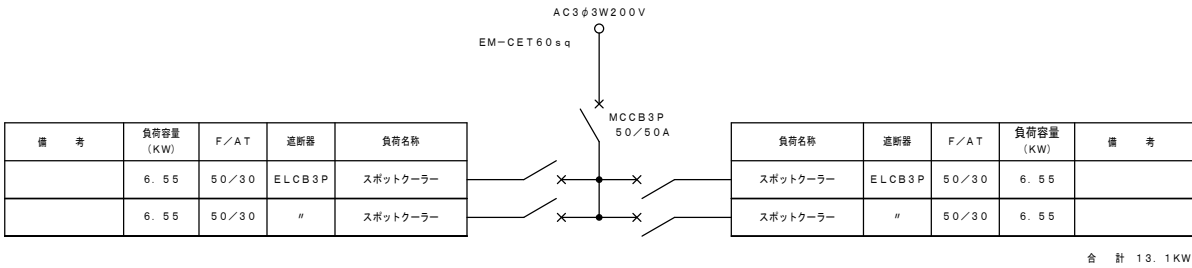
注記2.300VAとは発電機回路として使用可能な皮相電力の最大値を示す。

セパレータ



電灯動力配電盤1LP-1A 単線結線図

ステンレス製
露出型



注記：同時最大使用数 2個

第二体育館スポットクーラー盤2 単線結線図

銅板製
露出型



GHPエアコンメイン機端子台より給電

GHPメイン機2次側回路系統図

NOTE

工事名称

弘前高等学校第一体育館避難所
機能強化（空調設備）工事

青森県A1の2号

株式会社 川島隆太郎建築事務所

TEL 017(741)6497
FAX 017(742)1877

縮尺 - (A1用) - (A3用)

単位 MM

令和8 年 6 月 作製

図面名称

電灯動力配電盤・動力盤 単線結線図
GHPメイン機2次側回路系統図

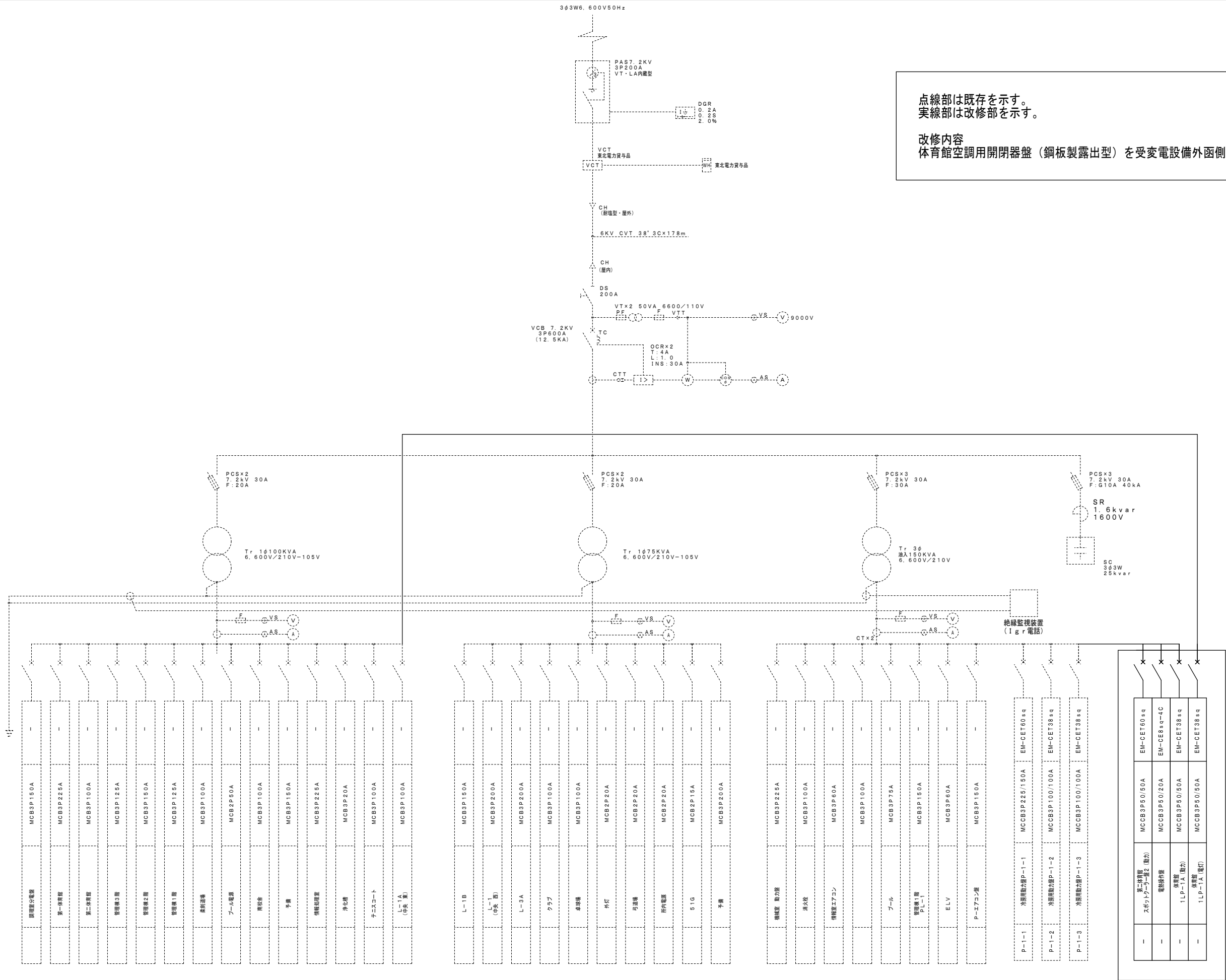
管理建築士

1級建築士登録113986号

川島芳正

点線部は既存を示す。
実線部は改修部を示す。

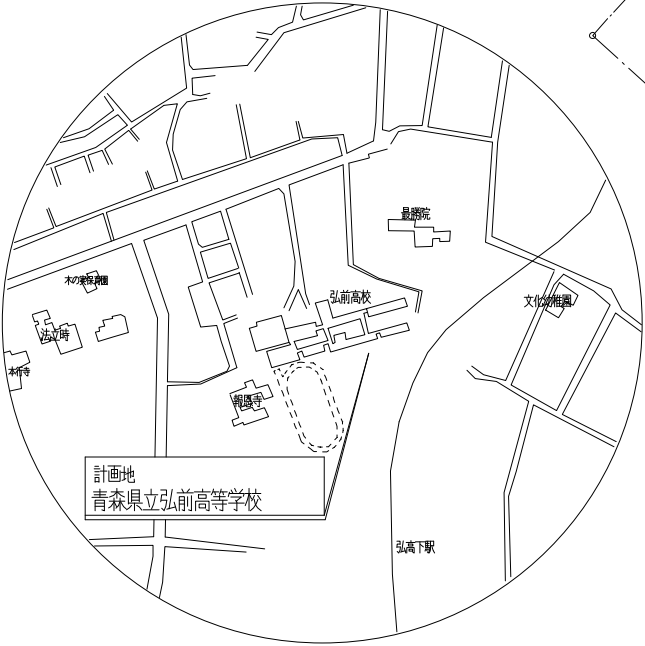
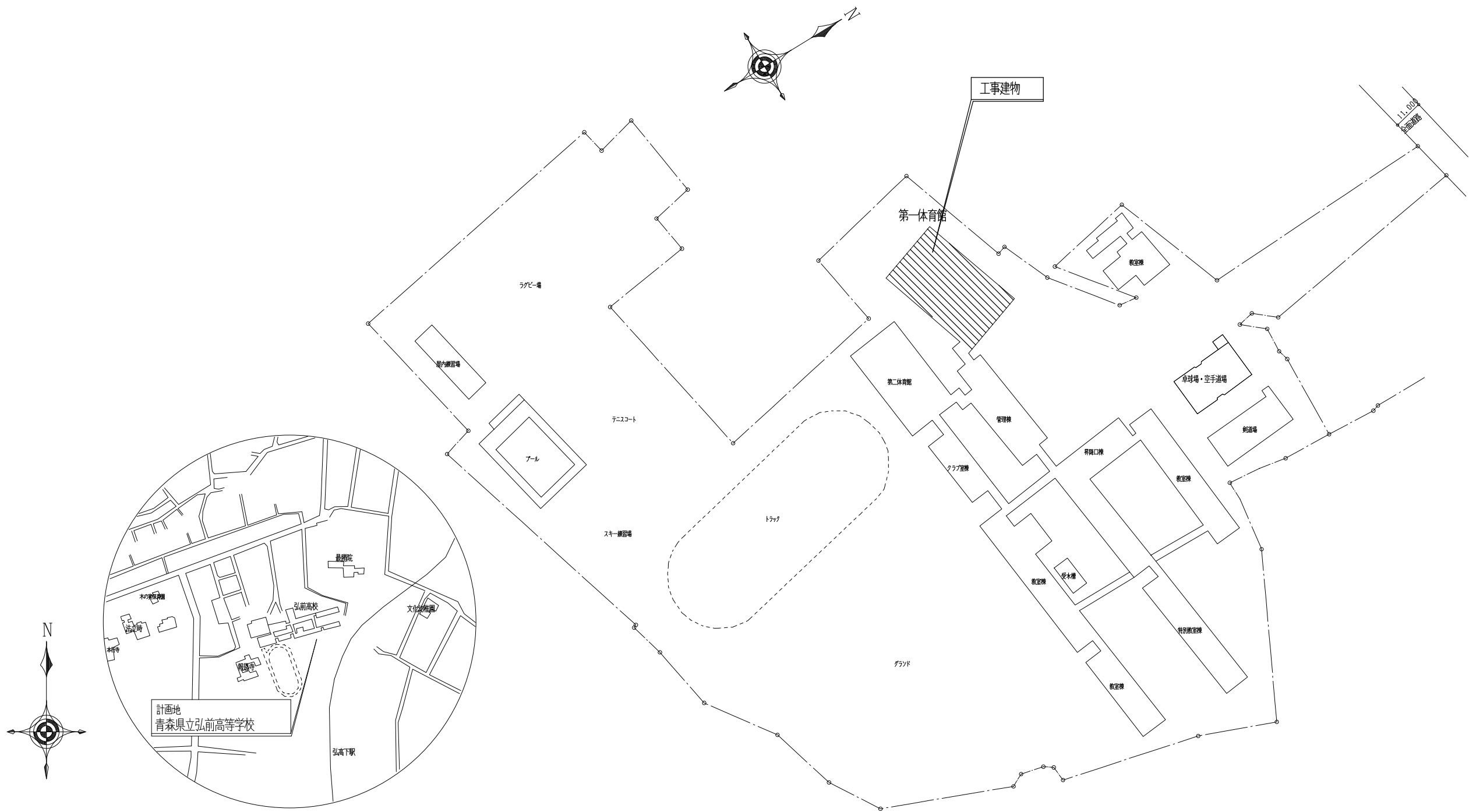
改修内容
体育館空調用開閉器盤（銅板製露出型）を受変電設備外函側面に増設する。



体育館空調用開閉器盤

[illegible]

[illegible]



附近見取図

配置図 S=1/800

NOTE

工事名称 弘前高等学校第一体育館
耐震性能強化(空調設備整備)改修工事

青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877

縮尺 A1:1/800 A3:1/1600 単位 MM

所長 部長 課長 担当 製図 製図

令和8年 6 月 作製

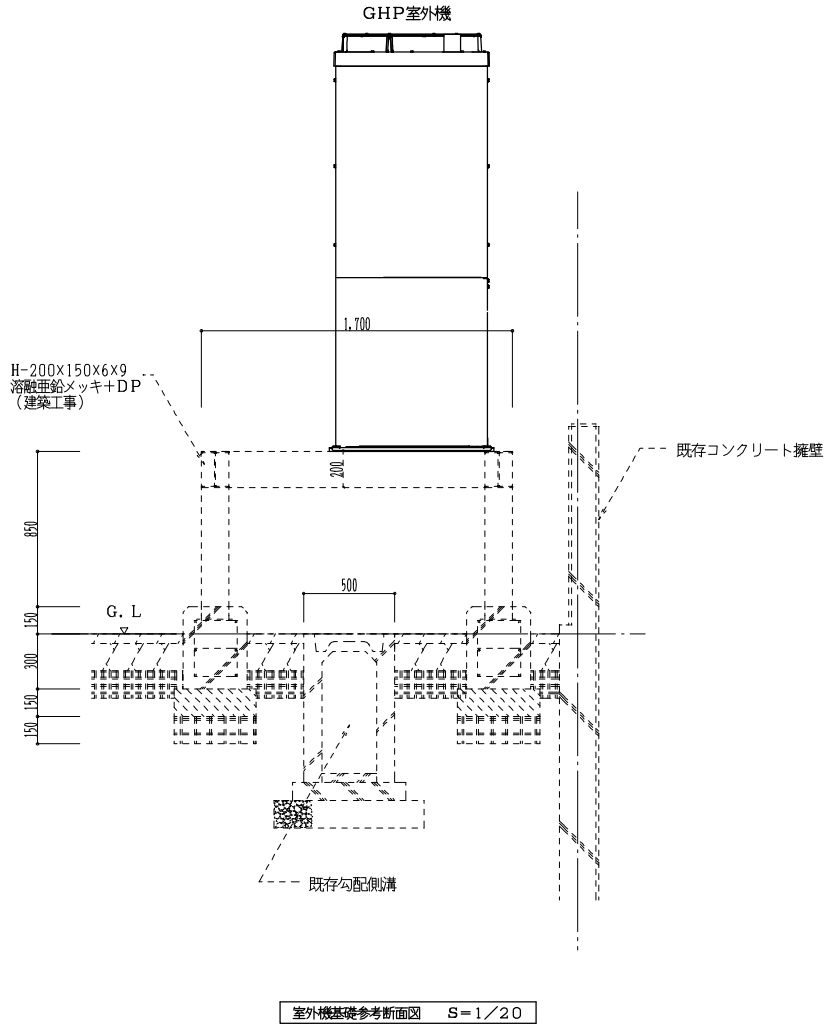
M - 3

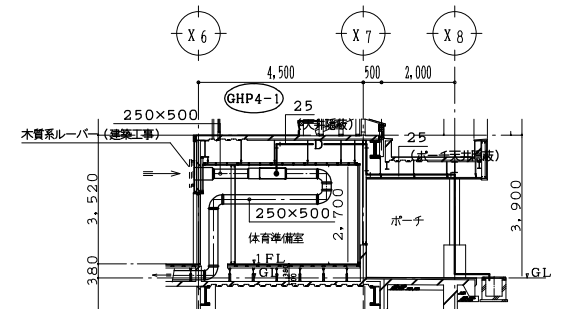
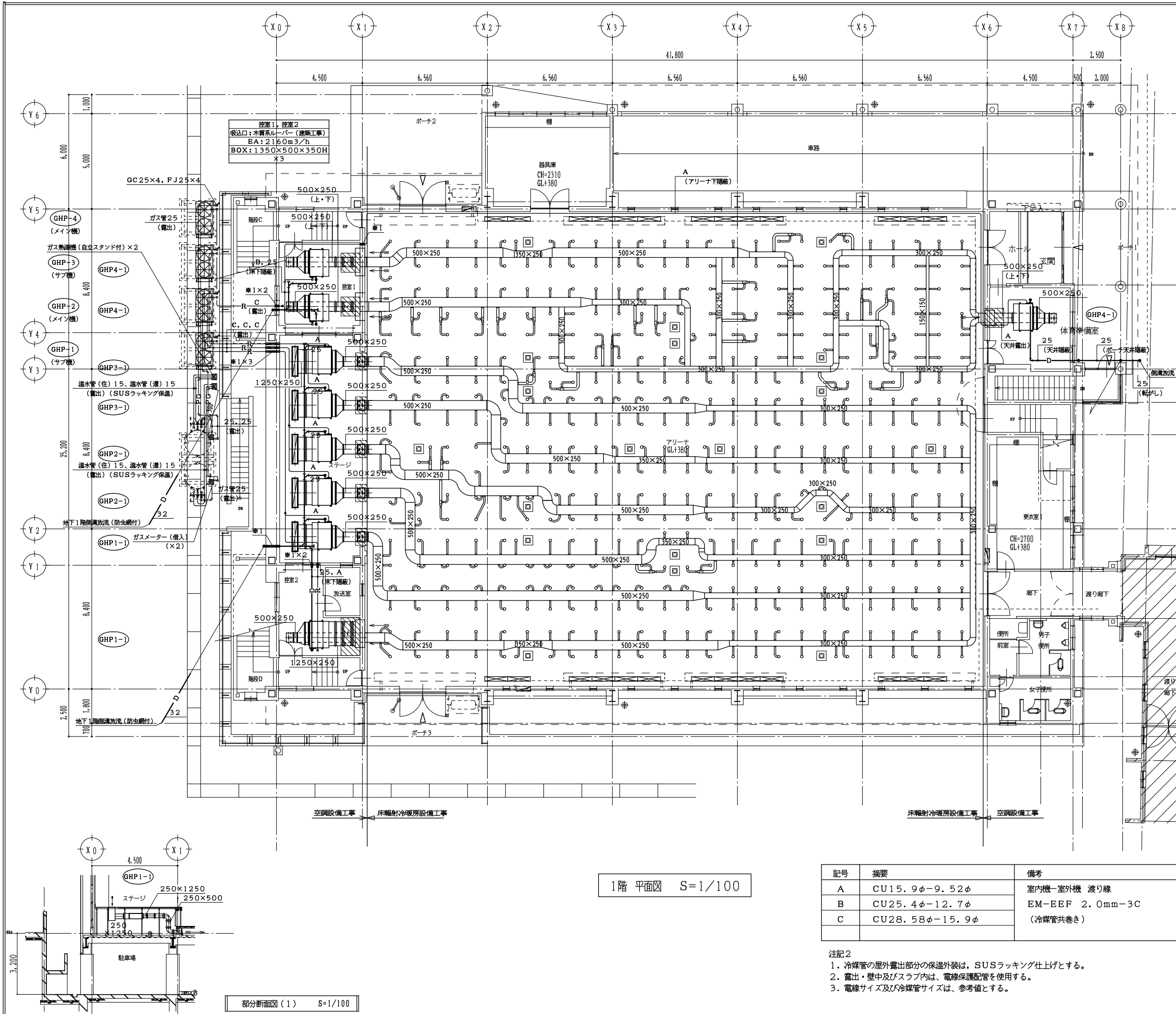
図面名称 配置図・案内図

管理建築士 1級建築士登録113986号 川島芳正

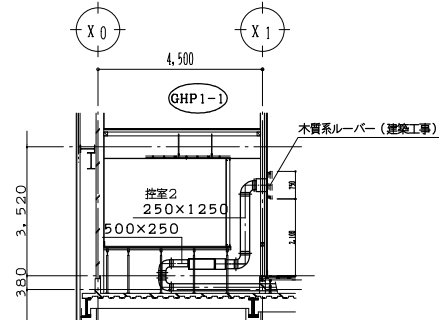
空調機器表

記号	機器名称	形式	仕様	電源 (50Hz)			台数	設置場所	基礎	備考
				φ	V	kW (W)				
GHP-1 (メイン機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 4.2 kW (自立発電時: 4.4 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上 自立運転切り替え盤、自立運転切り替えスイッチ	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 建築工事	防雪フード (吹き出し側)
GHP-1 -1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m3/h×200Pa ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートセンサー (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	2	控え室2、ステージ下		
GHP-2 (サブ機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 4.2 kW (自立発電時: 4.4 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 建築工事	防雪フード (吹き出し側)
GHP-2 -1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m3/h×200Pa ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートセンサー (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	2	ステージ下		
GHP-3 (メイン機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 4.2 kW (自立発電時: 4.4 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上 自立運転切り替えスイッチ	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 建築工事	防雪フード (吹き出し側)
GHP-3 -1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m3/h×200Pa ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートセンサー (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	2	ステージ下		
GHP-4 (サブ機)	ガスヒートポンプエアコン室外機	屋外ユニット 床置形	電源自立型 (寒冷地仕様) 冷房能力=56.0 (自立運転時45.0) kW 暖房能力=63.0 (自立運転時50.0) kW ガス消費量 (LPG) : 4.2 kW (自立発電時: 4.4 kW) 発電出力 (停電時最大接続容量) : 1φ×200V×2.0 kVA以上	3	200	1.3	1	屋外	基礎: 建築工事 架台: 建築工事	防雪フード (吹き出し側)
GHP-4 -1	ガスヒートポンプエアコン室内機	天井埋込形	冷房能力=16.0 kW・暖房能力=18.0 kW 送風機=2160m3/h×200Pa ワイヤードリモコンスイッチ、ロングライフフィルター フィルター用吸込チャンバー、リモートセンサー (サーモガード付) 他付属品共	1	200	0.35	3	控え室1 体育準備室		
CRS-1	集中リモコン		タッチパネル式 ON/OFF集中コントローラー 一括運転・一括停止機能付	1	100	0.07	1	渡り廊下		
TVB-1	バルクシステム		縦形バルクタンク 容量: LPG980kg 温水循環式蒸発器: 30kg/h 熱源機能力: 12.1kW 付属品: 弁閉閉札、熱源機用架台、ガス用給湯器 (熱源機) ガス給湯器用自立スタンド、他一式	1	100	0.15	2	屋外	基礎: 建築工事 架台: 建築工事	





体育準備室
吸込口：木質系ルーバー（建築工事）
EA：2160m³/h
BOX：800×500×350H
×1



室名：アリーナ	
噴流ノズル（可変風量型SUS製）	
サイズ：15φ	
風量：≒40.9m ³ /h	475個
備考：	

室名：アリーナ	
床吹き出し口	
サイズ：1,200×240	
風量：≒747.7m ³ /h	24個
備考：開口率63.3%	

メインダクトから直接取り出しは75φ二岐取り出しサイズは125φとする
取付位置は打ち合わせによる

室名：ステージ	
床吹き込み口	
サイズ：1,500×300	
風量：2,160m ³ /h	5個
備考：開口率63.3%	

風速 2.5m/s
チャンバーボックス：1,600×350×600H

記号	摘要	備考
A	CU15.9φ-9.52φ	室内機-室外機 渡り線
B	CU25.4φ-12.7φ	EM-BEF 2.0mm-3C
C	CU28.58φ-15.9φ	(冷媒管共巻き)

- 注記2
- 冷媒管の屋外露出部分の保温外装は、SUSラッキング仕上とする。
 - 露出・壁中及びスラブ内は、電線保護配管を使用する。
 - 電線サイズ及び冷媒管サイズは、参考値とする。

1. 設計条件

・ 本設備エリアの温度条件は下記表を参照する

	外 気		室 内	
	D B℃	R H%	D B℃	R H%
夏季	31.8℃	60.8%	28.0℃	50%
冬季	-6.4℃	74.7%	18.0℃	40%

2. 工事条件

- ・ 二重床内のダクト工事及び噴流ノズル取り付け工事は、本体工事とする。
- ・ 矩形ダクトの接続は、差し込み式とする
- ・ フレキシブルダクトは不燃認定品を使用する。
- ・ 輻射範囲の二重床下ダクトは保温を行わない。
- ・ 室内環境測定として次の項目を測定する。（床輻射冷暖房設備工事）
室内温度・室内湿度・風速・輻射温度・床表面温度

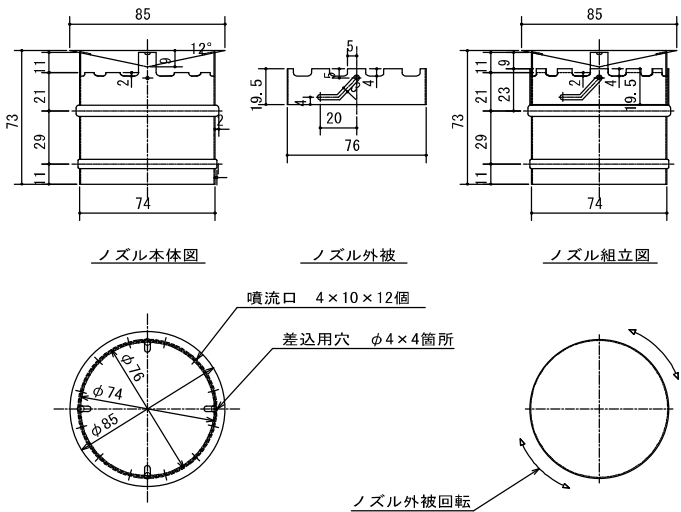
3. 工事区分表

	工 事 項 目	建築工事	空調設備工事		備 考
			床輻射冷暖房設備工事	空調設備工事	
1	空調ダクト工事		○	○	*1
2	噴流ノズル取り付け工事（材料・工事共）		○		
3	床下断熱工事（材料・工事共）	○			
4	立ち上がり部分断熱工事（材料・工事共）	○			
5	吹き出し口・床吸い込み口取付工事		○		*2
6	床工事	○			
7	床仕上げ工事	○			
8	室内環境測定（夏期・冬期）		○		

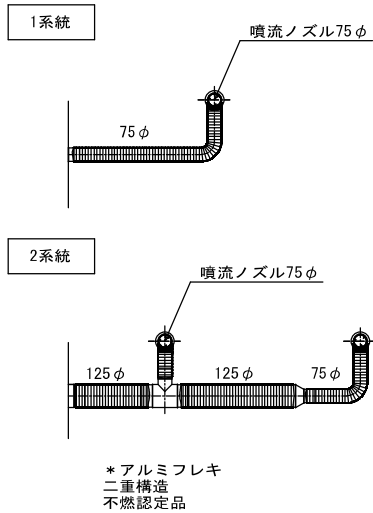
*1 床輻射冷暖房工事と空調設備工の取り合いは打ち合わせによる
*2 開口 補強は建築工事

噴流ノズル仕様

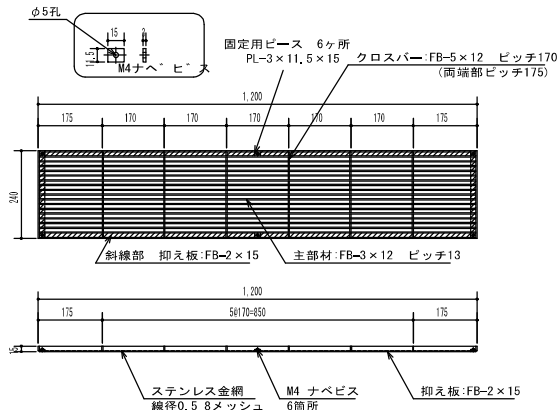
材 質	S U S 3 0 4
板 厚	0. 4 t
仕 様	7 5 φ



フレキダクト サイズ` 表



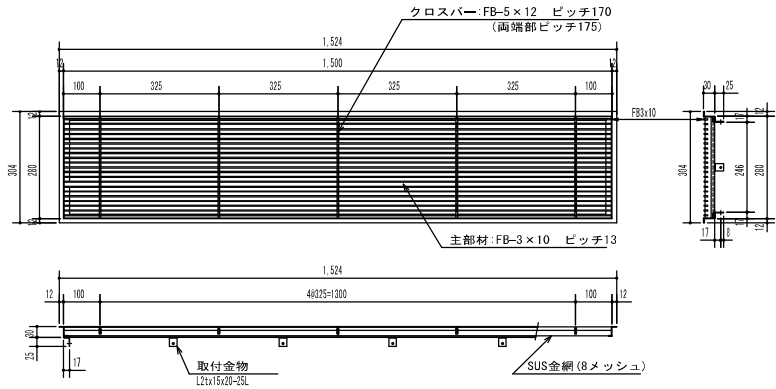
床吹き出し口



器具公称寸法	Ｌ	Ｈ	板厚	材質	面仕上	床開口寸法	取付用ビス
1200×240	1200	240	3.0	SUS304	HL	1170×210	φ

金網(8メッシュ/SUS304)
有効開口率 63.3%

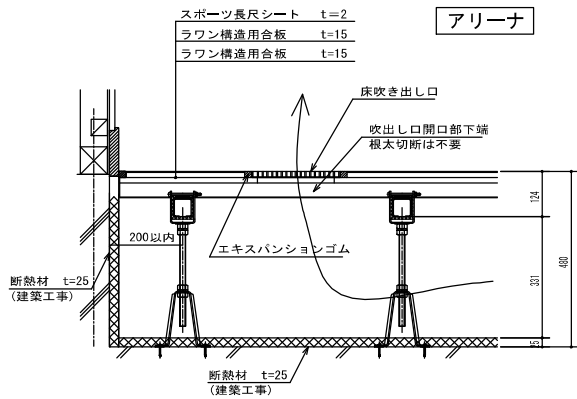
床吸い込み口



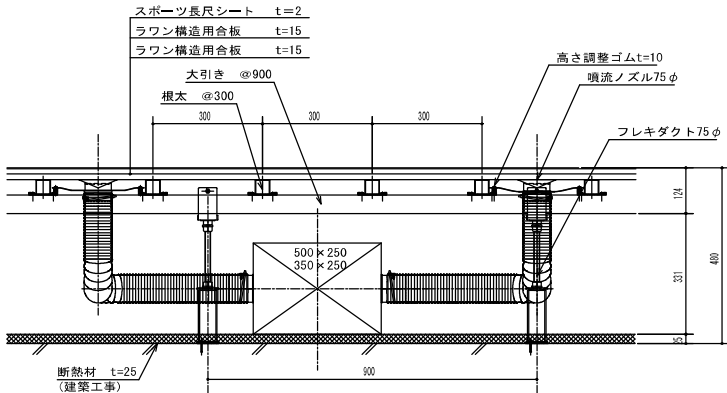
器具公称寸法	Ｌ	Ｈ	板厚	材質	面仕上	床開口寸法
1500×300	1524	304	3.0	SUS304	HL	1506×286

金網(8メッシュ/SUS304)
有効開口率 63.3%

床吹き出し口取付詳細図

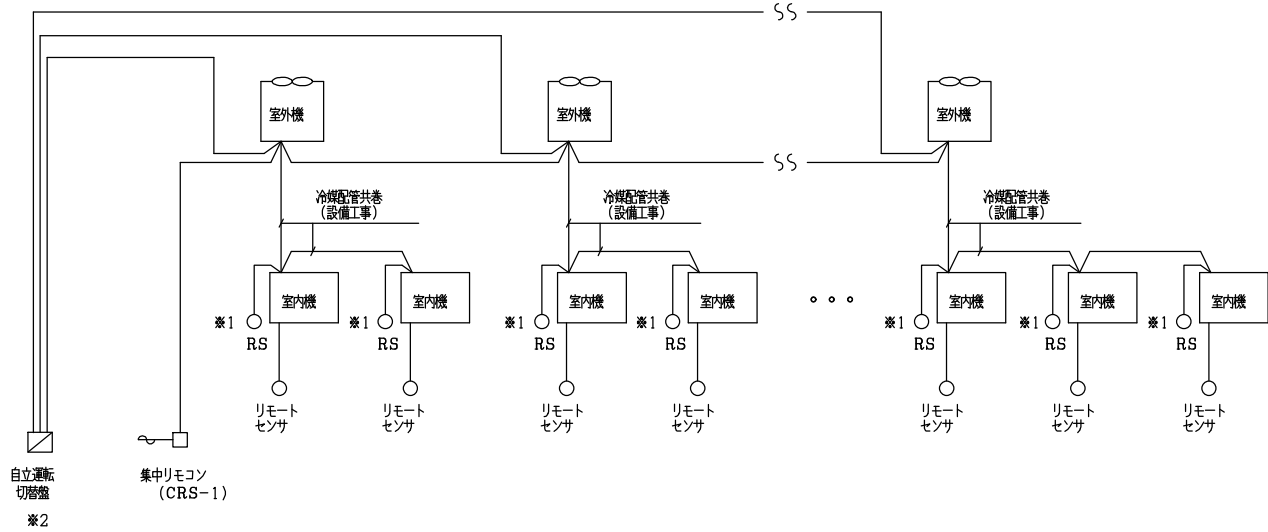


床断面図



NOTE

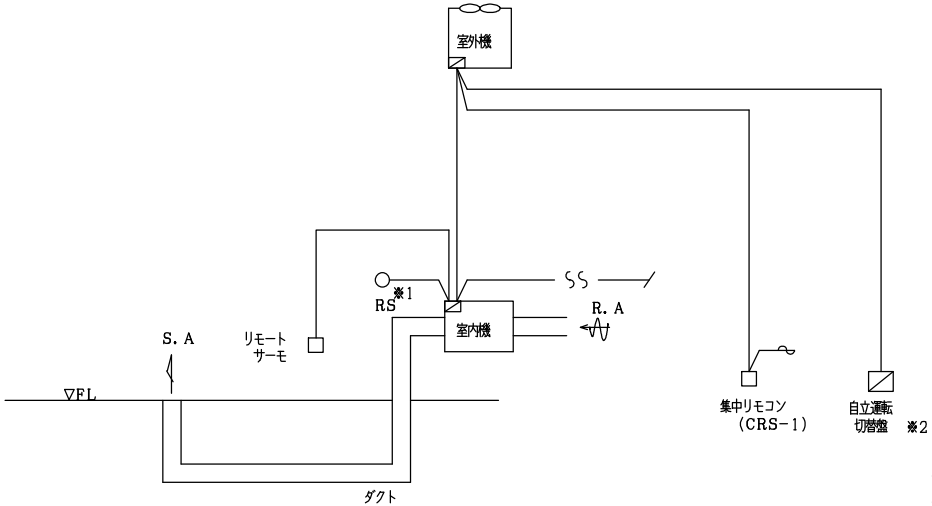
工事名称	弘前高等学校第一体育館 避難所機能強化(空調設備整備)改修工事				縮尺 A1:1/10 A3:1/20		単位	M M		令和8年 6 月 作製	図面名称	空調設備 詳細図
	青森県A1の2号 株式会社 川島隆太郎建築事務所 TEL 017(741)6497 FAX 017(742)1877				所 長	部 長	課 長	担 当	製 図	製 図		



※1 Box+リモコン
※2 自動運転切替スイッチは室外機マスター機1台、サブ機1台をセットとする。

機器リスト

室内機記号	室 名	台数	RS	リモセンサ	自動運転スイッチ	室外機	備考
GHP-1-1	控え室2、ステージ下	2	2	2	1	マスター機	GHP-1 天井, 床置
GHP-2-1	控え室1、ステージ下	2	2	2		サブ機	GHP-2 天井, 床置
GHP-3-1	更衣室2、器具室2	3	3	3	1	マスター機	GHP-3 天井
GHP-4-1	器具室1	2	2	2		サブ機	GHP-4 天井



※1 Box+リモコン
※2 自動運転切替スイッチは室外機マスター機1台、サブ機1台をセットとする。

<制御内容>

1. 集中制御：集中リモコンにより集中監視制御
2. リモコンスイッチ (RS) は、本体又は本体付近のBOX内へ収納し、緊急時 個別対応可とする。
3. 自立運転切替盤により、災害時・停電時に自立運転へ切替し冷暖房を可とする。非常用電源を確保する。(GHP仕様による)
4. 自立運転切替盤に運転・故障・故障信号を表示させる。
5. リモートセンサはGHP仕様により室内機と対する。

自動制御機器表

記 号	名 称	参考型式	備 考
RS	リモコンスイッチ	HLPARF3A	GHP付属品
CRS-1	集中コントローラ	HLA32MN1	GHP付属品
—	自動運転スイッチ (壁掛タイプ)	AOB560L	自立運転切替盤内
—	リモートセンサ	THM-R2A	GHP付属品

盤参考寸法

制 御 盤	形 状	寸 法			備 考
		W	H	D	
GHP自立運転切替盤	壁掛	400	700	160	GHP付属品
集中リモコン盤	壁掛	300	500	160	GHP付属品

